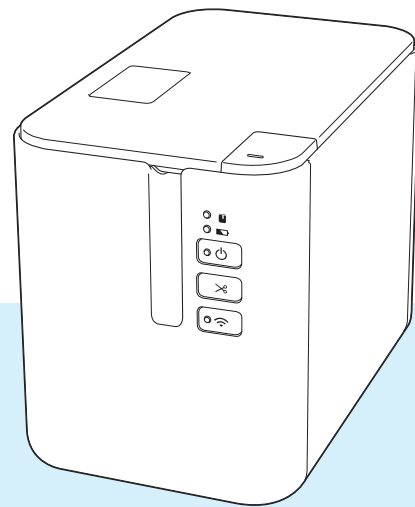


ユーザーズガイド

PT-P950NW
PT-P900W



はじめに

重要なお知らせ

- 本書の内容ならびに製品の仕様は、予告なく変更されることがあります。
- ブラザー工業株式会社は、本書に記載されている仕様および内容を予告なく変更する権利を保有し、誤植やその他の出版関連の誤りを含む（ただし必ずしもこれに限定されない）記載内容によって生じた、いかなる損害（間接損害を含む）についても責任を負いません。
- 本書に掲載されている画面イメージは、お使いのパソコンのオペレーティングシステム、機種やソフトウェアのバージョンによって異なる場合があります。
- 本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前には付属されているすべての文書を必ずお読みください。
- 本書に掲載されている図は、お使いのラベルプリンターと異なる場合があります。
- すべての国で、すべての別売品や TZe テープ、HGe テープのカセットなどの消耗品が利用できるわけではありません。

使用可能なマニュアル

弊社サポートサイト（サポートサイト）（support.brother.co.jp）から最新の取扱説明書をダウンロードするには、ご利用の製品名を選択して「製品マニュアル」をクリックしてください。

安全にお使いいただくために ¹	安全情報が記載されています。本機をご使用になる前にお読みください。
かんたん設置ガイド ¹	本機の使用についての基本的な情報と、困ったときの詳しい対処方法が記載されています。
ユーザーズガイド ²	ユーザーズガイドには本機の設定や操作についての追加情報、ネットワーク接続と設定、困ったときの対処方法、お手入れの手順などが記載されています。

¹ 同梱されている紙面のマニュアル

² サポートサイトの PDF 版取扱説明書。

本書で使用されている記号

本書では、以下の記号を使用しています：

 WARNING	この記号は、傷害を負う可能性のある危険を避ける方法を表しています。
 CAUTION	この記号は、軽傷あるいは本機の故障を避けるために従っていただく手順を表しています。
 重要	この記号は、従っていただく情報や手順を表しています。もし手順に従っていただけない場合は、故障や誤動作の原因となる場合があります。
 メモ	この記号は、本機をよりよく知っていただくための情報や手順、または機能的に使用していただくための情報や手順を表しています。

重要事項

- 本製品は購入した国での使用に限り承認されています。本製品は購入した国以外では使用しないでください。その国の無線通信や電力規則に違反する場合があります。
- 本書の Windows Vista は、すべてのバージョンの Windows Vista を表します。
- 本書の Windows 7 は、すべてのバージョンの Windows 7 を表します。
- 本書の Windows 8 は、すべてのバージョンの Windows 8 を表します。
- 本書の Windows 8.1 は、すべてのバージョンの Windows 8.1 を表します。
- 本書の Windows 10 は、Windows 10 Home、Windows 10 Pro、Windows 10 Enterprise、Windows 10 Education を表します。
本書の Windows 10 は、Windows 10 Mobile、Windows 10 Mobile Enterprise、Windows 10 IoT Core を含みません。
- 本書の Windows Server 2008 は、すべてのバージョンの Windows Server 2008 と Windows Server 2008 R2 を表します。
- 本書の Windows Server 2012 は、すべてのバージョンの Windows Server 2012 と Windows Server 2012 R2 を表します。
- すべての国ですべての機種が利用できるわけではありません。

©2016 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

目次

第 I 節 基本操作

1	本機を設定する	2
	各部の名称.....	2
	前面	2
	背面	3
	電源を接続する	4
	テープカセットを装着する	5
	電源を入れる / 切る	7
	テープ送り	7
2	パソコンから印刷する	8
	プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする	8
	本機とパソコンを接続する	9
	USB ケーブルで接続する	9
	Wi-Fi® で接続する	9
	有線 LAN で接続する (PT-P950NW のみ)	12
	パソコンから印刷する	13
	パソコンで利用できるアプリケーション	13
	パソコンから印刷する	14
	ラベルを貼る	16
3	モバイル端末で印刷する	17
	モバイル端末で使用するアプリケーションをインストールする	17
	本機とモバイル端末を接続する	17
	Wi-Fi 機能を入れる / 切る	18
	モバイル端末から印刷する	18
	モバイル端末から印刷する	18
	パソコンで作成したテンプレートデータをモバイル端末から印刷する	20
	ラベルを貼る	21
4	その他のインターフェイスを使用する (シリアル /Bluetooth)	22
	プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする	22
	テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する	22
	テンプレートデータをパソコンから本機に登録する	22
	シリアルケーブル変換アダプター (別売品 : PA-SCA-001) で接続する	23
	シリアル (RS-232C) ケーブル (Windows のみ)	24
	シリアルインターフェイスの設定	24
	Bluetooth ユニット (別売品 : PA-BI-002) (PT-P950NW のみ) で接続する	25
	仕様 (PA-BI-002)	25

5 ラベルプリンターの設定を変更する 26

プリンター設定ツール (Windows の場合)	26
印刷設定ツールを使用する前に	26
プリンター設定ツールを使用する (Windows の場合)	27
通信設定 (Windows の場合)	29
設定ダイアログボックス	29
メニューバー	31
全般タブ	34
有線 LAN (PT-P950NW のみ) / 無線 LAN タブ	36
Wireless Direct タブ	41
Bluetooth タブ (PT-P950NW のみ)	42
複数のラベルプリンターに設定変更を適用する	43
本体設定 (Windows の場合)	44
設定ダイアログボックス	44
メニューバー	46
基本設定タブ	48
ラベル設定	49
パネル設定タブ (PT-P950NW のみ)	50
管理設定タブ (PT-P950NW のみ)	51
複数のラベルプリンターに設定変更を適用する	54
P-touch Template の設定 (Windows の場合)	55
P-touch Template 設定ダイアログボックス	56
プリンター設定ツール (Mac の場合)	58
印刷設定ツールを使用する前に	58
プリンター設定ツールを使用する (Mac の場合)	59
設定ダイアログボックス	60
基本設定タブ	61
ラベル設定タブ	62
Bluetooth 設定タブ	63
無線 LAN タブ	64
複数のラベルプリンターに設定変更を適用する	65
モバイル端末から印刷する際に設定を変更する	66

6 P-touch Template を使用してラベルを印刷する 67

P-touch Template 機能	67
事前準備	68
P-touch Template 設定ツールの設定	68
拡張型シリアルポート (RS-232C) の設定	70
バーコードリーダーの接続	71
定型テンプレート印刷機能	73
バーコード作成 (コピー) 印刷機能	75
データベース置換印刷機能	78
ナンバリング (連番) 印刷機能	81
テキストナンバリング (連番)	81
バーコードナンバリング (連番)	82
高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする	83

7 その他の機能 84

本機の設定を確認する	84
マスのストレージ機能	84
内容	84
マスのストレージ機能を使用する	84
分散印刷 (Windows のみ)	86
高解像度モードでラベルを印刷する	90
高速モードでラベルを印刷する	91
品質優先モードでラベルを印刷する	92

第 II 節 アプリケーション

8 ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法 94

Windows の場合	94
P-touch Editor を起動する	94
P-touch Editor を使用して印刷する	97
ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する	98
Mac の場合	99
P-touch Editor を起動する	99
操作モード	100
ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する	101

9 ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 (Windows のみ) 102

P-touch Transfer Manager	102
P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する	103
パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する	106
ラベルプリンター本体に登録されたテンプレートデータをバックアップする	111
すべての登録済みデータを削除する	112
BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する	113
P-touch Library	114
P-touch Library を起動する	114
テンプレートデータを開いて編集する	116
テンプレートデータを印刷する	117
テンプレートデータを検索する	117

10 ラベル遠隔転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」 でテンプレートデータを転送する (Windows のみ) 119

P-touch Transfer Express を準備する	120
テンプレートデータを P-Touch Transfer Manager に転送する	121
テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する	122
Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express をユーザーに配布する	124
Transfer Package ファイル (.pdz) をラベルプリンターに転送する	125

11	ラベルプリンターのソフトウェアの更新方法	128
	P-touch Editor を更新する	128
	Windows の場合	128
	Mac の場合	130
	ファームウェアを更新する	132
	Windows の場合	132
	Mac の場合	135

第 III 節 ネットワーク

12	はじめに	138
	ネットワーク機能	138
13	ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する	139
	Windows を使用して、ラベルプリンターのネットワーク設定（IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ）を変更する	139
	BAdmin Light ユーティリティを使用する	139
	その他の管理ユーティリティ	141
	Web Based Management（ウェブブラウザ）を使用する	141
	BAdmin Professional ユーティリティを使用する（Windows のみ）	141
14	Web Based Management（ウェブブラウザ）	142
	概要	142
	Web Based Management（ウェブブラウザ）を使用してラベルプリンター設定を構成する	143

第 IV 節 付録

15	本機をリセットする	146
	本機のボタンですべての設定を工場出荷時に戻す	146
	プリンター設定ツールでデータをリセットする	146
16	お手入れ	147
	本機外観のお手入れ	147
	印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ	147
	印字ヘッド	148
	ヘッドローラー	148
	テープカッターのお手入れ	149
17	困ったときは	150
	概要	150
	印刷の問題	151
	ラベルの問題	154
	本機の問題	155

	ネットワーク設定の問題.....	156
	ネットワーク経由で印刷できない インストール完了後、ネットワーク上で本機が見つからない	157
	セキュリティソフトウェアの問題.....	157
	ネットワーク機器の操作を確認する	158
	バージョン情報	158
	表示ランプについて	159
	表示ランプ警告	163
18	仕様	164
	製品仕様	164
	動作環境	167
19	P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	168
	テンプレートデータ作成時の注意事項.....	168
	テンプレートデータ転送時の注意事項.....	168
	テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項	169
20	ネットワーク用語および情報	170
	サポートされるプロトコルとセキュリティ機能	170
	ネットワーク接続およびプロトコルの種類	171
	ネットワーク接続方法について	171
	ネットワークの設定について	173
	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて	173
	無線ネットワークの用語と概念	175
	セキュリティ用語	175
21	P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	180
	P-touch Template 機能基本的な手順.....	180
	設定用バーコード一覧.....	181
22	Li-ion 充電電池（別売品：PA-BT-4000LI）／充電電池ホルダー（別売品：PA-BB-002） を使用する	184
	Li-ion 充電電池を装着する	184
	Li-ion 充電電池を取り外す	185
	Li-ion 充電電池を充電する	186
	Li-ion 充電電池の充電を中止するには	186
	Li-ion 充電電池の使用について	187
	Li-ion 充電電池の特性について	187
	製品仕様	187
23	操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用する（別売品：PA-TDU-003） （PT-P950NW のみ）	188
	各部の名称.....	188
	液晶ディスプレイについて.....	189
	メイン画面.....	189

操作パネルについて	190
操作パネルシートの交換方法	192
操作パネル&液晶ディスプレイユニットで印刷するには	194
操作パネル&液晶ディスプレイユニットの設定	195
操作パネル&液晶ディスプレイユニットで設定する	195
テンプレートデータを作成する (Windows のみ)	199
テンプレートデータを作成する	199
テンプレートデータにデータベースをリンクさせる	203
テンプレートデータをラベルプリンターに登録する	205
操作パネルの表示を選択する	207
ワンタッチパネルのキーに割り振るデータを設定する	208
ワンタッチパネルの作成方法	209
ラベルを印刷する	210
基本パネルを使用して印刷する	210
ワンタッチパネルを使用して印刷する	212
バーコードリーダーを使用して印刷する	214
ラベルプリンター内のテンプレートデータについて (確認、削除、履歴)	215
時計バックアップ用リチウム電池の交換方法	216
よくあるご質問	218
製品仕様	220

24 専用のバーコードリーダー (別売品 : PA-BR-001) (PT-P950NW のみ) を使用する

221

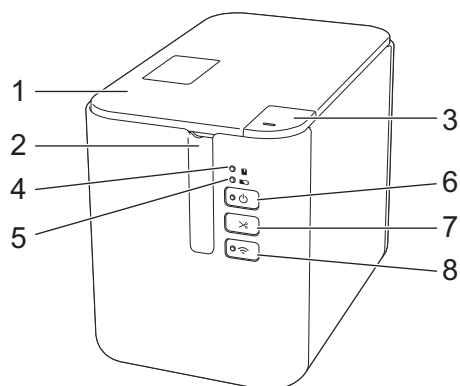


基本操作

本機を設定する	2
パソコンから印刷する	8
モバイル端末で印刷する	17
その他のインターフェイスを使用する (シリアル /Bluetooth)	22
ラベルプリンターの設定を変更する	26
P-touch Template を使用してラベルを印刷する	67
その他の機能	84

各部の名称

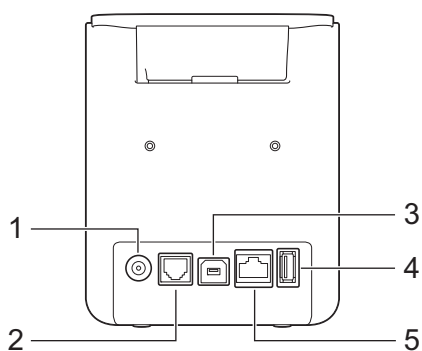
前面



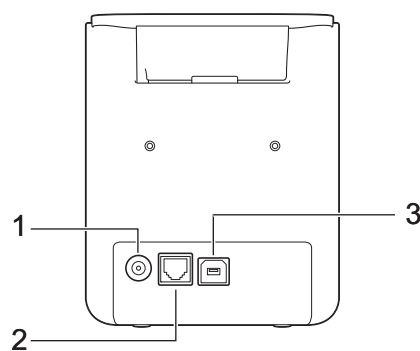
- 1 カバー
- 2 テープ排出口
- 3 カバーオープンボタン
- 4  (ステータス) 表示ランプ
- 5  (バッテリー) 表示ランプ
- 6  (電源) ボタン
- 7  (フィード & カット) ボタン
- 8  (Wi-Fi) ボタン

背面

PT-P950NW



PT-P900W

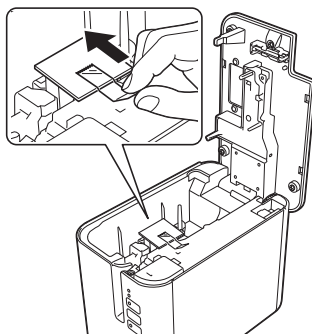


- 1 AC アダプタージャック
- 2 拡張型シリアルポート (別売品のシリアルケーブル変換アダプター [PA-SCA-001] を使用することで、RC-232C D-sub 9 ピン オス型コネクタに変換)
- 3 USB ポート (パソコン接続用)
- 4 USB ホスト (バーコードリーダー接続用)
- 5 LAN ポート (10/100BASE-TX 有線イーサネット)

❗ 重要

本機をご使用になる前に、必ず次の手順で保護材を取り除いてください。

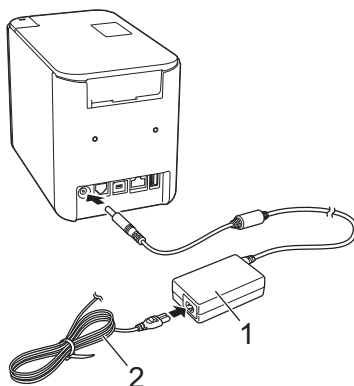
- 1 カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。
- 2 テープを引っ張り、テープと保護材を一緒に取り除いてください。



電源を接続する

本機に付属の AC アダプター（AD9100ESA）と電源コードを使用してください。

- 1 AC アダプターを本機の AC アダプタージャック（DC IN 24V と刻印されています）に差し込みます。
- 2 電源コードを AC アダプターに差し込みます。



1 AC アダプター

2 電源コード

- 3 電源コードを電源コンセントに差し込みます。

❗ 重要

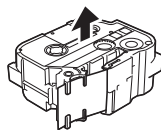
- AC アダプターを抜く前に、本機の電源を切ってください。
- AC アダプターコードや電源コードを引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- 電源コードを電源コンセントに差し込んだあと、数秒待ってから本機の⏻(電源) ボタンを押して電源を入れてください。

テープカセットを装着する

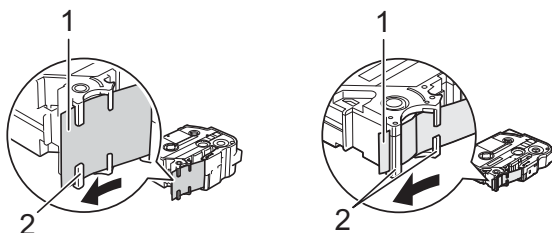
本機は、ブラザー TZe テープ、HGe テープのカセットが使用できます。

❗ 重要

テープカセットに紙製のストッパーがついている場合は、取り除いてから装着してください。

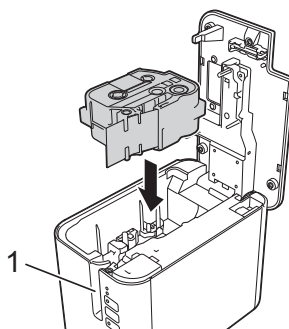


- 1 テープの先端がテープガイドの下を通っていることを確認してください。通っていない場合は、図のようにテープガイドの下を通します。



- 1 テープの先端
- 2 テープガイド (テープの幅によっては形状が異なります。)

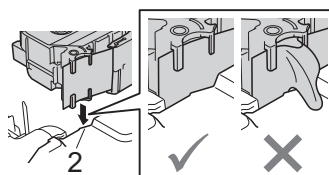
- 2 カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。
- 3 テープカセットをテープ装着スペースにテープの先端を本機のテープ排出口に向けて入れ、正しくセットされるまで平らな状態で押し下げます。



- 1 テープ排出口

❗ 重要

- テープカセットを装着する際には、テープやインクリボンが印字ヘッドに引っかかっていることを確認してください。
- テープにたるみがないことを確認してから装着してください。テープがたるんでいると、テープを装着する際に本機の突起（2）に引っかかり、曲がったり、しわになったりしてテープ詰まりの原因になる場合があります。
テープがたるんでいたら、テープの先端がテープガイドの下を通った状態で（手順 ❶ の図を参考）、引っ張ってください。
- テープカセットを取り外すときは、テープが本機の突起（2）に引っかかっていることを確認してください。



❶ カバーを閉めます。

❗ 重要

- テープカセットは、直射日光、高温、多湿、またはほこりの多い場所を避け、冷暗所に保管してください。また、パッケージを開封したあとは、できるだけ早く使用してください。
- 最小印字長は 4 mm です。（4 mm の位置でのフルカットはできません。フルカットでの最小間隔は 22 mm です。）
- 印刷 1 枚目（連続印刷時は 1 枚目のみ）の前に 22 mm 程度の余白が発生します。

電源を入れる / 切る

オン :  (電源) ボタンを押して、電源を入れます。 (電源) 表示ランプが緑色に点灯します。

オフ :  (電源) ボタンを長押しして、電源を切ります。 (電源) 表示ランプがオレンジ色に点灯する場合があります。

❗ 重要

本機の電源を切る場合は、オレンジ色の (電源) 表示ランプが消えるまで AC アダプターまたは Li-ion 充電池を取り外さないでください。

テープ送り

❗ 重要

- テープカセットを装着したら、テープやインクリボンのたるみをなくすために、テープ送りを行ってください。
- テープ排出口から印刷されたラベルが排出されたとき、ラベルを引っ張らないでください。ラベルを引っ張ると、インクリボンがテープからはがれてしまい、テープカセットが使用できなくなることがあります。
- 印刷中またはテープ送り中に、テープ排出口をふさがないでください。テープ詰まりの原因になることがあります。

テープ送りとテープカット

テープ送りとテープカット機能は、テープを約 22.3 mm 送ったあと、テープをカットします。

✂ (フィード & カット) ボタンを押します。

プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする

Windows パソコンまたは Mac から印刷するには、プリンタードライバー、P-touch Editor、その他のアプリケーションをパソコンにインストールする必要があります。

- 1 弊社のウェブサイト (install.brother) にアクセスし、最新のソフトウェアのインストーラーと製品マニュアルをダウンロードします。
- 2 ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、画面の手順に従ってインストールを行います。



メモ

- インストール開始後に、インストールする項目を選択できます。
 - 本機とパソコンを無線接続で使用する場合：
 - ソフトウェアのインストール中に無線接続設定を行うことをお勧めします。設定を変更したい場合は、プリンター設定ツールで変更できます。詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。
 - ネットワークに無線接続されたパソコンにソフトウェアをインストールし、そのパソコンと本機を USB ケーブルで接続して本機の無線設定を行えます。
 - 無線接続設定を行う前に無線ネットワークの SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を確認しておいてください。
- 3 インストールが完了したらウィンドウを閉じます。

本機とパソコンを接続する

本機を接続するには、次のような方法があります：

■ USB で接続する

「USB ケーブルで接続する」（9 ページ）をご覧ください。

■ Wi-Fi で接続する

「Wi-Fi® で接続する」（9 ページ）をご覧ください。

■ 有線 LAN で接続する（PT-P950NW のみ）

「有線 LAN で接続する（PT-P950NW のみ）」（12 ページ）をご覧ください。

USB ケーブルで接続する

- 1 USB ケーブルを接続する前に、本機の電源が入っていないことを確認してください。
- 2 USB ケーブルのプリンター側を本機背面の USB ポートに接続します。
- 3 USB ケーブルの反対側をパソコンの USB ポートに接続します。
- 4 本機の電源を入れます。

Wi-Fi® で接続する

Wi-Fi で接続するには次の方法があります：

■ インフラストラクチャモード

- アドホックモード（アドホックモードは、プリンター設定ツールで設定します（「ラベルプリンターの設定を変更する」（26 ページ）をご覧ください。）

インフラストラクチャモード

インフラストラクチャモードでは、本機を無線 LAN アクセスポイント / ルーター経由でパソコンに接続できます。

■ 開始する前に

まず、無線 LAN アクセスポイント / ルーターと通信するように、本機の Wi-Fi 設定を構成する必要があります。本機を設定した後、ネットワーク上のパソコンは本機にアクセスできるようになります。

❗ 重要

- 本機をネットワークに接続する場合、インストールする前にシステム管理者に問い合わせることをお勧めします。このインストールを続行する前に、Wi-Fi 設定を確認する必要があります。
- Wi-Fi 設定を再び構成する、または本機の Wi-Fi 接続の状態が不明な場合、本機の Wi-Fi 設定をリセットします。
 - 1 本機の電源が入っていないことを確認します。

- 2 ㊦(電源) ボタンと⌂(フィード & カット) ボタンを 3 秒以上、同時に押します。
■(ステータス) 表示ランプが緑色に、㊦(電源) 表示ランプがオレンジ色に点滅します。
- 3 ㊦(電源) ボタンを押し続けながら、⌂(フィード & カット) ボタンを 2 回 (APIPA を保持) または 4 回 (APIPA をオフ) 押します。
- 4 ㊦(電源) ボタンを離します。
■(ステータス) 表示ランプが緑色に 3 回、㊦(電源) 表示ランプがオレンジ色に 3 回点滅します。



メモ

- 無線接続設定を行う前に無線ネットワークの SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を確認しておくことをお勧めします。
- 無線 LAN 環境で最高の通信速度を得られるように、下記についてご確認ください。
 - 本機はできるだけ無線 LAN アクセスポイント / ルーターの近くでお使いください。
 - 本機と無線 LAN アクセスポイント / ルーターの間に障害物を置かないでください。大きな物体や壁があると接続しにくくなる場合があります。
 - 他の電子機器からの干渉 (通信混信) を受けないようにしてください。データ転送のスピードが落ちることがあります。

■ 本機を無線 LAN アクセスポイント / ルーターに接続する

- ① まず、無線 LAN アクセスポイント / ルーターの SSID (ネットワーク名) とパスワード (ネットワークキー) を書き留めます。
- ② USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。
- ③ 本機の  (Wi-Fi) ボタンを 1 秒間押して、Wi-Fi 機能をオンにします。本機の  (Wi-Fi) 表示ランプが 3 秒ごとに緑色に点滅し始めます。
- ④ パソコンを使用して、本機のインフラストラクチャモードを設定します。

■ Windows の場合

パソコンのプリンター設定ツールを起動し、[通信設定] をクリックします。[全般] タブの [通信設定] の [インターフェイスの選択] で [インフラストラクチャまたはアドホック] または [インフラストラクチャと Wireless Direct] を選択し、[無線 LAN] タブの [無線設定] の [接続モード] で [インフラストラクチャ] を選択します。

詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。

■ Mac の場合

プリンタードライバパッケージに含まれている無線 LAN 設定ウィザードを起動し、画面の指示に従ってください。無線 LAN 設定ウィザードは、[ユーティリティ] フォルダー内に格納されています。

- ⑤ 書き留めた SSID を入力、または [検索] をクリックして表示されたリストから SSID を選択します。

- 6 [パスワード] にパスワードを入力します。



メモ

必要な情報は、認証方法と暗号化方式によって異なります。ご使用のネットワーク環境に関連した情報のみを入力してください。

- 7 本機に設定を送るため、[設定] をクリックします。
本機と無線 LAN アクセスポイント/ルーターの間で接続が確立したら、 (Wi-Fi) 表示ランプが緑色に点灯します。パソコンが本機と同じネットワーク上にあれば、本機にアクセスすることができます。



メモ

その他のネットワーク設定を変更する場合は、プリンター設定ツールを使用します（詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください）。

■ WPS (Wi-Fi Protected Setup™)

無線 LAN アクセスポイント/ルーターが WPS に対応している場合、WPS ボタンを押して簡単に設定と接続を行うことができます。

- 1 まず、無線 LAN アクセスポイント/ルーターに WPS マークがついていることを確認します。



- 2 本機を無線 LAN アクセスポイント/ルーターの範囲内に置きます。この範囲はお使いの環境によって異なります。無線 LAN アクセスポイント/ルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 3 無線 LAN アクセスポイント/ルーターの WPS ボタンを押し、本機の  (Wi-Fi) ボタンを約 5 秒間押し続けます。
本機の  (Wi-Fi) 表示ランプが緑色に点滅します。
接続が確立すると、 (Wi-Fi) 表示ランプは緑色に点灯します。パソコンが本機と同じネットワーク上にあれば、本機にアクセスすることができます。



メモ

本機は WPS を使用して接続を 2 分間試みます。この間に、 (Wi-Fi) ボタンを 5 秒間押すと、本機はさらに 2 分間接続を試みます。

アドホックモード

Windows の場合、プリンタードライバーと他のアプリケーションをインストールした後に、プリンター設定ツールを使用してアドホックモードの設定ができます。

Mac の場合、無線 LAN 設定ウィザードを使用してアドホックモードの設定ができます。

Wi-Fi 機能を入れる / 切る

Wi-Fi 機能は、 (Wi-Fi) ボタンを押して、オン / オフします。

- 1  (Wi-Fi) ボタンを押します。Wi-Fi 機能がオンになります。 (Wi-Fi) 表示ランプは緑色に点灯 / 点滅します。
- 2 Wi-Fi 機能を切るにはもう一度、 (Wi-Fi) ボタンを押します。 (Wi-Fi) 表示ランプは消灯します。



メモ

Wi-Fi 機能を使用すると、Li-ion 充電電池の消耗が早くなります。電源供給を変更するには、AC アダプターを接続します。

2

有線 LAN で接続する (PT-P950NW のみ)



メモ

本機を特定の固定 IP アドレスを使って有線 LAN で通信する場合は、プリンタードライバーとプリンター設定ツールをインストールして、プリンター設定ツールの [通信設定] で有線 LAN 接続設定を行う必要があります。

詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。

- 1 LAN ケーブルを接続する前に本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 LAN ケーブルを本機背面の LAN ポートに接続し、LAN ケーブルの反対側をネットワークの LAN ポートに接続します。
- 3 本機の電源を入れます。



メモ

本機の通信設定は、プリンター設定ツールの [通信設定] で変更できます。

詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。

ネットワークケーブル

10BASE-T または 100BASE-TX Fast Ethernet Network 用のストレートの Category 5 (以上) のツイストペアケーブルを使用してください。



メモ

本製品を過電圧の LAN に接続した場合についての責任は負いません。

パソコンから印刷する

パソコンで利用できるアプリケーション

本機を活用するために、様々なアプリケーションや機能が利用できます。

これらのアプリケーションを利用するには、プリンタードライバーをインストールする必要があります。
アプリケーションやプリンタードライバーのインストーラーは 弊社のサイト (install.brother) からダウンロードできます。

2

アプリケーション	Windows	Mac	機能
P-touch Editor	✓	✓	本機からラベルを印刷する際やテンプレートを作成する際に使用する標準のラベル作成ソフトウェアです。QR コードを含む各種バーコードの作成・印刷や Excel® などのデータベースを利用した差し込み印刷（データベースリンク）も可能です。
P-touch Transfer Manager	✓		テンプレートデータやその他データを本機に登録したり、データをパソコンに保存したりできます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Library	✓		P-touch Editor テンプレートデータの管理や印刷を行います。 P-touch Library でテンプレートデータを印刷することもできます。 このアプリケーションは P-touch Editor とともにインストールされます。
P-touch Update Software	✓	✓	ソフトウェアを最新のバージョンにアップデートすることができます。
プリンター設定ツール	✓	✓	パソコンから本機の設定を行うことができます。
無線 LAN 設定ウィザード		✓	このアプリケーションで、本機の Wi-Fi 設定を行うことができます。
BRAdmin Light	✓		ネットワーク上の本機を検索し、お使いのパソコンから基本的な設定を行うことができます。
BRAdmin Professional	✓		ネットワーク上の本機を検索し、お使いのパソコンから詳細な設定とアップデートを行うことができます。

便利な機能	Windows	Mac	機能
分散印刷	✓		大量のラベルを印刷する場合、複数のラベルプリンターに印刷を分散させることができます。 分散させて同時に印刷できるので、印刷時間を短縮できます。 詳しくは、「分散印刷（Windows のみ）」（86 ページ）をご覧ください。

パソコンから印刷する

本機で印刷するには、複数の方法があります。

ここでは、P-touch Editor を使用してパソコンから印刷する場合の手順を記載しています。

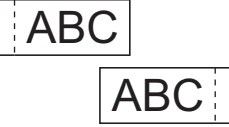
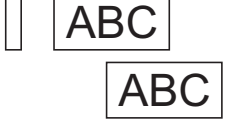
- ① P-touch Editor を起動し、印刷したいテンプレートデータを開きます。
- ② ラベルデザインを編集します。
- ③ カット設定を確認します（「カット設定」（14 ページ）をご覧ください）。
- ④ メニューバーから [ファイル] - [印刷] を選択するか、[印刷] アイコンをクリックします。

カット設定

ラベルを印刷するときの用紙送りとカット方法を設定します。アプリケーションを使用してパソコンから印刷するとき、プリンタードライバーでカット設定を選択します。

カット設定は次の表をご覧ください：

テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	○	×	
○	○	×	
×	×	×	
○	×	×	

テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	○	○	
○	○	○	
×	×	○	
○	×	○	
特殊テープ			

メモ

- 異なるラベルを複数枚印刷する場合は、ラベル間の余白を少なくするため、つなげて印刷を選択します（「テープカット設定表」（14 ページ）をご覧ください）。
- つなげて印刷を使用した場合は、最後のラベルが印刷された後に✂（フィード & カット） ボタンを押してラベルをカットしてください。

ラベルを貼る

- ① 必要に応じて、印刷されたラベルをお好みの形や長さにハサミでカットします。
- ② ラベルから裏紙を剥がします。
- ③ ラベルを貼り、指でしっかりと押さえます。



メモ

- テープの種類によっては簡単に剥がせるよう、あらかじめ裏紙がカットされているものがあります。テキスト面を内側にして縦にラベルを折り、裏紙の端を浮かせます。裏紙を1枚ずつ剥がします。
 - ラベルは、濡れたり、汚れていたり、平らでない場所には貼ることはできません。そのような場所に貼ると簡単にはがれてしまうことがあります。
 - 強粘着テープ：
 - ざらついている面には、強粘着テープのご使用をお勧めします。
 - 布テープ、強粘着テープ、その他の特殊テープは、付属の取扱説明書をお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。
-

モバイル端末で使用するアプリケーションをインストールする

ブラザーが提供しているアプリケーションを本機で使用すると、ご使用の iPhone、iPad、iPod touch または Android™ 製のスマートフォンやタブレットから直接印刷したり、パソコンで作成したテンプレート、シンボル、データベースなどを Wi-Fi 機能を使って本機に登録することもできます。

お使いのプリンターで利用できるモバイルアプリの詳細な情報はこちら (support.brother.com/g/d/f5f9) をご覧ください。



本機とモバイル端末を接続する

モバイル端末と本機を接続することができます。ご使用のモバイル端末にブラザーが提供しているモバイルアプリケーションをインストールして、本機と接続する事で、アプリケーション上で作成したラベルを直接印刷することができます。

1 本機の Wireless Direct 設定を確認します。

■ Windows の場合

USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。パソコンのプリンター設定ツールを起動し、[通信設定] をクリックします。[全般] タブの [通信設定] の [インターフェイスの選択] で [インフラストラクチャと **Wireless Direct**] または [**Wireless Direct**] が選択されていることを確認します。

詳しくは、「プリンター設定ツール (Windows の場合)」(26 ページ) をご覧ください。

■ Mac の場合

USB ケーブルで本機とパソコンを接続します。プリンター設定ツールを起動し、[**Wireless LAN**] タブの [**WirelessDirect**] で [オン] が選択されていることを確認します。

詳しくは、「プリンター設定ツール (Mac の場合)」(58 ページ) をご覧ください。

2 本機の (Wi-Fi) ボタンを 1 秒間押して、Wi-Fi 機能をオンにします。 本機の (Wi-Fi) 表示ランプが 3 秒に 1 回緑色に点滅し始めます。

- ③ お使いのモバイル端末の Wi-Fi 設定画面で、本機の SSID を選択し、パスワードを入力します。

メモ

- 工場出荷時の SSID とパスワードは次のとおりです：

SSID : 「DIRECT-*****_PT-P950NW」または「DIRECT-*****_PT-P900W」。「*****」は、製品シリアル番号の下 5 桁です。

(シリアル番号ラベルは、本機のテープ装着スペースにあります。)

パスワード (ネットワークキー) : 00000000

- 本機とモバイル端末を無線 LAN アクセスポイント / ーターを使用したインフラストラクチャモードで接続することもできます。

3

Wi-Fi 機能を入れる / 切る

Wi-Fi 機能は、 (Wi-Fi) ボタンを押して、オン / オフします。

- ①  (Wi-Fi) ボタンを押します。Wi-Fi 機能がオンになります。 (Wi-Fi) 表示ランプは緑色に点灯 / 点滅します。
- ② Wi-Fi 機能を切るにはもう一度、 (Wi-Fi) ボタンを押します。 (Wi-Fi) 表示ランプは消灯します。

メモ

Wi-Fi 機能を使用すると、Li-ion 充電電池の消耗が早くなります。電源供給を変更するには、AC アダプターを接続します。

モバイル端末から印刷する

モバイル端末から印刷する

- ① モバイル端末でアプリケーション (Brother iPrint&Label) を起動します。

メモ

本機がお使いのモバイル端末と接続されていることを確認してください。
「本機とモバイル端末を接続する」(17 ページ) をご覧ください。

- ② テンプレートデータを選択します。

メモ

作成しておいたラベルや画像を選択して印刷することもできます。

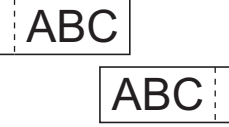
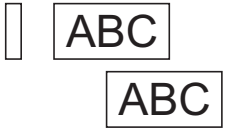
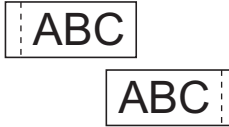
- ③ カット設定を確認します (「カット設定」(19 ページ) をご覧ください)。
- ④ アプリケーションメニューの [印刷] をタップします。

カット設定

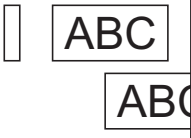
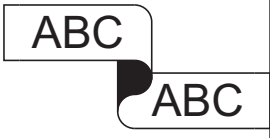
ラベルを印刷するときの用紙送りとカット方法を設定します。アプリケーションを使用してモバイル端末から印刷するとき、印刷設定でカット設定を選択します。

カット設定は次の表をご覧ください：

テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	○	×	
○	○	×	
×	×	×	
○	×	×	
×	○	○	
○	○	○	

テープカット設定表

オートカット	ハーフカット	つなげて印刷	仕上がりイメージ
×	×	○	
○	×	○	
特殊テープ			

3



メモ

- 異なるラベルを複数枚印刷する場合は、ラベル間の余白を少なくするため、つなげて印刷を選択します（「テープカット設定表」（19 ページ）をご覧ください）。
- つなげて印刷を使用した場合は、最後のラベルが印刷された後に （フィード & カット） ボタンを押してラベルをカットしてください。

パソコンで作成したテンプレートデータをモバイル端末から印刷する

P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager を使って、BLF 形式または PDZ 形式に保存することができます。保存したファイルを Moblie Transfer Express を使ってモバイル端末から本機に送り、印刷することができます。

- テンプレートデータを P-touch Transfer Manager を使って、BLF 形式または PDZ 形式に保存します。詳しくは、「BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する」（113 ページ）をご覧ください。
- 保存した BLF 形式ファイルまたは PDZ 形式ファイルをモバイル端末で利用するには、次のいずれかを行ってください。
 - パソコンからクラウドストレージに送り、モバイル端末の OS 共有機能を使って共有します。
 - パソコンからメール添付で端末に送り、モバイル端末にファイルを保存します。
- モバイル端末とラベルプリンターを接続し、Moblie Transfer Express を起動します。テンプレートデータが表示されます。

- 4 印刷したいテンプレートデータを選択し、本機に登録します。



メモ

クラウドストレージサービスからモバイル端末にファイルをダウンロードする場合は、モバイル端末をインフラストラクチャモードで接続する必要があります。そのため、モバイル端末と本機もインフラストラクチャモードで接続しておく、ダウンロードしたファイルをすぐに転送できて便利です（.blf ファイルのみ）。

- 5 バーコードリーダーまたは操作パネル&液晶ディスプレイユニット（別売品：PA-TDU-003）（PT-P950NW のみ）で転送したファイルから印刷したいテンプレートデータを選択し、印刷します。

ラベルを貼る

- 1 必要に応じて、印刷されたラベルをお好みの形や長さにハサミでカットします。
- 2 ラベルから裏紙を剥がします。
- 3 ラベルを貼り、指でしっかりと押さえます。



メモ

- テープの種類によっては簡単に剥がせるよう、あらかじめ裏紙がカットされているものがあります。テキスト面を内側にして縦にラベルを折り、裏紙の端を浮かせます。裏紙を 1 枚ずつ剥がします。
- ラベルは、濡れたり、汚れていたり、平らでない場所には貼ることはできません。そのような場所に貼ると簡単にはがれてしまうことがあります。
- 強粘着テープ：
 - ざらついている面には、強粘着テープのご使用をお勧めします。
- 布テープ、強粘着テープ、その他の特殊テープは、付属の取扱説明書をお読みになり、注意事項を守ってご使用ください。

その他のインターフェイスを使用する（シリアル /Bluetooth）

バーコードリーダーや秤をシリアルケーブルや Bluetooth で本機に接続して P-touch Template 機能を使用するには、あらかじめ本機にテンプレートデータを登録しておく必要があります。

プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする

プリンタードライバーとソフトウェア（P-touch Editor）をインストールします。

インストール方法について詳しくは、「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」（8 ページ）をご覧ください。

テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送する

P-touch Editor でテンプレートを作成し、P-touch Transfer Manager に転送します。

詳しくは、「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」（103 ページ）をご覧ください。

テンプレートデータをパソコンから本機に登録する

P-touch Transfer Manager を使って、テンプレートデータを本機に登録します。

詳しくは、「パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する」（106 ページ）をご覧ください。

シリアルケーブル変換アダプター (別売品：PA-SCA-001) で接続する

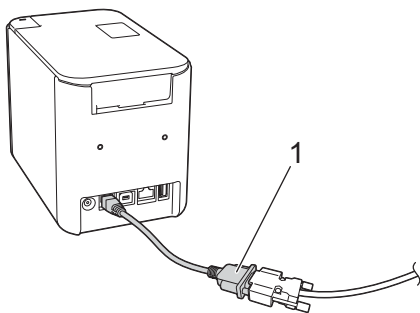
シリアルケーブル変換アダプターを使用して本機とバーコードリーダーや秤を接続できます。

- 1 シリアルケーブルを接続する前に、本機とバーコードリーダーや秤の電源が入っていないことを確認します。
- 2 アダプターの RJ25 側 (下部の図を参照) を本機に接続します。
- 3 シリアルケーブルをアダプターの DB9M 側 (下部の図を参照) に接続します。



メモ

- シリアルインターフェイスは、Windows や Mac のプリンタドライバには対応していません。P-touch Template mode でのみご使用いただけます。
- 出荷時の通信設定は以下のとおりです：
ボーレート：9600 bps
パリティ：None
ビット長：8 bits
ビジー制御：DTR
- 通信設定を変更するには、プリンター設定ツールの [P-touch Template 設定] を使用します。製品のボーレート設定に関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。
サポートサイトから、最新バージョンをダウンロードすることができます。
 - 1 support.brother.co.jp をご覧ください。
 - 2 製品を選択し、[製品マニュアル] を選択してください。



1 シリアルケーブル変換アダプター

D-sub 9 ピン オス型コネクタに変換します。

シリアル (RS-232C) ケーブル (Windows のみ)

シリアル (RS-232C) ケーブルは付属品ではありません。



メモ

シリアルインターフェイスは、電磁両立性 (EMC) の制限を遵守するため、シールドされたインターフェイスケーブルを使用してください。

本機で使用可能なシリアルケーブル (RS-232C ケーブル) のピン割り当てを下表に示します。これらのケーブルは、電器店で購入可能です。接続する機器をご確認のうえ、その性能に応じた長さのケーブルをご用意ください。

PA-SCA-001 側 (D-sub メス、ロックネジ #4-40 インチネジ)			バーコードスキャナーまたはスケール側 (D-sub 9-pin メス)	
信号名	ピン番号	ピン割り当て	ピン番号	信号名
DCD	1		1	DCD
RXD	2		2	RXD
TXD	3		3	TXD
DTR	4		4	DTR
GND	5		5	GND
DSR	6		6	DSR
RTS	7		7	RTS
CTS	8		8	CTS
RI	9		9	RI

シリアルインターフェイスの設定

バーコードリーダーまたは秤と本機のポートと通信速度の設定を変更する手順を説明します。

バーコードリーダーまたは秤の通信速度設定

通信速度設定について詳しくは、バーコードリーダーまたは秤の取扱説明書をご覧ください。

本機の通信速度設定 (Windows のみ)

本機の通信速度設定は、「事前準備」(68 ページ) をご覧ください。詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

Bluetooth ユニット（別売品：PA-BI-002）（PT-P950NW のみ）で接続する

Bluetooth ユニット（別売品：PA-BI-002）を使用して本機とバーコードリーダーを接続できます。



メモ

- お使いになるバーコードリーダーや Bluetooth アダプターなどの Bluetooth 搭載デバイスのメーカーの推奨に従って、必要なハードウェアやソフトウェアをインストールしてください。
- Bluetooth で接続した場合は、本機の電源を切ったあとも、設定が保存されます。

Bluetooth で接続を行う場合は、本機に Bluetooth ユニットを取り付けてください。取り付け方について詳しくは、Bluetooth ユニットの取扱説明書をご覧ください。

本機とバーコードリーダーを Bluetooth で接続する場合：

本機は、電源を入れてすぐには、Bluetooth で通信して印刷することができません。

Bluetooth で印刷をするには、まず次の操作により、本機とバーコードリーダーを通信できる状態にします。一旦接続すると電源を切るまで、接続したままとなり、他の機器と接続できません。

- 1 本機に Bluetooth ユニットが正しくとりつけられていることを確認し、Bluetooth ユニットのスライドスイッチをオンにします。
- 2 （Wi-Fi）ボタンと （電源）ボタンを同時に長押しします。
（電源）表示ランプが緑色に、（ステータス）表示ランプがオレンジ色に点灯し、本機はマストレージモードで起動します。
- 3 （Wi-Fi）表示ランプが緑色に点滅し始めるまで、（Wi-Fi）ボタンを長押しします（約 5 秒間）。
- 4 本機の電源が自動的に切れたら、もう一度、電源を入れます。
- 5 Bluetooth ユニットの Bluetooth 表示ランプが緑色に点灯することを確認してください。Bluetooth モードに切り替わりました。
Bluetooth ユニットの Bluetooth 表示ランプが消灯している場合は、モードの切替えに失敗しました。手順 ③ からやり直してください。
- 6 バーコードリーダーの検索接続機能で本機を検索して接続します。

仕様（PA-BI-002）

外形寸法：約 97 mm（幅）x 71 mm（奥行き）x 18 mm（高さ）

重量：約 0.048 kg

プリンター設定ツール（Windows の場合）

プリンター設定ツールを使用すると、本機の通信設定、本体設定、および P-touch Template 設定を Windows から指定できます。



メモ

プリンター設定ツールは初期インストーラーを使用すると、プリンタードライバなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。「プリンタードライバとソフトウェアをパソコンにインストールする」（8 ページ）をご覧ください。

❗ 重要

プリンター設定ツールは、対応した弊社ラベルプリンターでのみご利用いただけます。

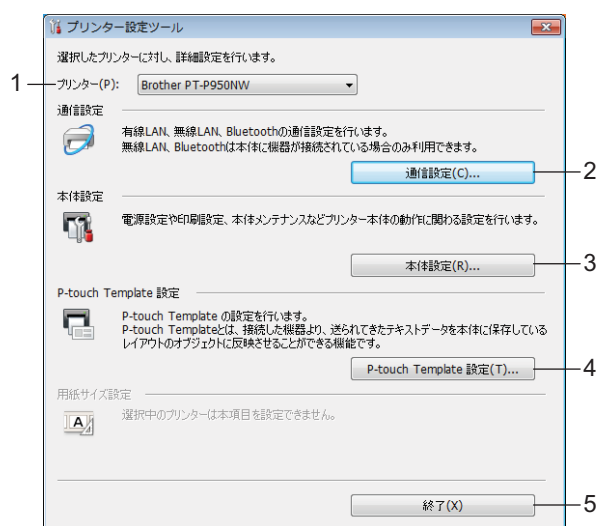
印刷設定ツールを使用する前に

- AC アダプターが AC 電源コンセントに接続されている、または満充電した Li-ion 充電池が取り付けられていることを確認します。
- プリンタードライバが正しくインストールされ、機能していることを確認します。
- USB ケーブルで、本機をパソコンに接続します。

このツールでは、Wi-Fi を使用して設定を指定することはできません。

プリンター設定ツールを使用する (Windows の場合)

- 1 設定するラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 2 プリンター設定ツールを起動します。
 - Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：
[アプリ] 画面の [Printer Setting Tool] アイコンをクリックします。
 - Windows 10 の場合：
スタートボタンからすべてのアプリケーションを選択し、[Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
メイン画面が表示されます。



- 1 プリンター
接続されたラベルプリンターを示します。
- 2 通信設定
有線 LAN (PT-P950NW のみ)、Wi-Fi、Bluetooth (PT-P950NW のみ) の通信設定を行います。
Bluetooth の設定は本機にオプションユニットを装着して接続設定が完了している場合のみ使用できます。
- 3 本体設定
電源設定、印刷設定などの、本体の設定を指定します。操作パネル&液晶ディスプレイユニット (PT-P950NW のみ) の設定も行えます。

4 P-touch Template 設定

P-touch Template 設定を指定します。

P-touch Template に関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「*P-touch Template Manual/Command Reference*」(*P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス*) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

5 終了

- ③ 設定するラベルプリンターが [プリンター] に表示されているか確認します。別のラベルプリンターが表示されている場合、ドロップダウンリストからラベルプリンターを選択してください。



メモ

1 台のラベルプリンターのみが接続されている場合、そのラベルプリンターだけが利用可能なので選択する必要はありません。

- ④ 変更する設定を選択してから、ダイアログボックスで設定を指定または変更します。
設定ダイアログボックスの詳細については、「通信設定 (Windows の場合)」(29 ページ)、「本体設定 (Windows の場合)」(44 ページ)、または「P-touch Template の設定 (Windows の場合)」(55 ページ) をご覧ください。
- ⑤ 設定ダイアログボックスで [設定] - [終了] をクリックし、設定をラベルプリンターに適用します。
- ⑥ メイン画面で [終了] をクリックし、設定の指定を完了します。

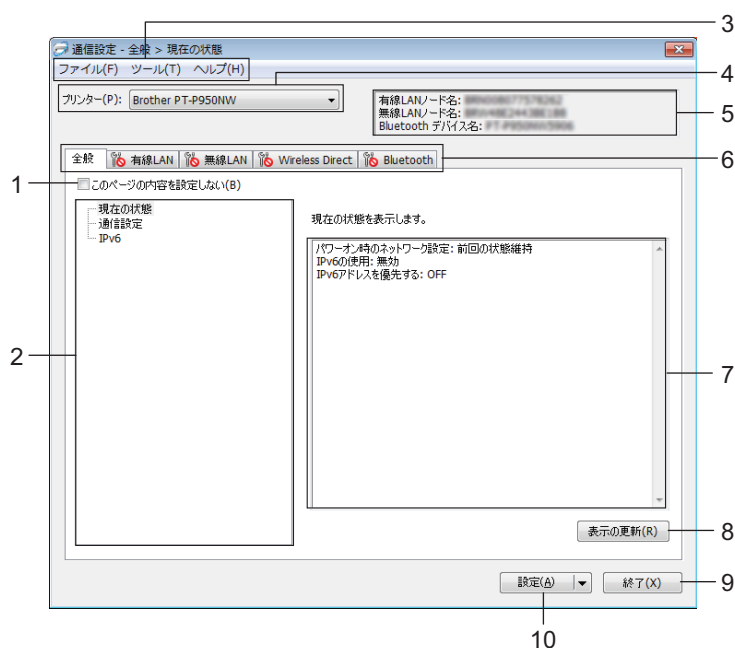
❗ 重要

ラベルプリンターがスタンバイ状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してラベルプリンターを設定します。ジョブの処理中にラベルプリンターを設定しようとすると、ラベルプリンターが誤作動する可能性があります。

通信設定 (Windows の場合)

プリンター設定ツールの [通信設定] では、USB ケーブルを使って 製品 とパソコンを接続する際の 製品の通信情報を指定したり変更したりすることができます。1 台のラベルプリンターの通信設定を変更できるだけでなく、同じ設定を複数のラベルプリンターに適用することもできます。

設定ダイアログボックス



1 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブに  が表示され、設定の指定や変更ができなくなります。

 が表示されているタブの設定は、[設定] をクリックしてもラベルプリンターに適用されません。また、[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

設定をラベルプリンターに適用する、保存する、またはエクスポートするには、チェックボックスのチェックが外れていることを確認してください。

2 項目

[現在の状態] を選択すると、現在の設定が設定表示 / 変更エリアに表示されます。

変更する設定の項目を選択します。

3 メニューバー

4 プリンター

接続されたラベルプリンターを示します。

5 ノード名

ノード名を表示します (ノード名は変更できます)。(「メニューバー」(31 ページ) をご覧ください。)

6 設定タブ

指定または変更する設定が含まれます。



がタブに表示されている場合、そのタブの設定はラベルプリンターに適用されません。

7 設定表示 / 変更エリア

選択した項目の現在の設定を表示します。

8 表示の更新

最新の情報で表示された設定を更新します。

9 終了

[通信設定] を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

❗ 重要

設定の変更後、[設定] ボタンをクリックせずに [終了] をクリックすると、設定はラベルプリンターに適用されません。

10 設定

設定をラベルプリンターに適用します。

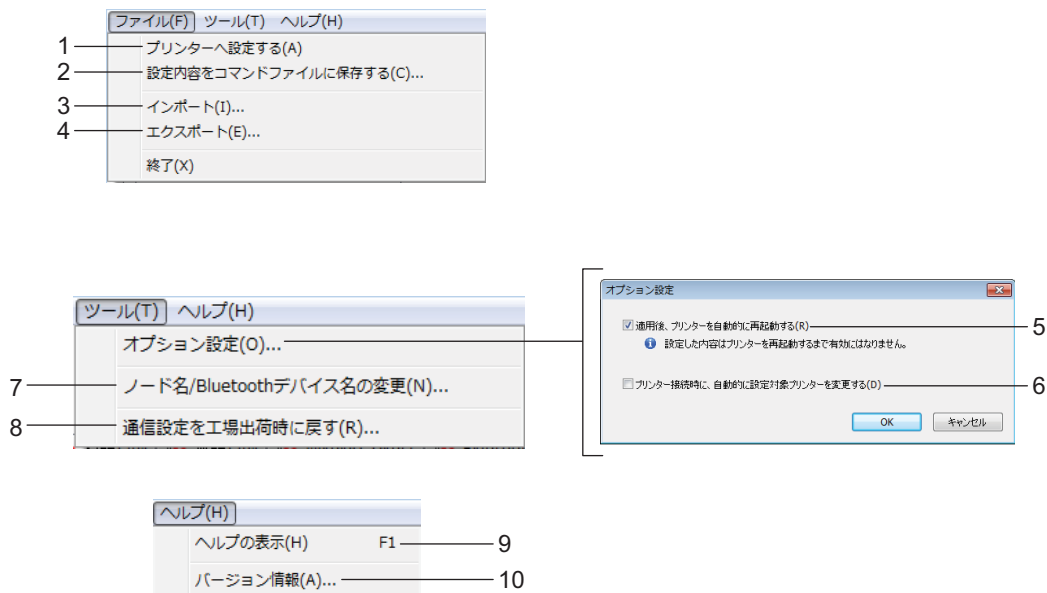
指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。保存したコマンドファイルをマスのストレージ機能を使用して、設定をラベルプリンターに適用できます (「マスのストレージ機能」(84 ページ) をご覧ください)。

❗ 重要

[設定] をクリックすると、すべてのタブの全設定がラベルプリンターに適用されます。

[このページの内容を設定しない] チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は適用されません。

メニューバー



1 プリンターへ設定する

設定をラベルプリンターに適用します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定をコマンドファイルに保存します。ファイルの拡張子は「.bin」です。

保存したコマンドファイルをマスメージ機能で使用して、設定をラベルプリンターに適用できます（「マスメージ機能」（84 ページ）をご覧ください）。



メモ

「このページの内容を設定しない」チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

❗ 重要

- 次の情報は、コマンドファイルには保存されません。
 - ノード名
 - IP アドレス、サブネットマスク、およびデフォルトゲートウェイ（IP アドレスが **[STATIC]** に設定されている場合）
- 保存したコマンドファイルは、設定をラベルプリンターに適用するために使用することのみを目的とします。このコマンドファイルを使用してラベルプリンターに設定を行うには、マスメージ機能を使用してください。
- 保存したコマンドファイルには、認証キーとパスワードが含まれます。他のユーザーがアクセスできない場所に保存するなど、保存したコマンドファイルの保護に必要な措置を取ってください。
- コマンドファイルを異なる機種に送信しないでください。

3 インポート

■ 現在の PC 無線設定からインポートする

パソコンから設定をインポートします。



メモ

- パソコンのワイヤレス設定をインポートする場合、パソコンの管理者権限が必要です。
- パーソナルセキュリティ認証の設定（オープンシステム、公開キー認証、および WPA/WPA2-PSK）のみをインポートできます。エンタープライズセキュリティ認証（LEAP および EAP-FAST など）、WPA2-PSK（TKIP）、および WPA-PSK（AES）設定はインポートできません。
- 複数の Wi-Fi がご使用のパソコンで有効の場合、検出された最初の Wi-Fi 設定（パーソナル設定のみ）をインポートデータと見なします。
- [無線 LAN] タブ - [無線設定] からの設定（通信モード、SSID、認証方式、暗号化方式、認証キー）のみをインポートできます。

■ プロファイルを選択してインポートする

エクスポートしたファイルをインポートし、設定をラベルプリンターに適用します。

[参照] をクリックし、インポートするファイルを選択します。選択したファイルの設定が、設定表示 / 変更エリアに表示されます。



メモ

- ノード名を除き、ワイヤレス設定または TCP/IP 設定などのすべての設定をインポートできます。
- 選択したラベルプリンターに対応したプロファイルのみをインポートできます。
- インポートされたプロファイルの IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合、ネットワークに既存の設定済みラベルプリンターの IP アドレスと重複しないよう、必要に応じて、インポートされたプロファイルの IP アドレスを変更してください。

4 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。



メモ

[このページの内容を設定しない] チェックボックスを選択した場合、そのタブの設定は保存されません。

❗ 重要

エクスポートしたファイルは暗号化されません。

5 適用後、プリンターを自動的に再起動する

このチェックボックスを選択した場合、通信設定が適用された後でラベルプリンターは自動的に再起動します。

このチェックボックスを選択していない場合、ラベルプリンターを手動で再起動する必要があります。



メモ

複数のラベルプリンターを設定する場合、このチェックボックスのチェックを外しておくことで時間を短縮できます。この場合、各設定が目的通りに動作していることを確認できるように、最初のラベルプリンターを設定するときにこのチェックボックスを選択することを推奨します。

6 プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する

このチェックボックスを選択してラベルプリンターをパソコンに接続した場合、ラベルプリンターは自動的に検出され、ラベルプリンターの現在の設定が **【現在の状態】** ペインに表示されます。



メモ

接続したラベルプリンターの機種が **【プリンター】** ドロップダウンリストに表示されたラベルプリンターの機種と異なる場合、すべてのタブで利用可能な設定は、接続したラベルプリンターに適合するよう変更されます。

7 ノード名 /Bluetooth デバイス名の変更

ノード名を変更できます。

8 通信設定を工場出荷時に戻す

通信設定を工場出荷時の設定に戻します。

9 ヘルプの表示

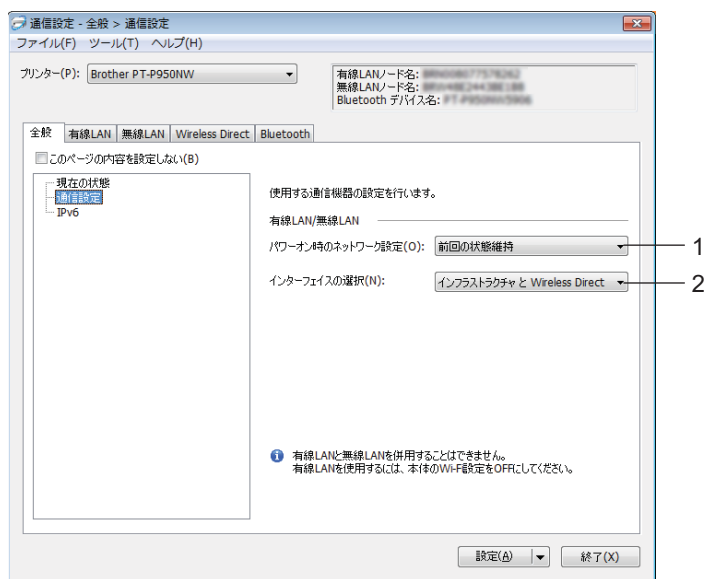
ヘルプを表示します。

10 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

全般タブ

通信設定



1 パワーオン時のネットワーク設定

本機の電源を入れたとき、Wi-Fi 経由で接続するための条件を指定します。

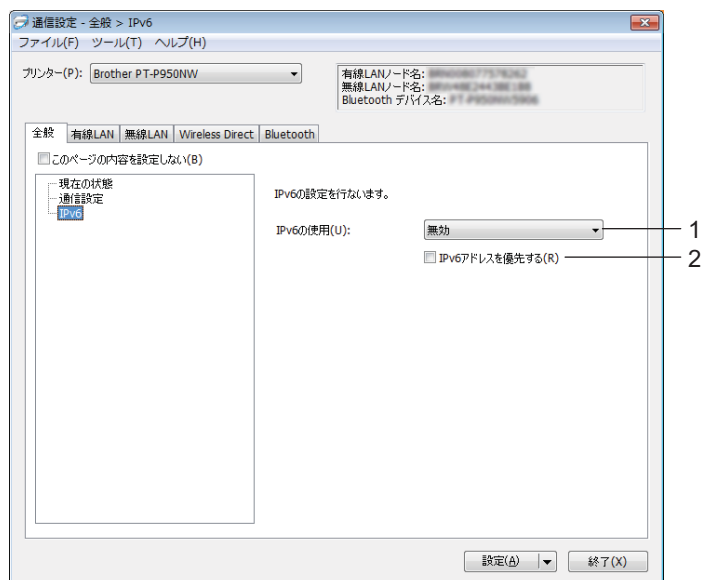
PT-P950NW：[常に無線 LAN]、[常に有線 LAN]、または [前回の状態維持] を選択します。

PT-P900W：[常に ON]、[常に OFF] または [前回の状態維持] を選択します。

2 インターフェイスの選択

[インフラストラクチャ または アドホック]、[インフラストラクチャ と **Wireless Direct**] または [**Wireless Direct**] を選択します。

IPv6



1 IPv6 の使用

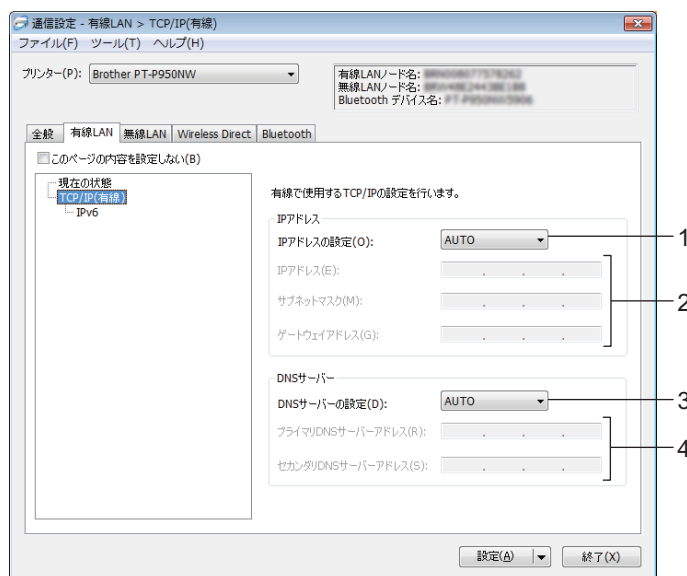
[有効] または [無効] を選択します。

2 IPv6 アドレスを優先する

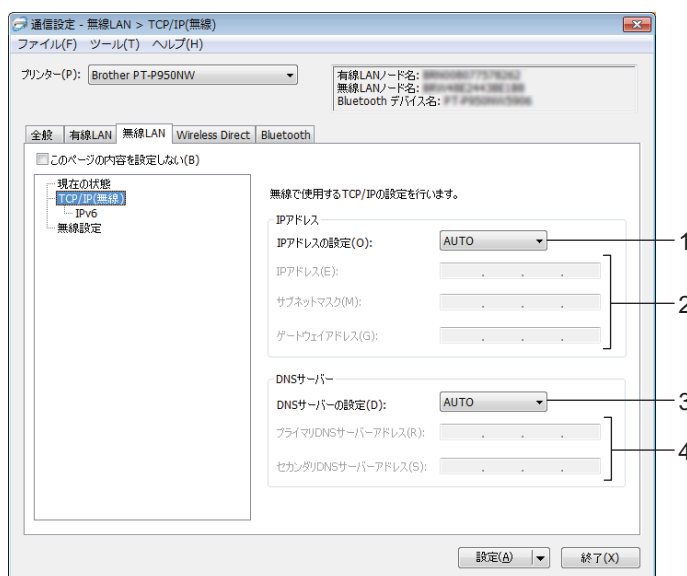
選択すると、IPv6 アドレスを優先します。

有線 LAN (PT-P950NW のみ) / 無線 LAN タブ

TCP/IP (有線)



TCP/IP (無線)



1 IP アドレスの設定

[**AUTO**]、[**BOOTP**]、[**DHCP**]、[**RARP**] または [**STATIC**] を選択します。

2 IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレス

各種ネットワーキング値を指定します。

IP アドレスが [**STATIC**] に設定されている場合のみ、これらの設定を入力できます。

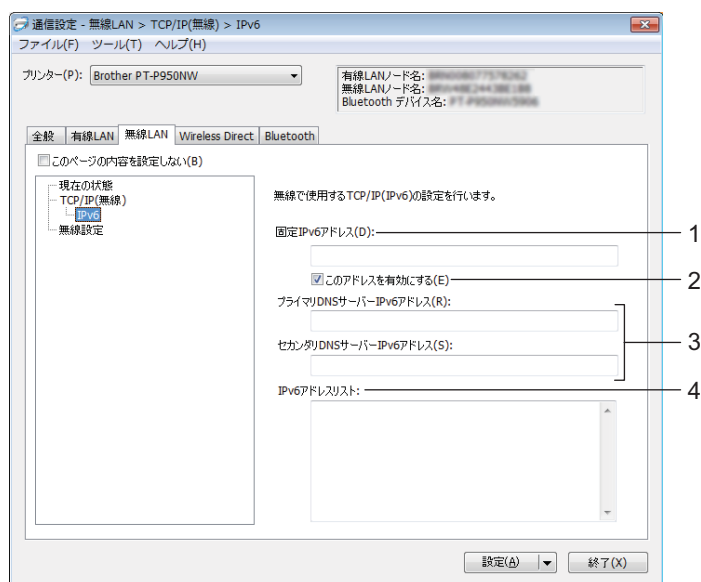
3 DNS サーバーの設定

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

4 プライマリ DNS サーバーアドレス／セカンダリ DNS サーバーアドレス

DNS サーバーが [**STATIC**] に設定されている場合のみ、これらの設定を入力できます。

IPv6



1 固定 IPv6 アドレス

IPv6 アドレスを指定します。

2 このアドレスを有効にする

指定された静的 IPv6 アドレスを有効にします。

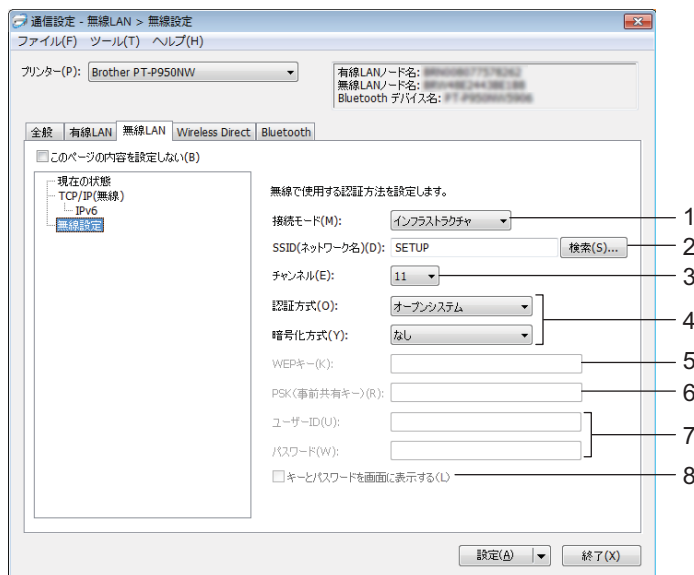
3 プライマリ DNS サーバー IPv6 アドレス / セカンダリ DNS サーバー IPv6 アドレス

DNS サーバーの IPv6 アドレスを指定します。

4 IPv6 アドレスリスト

IPv6 アドレスのリストを表示します。

無線設定



1 接続モード

[インフラストラクチャ] または [アドホック] を選択します。

2 SSID (ネットワーク名)

[検索] をクリックすると、別のダイアログボックスに選択可能な SSID が表示されます。

3 チャンネル

利用可能なチャンネルを示します。



メモ

この設定は、アドホックモードでのみ有効です。

アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。Wireless Direct をお使いください。

4 認証方式 / 暗号化方式

様々な認証方式向けにサポートされた暗号化方式を「通信モードと認証方式 / 暗号化方式」(40 ページ) に示します。

5 WEP キー

WEP が暗号化モードとして選択された場合にのみ、設定を指定できます。

6 PSK (事前共有キー)

WPA/WPA2-PSK が認証方式として選択された場合にのみ、設定を指定できます。

7 ユーザー ID / パスワード

LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS が認証方式として選択された場合にのみ、設定を指定できます。さらに、EAP-TLS では、パスワードの登録は必要ありませんが、クライアント証明書を登録する必要があります。証明書を登録するには、ウェブブラウザからラベルプリンターに接続し、証明書を指定します。ウェブブラウザの使用の詳細については、「Web Based Management (ウェブブラウザ)」(142 ページ) をご覧ください。

8 キーとパスワードを画面に表示する

このチェックボックスを選択した場合、キーとパスワードがプレーン（暗号化されていない）テキストで表示されます。

通信モードと認証方式 / 暗号化方式

- [接続モード] を [アドホック] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP

- [接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定している場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし / WEP
共有キー認証	WEP
WPA/WPA2-PSK	TKIP+AES / AES
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-FAST/GTC	TKIP+AES / AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
PEAP/GTC	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP+AES / AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP+AES / AES
EAP-TLS	TKIP+AES / AES

❗ 重要

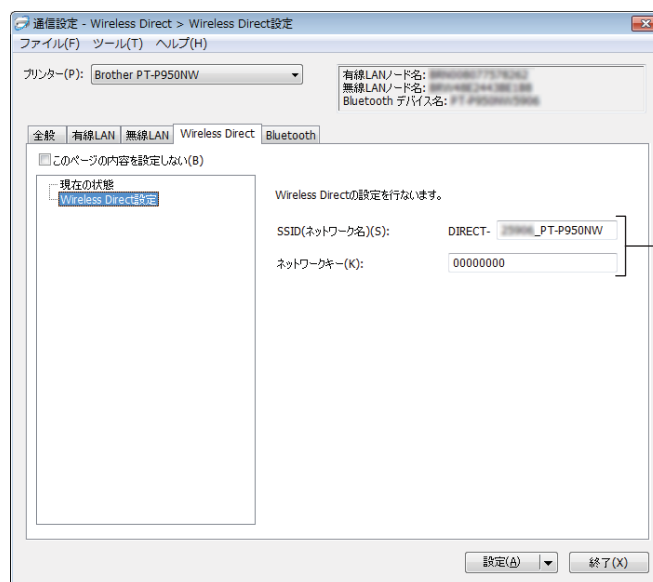
より高レベルのセキュリティ設定を指定する：

EAP-FAST、PEAP、EAP-TTLS、または EAP-TLS 認証方式で証明書の検証を実施する場合、証明書をプリンター設定ツールから指定することはできません。ネットワークに接続するようラベルプリンターを設定した後、ウェブブラウザからラベルプリンターにアクセスすることで証明書を指定します。

ウェブブラウザの使用の詳細については、「Web Based Management（ウェブブラウザ）」（142 ページ）をご覧ください。

Wireless Direct タブ

Wireless Direct 設定



1 SSID（ネットワーク名） / ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID（25 文字以下の ASCII 文字）とネットワークキー（63 字以下）を指定します。

メモ

工場出荷時の SSID とパスワードは、次のとおりです。

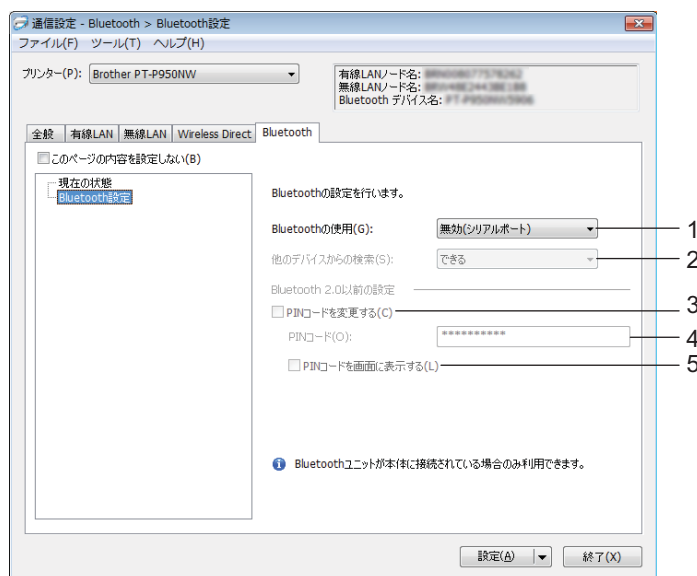
SSID : 「DIRECT-*****_PT-P950NW」または「DIRECT-*****_PT-P900W」。「*****」は製品シリアルナンバーの下 5 桁です。

（シリアルナンバーラベルは、本機のテープ装着スペースにあります。）

パスワード（ネットワークキー）：00000000

Bluetooth タブ (PT-P950NW のみ)

Bluetooth 設定



1 Bluetooth の使用

[有効] または [無効 (シリアルポート)] を選択します。

2 他のデバイスからの検索

他の Bluetooth デバイスがラベルプリンターを「検出」できるようにします。

利用可能な設定： [できる]、[できない]

3 PIN コードを変更する

このチェックボックスを選択すると、PIN を変更できます。

4 PIN コード接続

Bluetooth 2.0 以前に準拠するデバイスとペアリングする際に使用する PIN コードを指定します。

5 PIN コードを画面に表示する

このチェックボックスを選択すると、PIN コードを表示します。

複数のラベルプリンターに設定変更を適用する

- 1 最初のラベルプリンターに設定を適用した後でラベルプリンターをパソコンから取り外します。次に、2 台目のラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 2 [プリンター] ドロップダウンリストから、新しく接続したラベルプリンターを選択します。



メモ

[オプション設定] ダイアログボックスの [プリンター接続時に、自動的に設定対象プリンターを変更する] チェックボックスを選択した場合、USB ケーブルで接続したラベルプリンターが自動的に選択されます。

詳細については、「通信設定 (Windows の場合)」(29 ページ) をご覧ください。

- 3 [設定] ボタンをクリックします。
最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が、2 台目のラベルプリンターに適用されます。



メモ

無線 LAN アクセスポイント/ルーターとの接続が設定により正しく確立できることを確認できるように、最初のラベルプリンターを設定する際に [適用後、プリンターを自動的に再起動する] チェックボックスを選択することを推奨します。詳細については、「通信設定 (Windows の場合)」(29 ページ) をご覧ください。

- 4 設定を変更するすべてのラベルプリンターに、① ~ ③ のステップを繰り返します。

重要

IP アドレスが [STATIC] に設定されている場合、ラベルプリンターの IP アドレスも、最初のラベルプリンターと同じアドレスに変更されます。
必要に応じて、IP アドレスを変更してください。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、同じ設定を他のラベルプリンターに適用できます。（「通信設定 (Windows の場合)」(29 ページ) をご覧ください。）

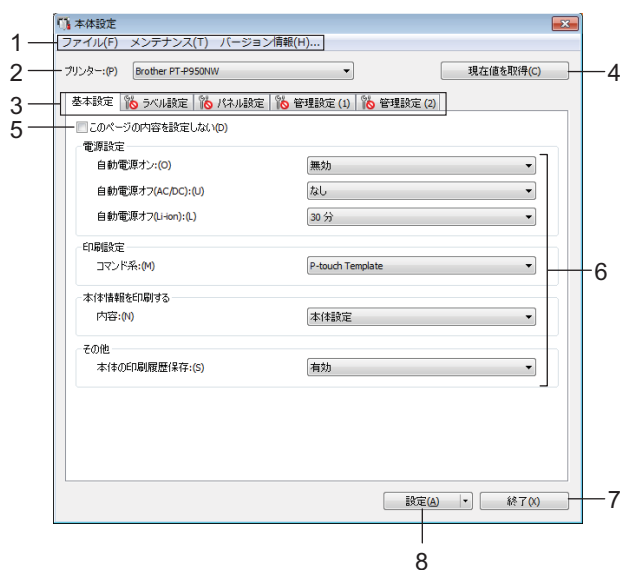
本体設定 (Windows の場合)

プリンター設定ツールの [本体設定] では、USB ケーブルを使って 製品 とパソコンを接続する際の 製品 の設定を指定したり変更したりすることができます。1 台のラベルプリンターの本体設定を変更するだけでなく、同じ設定を複数のラベルプリンターに適用することもできます。

パソコンのアプリケーションから印刷する場合、プリンタードライバから様々な印刷設定を指定できますが、プリンター設定ツールの [本体設定] を使用すると、より詳細な設定を指定できます。

[本体設定] を開くと、ラベルプリンターの現在の設定を取得および表示します。現在の設定を取得できない場合、前回の設定が表示されます。現在の設定を取得できず、また前回の設定が指定されていない場合、本ツールの初期設定値が表示されます。

設定ダイアログボックス



1 メニューバー

各メニューの中に含まれている機能を、リストから選択します。

2 プリンター

本体設定をするラベルプリンターを選択します。接続されているラベルプリンターが 1 台のみの場合は、そのラベルプリンターだけが表示されるため、選択する必要はありません。

3 設定タブ

指定または変更する設定が含まれます。



メモ

 がタブに表示されている場合、そのタブの設定を指定または変更できません。また、[設定] をクリックした場合でも、タブの設定はラベルプリンターに適用されません。[コマンドファイルに保存] または [エクスポート] を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

4 現在値を取得

現在接続しているラベルプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。があるタブのパラメーターに対しても設定を取得します。

5 このページの内容を設定しない

このチェックボックスを選択すると、タブにが表示され、設定の指定や変更ができなくなります。

が表示されているタブの設定は、**〔設定〕** をクリックしてもラベルプリンターに適用されません。また、**〔コマンドファイルに保存〕** または **〔エクスポート〕** を実行した場合でも、タブの設定は保存またはエクスポートされません。

6 パラメーター

現在の設定を表示します。

7 終了

〔本体設定〕 を終了し、プリンター設定ツールのメイン画面に戻ります。

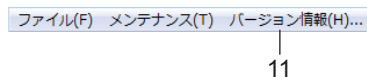
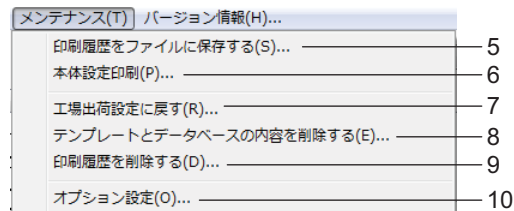
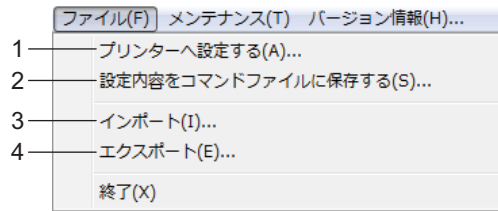
8 設定

設定をラベルプリンターに適用します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから **〔コマンドファイルに保存〕** を選択します。

保存したコマンドファイルをマスのストレージ機能を使用して、設定をラベルプリンターに適用できます。（「マスのストレージ機能」(84 ページ) をご覧ください。）

メニューバー



1 プリンターへ設定する

設定をラベルプリンターに適用します。
[設定] をクリックしたときと同じ操作を実行します。

2 設定内容をコマンドファイルに保存する

指定した設定をコマンドファイルに保存します。
[コマンドファイルに保存] が [設定] ドロップダウンリストから選択されたときと同じ操作を実行します。

3 インポート

エクスポートされたファイルをインポートします。

4 エクスポート

現在の設定をファイルに保存します。

5 印刷履歴をファイルに保存する

印刷履歴を csv 形式でファイルに書き出して保存します。

6 本体設定印刷

ファームウェアのバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。
✂(フィード & カット) ボタンを使用してこのレポートを印刷することもできます (「本機の設定を確認する」(84 ページ) をご覧ください)。



メモ

このレポートを印刷する場合は、24 mm または 36 mm のテープを使用してください。

7 工場出荷設定に戻す

すべてのラベルプリンター設定を工場出荷時の設定にリセットします。

8 テンプレートとデータベースを削除する

ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータとデータベースを削除します。

9 印刷履歴を削除する

ラベルプリンターに保存された印刷履歴を削除します。

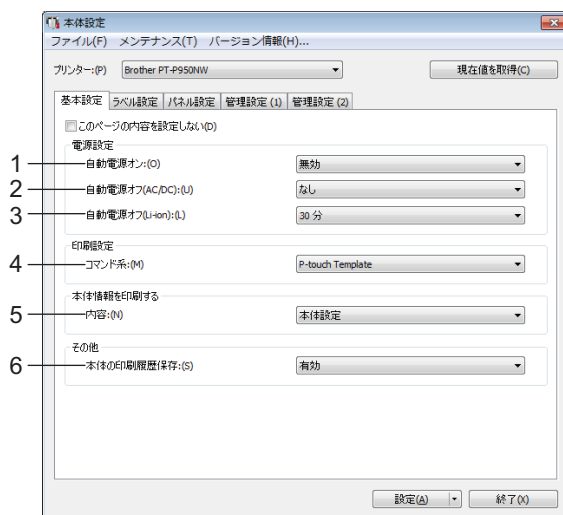
10 オプション設定

「起動時に現在値を取得できなかった場合、エラーメッセージを表示しない。」を選択した場合、メッセージは次回から表示されません。

11 バージョン情報

バージョン情報を表示します。

基本設定タブ



1 自動電源オン

電源コードを電源コンセントに差し込んだとき、ラベルプリンターの電源が自動的に入るかどうかを設定します。

利用可能な設定： [無効]、[有効]

2 自動電源オフ (AC/DC)

ラベルプリンターが電源コンセントに接続されている場合に、ラベルプリンターの電源が自動的に切れるまでに経過する時間を指定します。

利用可能な設定： [なし]、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、12 時間

3 自動電源オフ (Li-ion)

ラベルプリンターが Li-ion 充電電池から給電されている場合に、ラベルプリンターの電源が自動的に切れるまでに経過する時間を指定します。

利用可能な設定： [なし]、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間

4 コマンド系

ラベルプリンターのコマンド形式を指定します。

利用可能な設定： [ラスター]、[ESC/P]、[P-touch Template]

5 内容

本体情報を印刷するときの印刷内容を設定します。

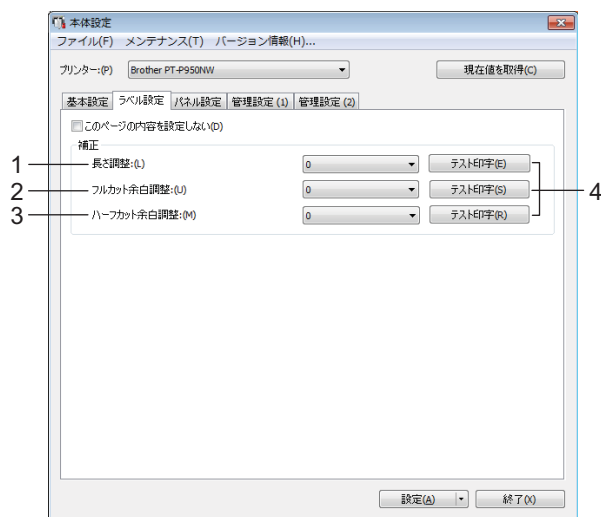
利用可能な設定： [すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、[転送データ]

6 本体の印刷履歴保存

本体からの印刷履歴を保存するかを設定します。[無効] に設定すると [メンテナンス] - [印刷履歴をファイルに保存する] は利用できません。

利用可能な設定： [有効]、[無効]

ラベル設定



1 長さ調整

カット時の長さの位置調整を行う値を設定します。利用可能な設定：-4 ～ +4 （1 ずつ増加します。）

2 フルカット余白調整

フルカット時の余白の調整を行う値を設定します。

利用可能な設定：-2 ～ +2 （1 ずつ増加します。）

3 ハーフカット余白調整

ハーフカット時の余白の調整を行う値を設定します。

利用可能な設定：-2 ～ +2 （1 ずつ増加します。）

4 テスト印字

ラベル設定タブの設定値でテスト印字を行います。

パネル設定タブ（PT-P950NW のみ）

操作パネル&液晶ディスプレイユニット（別売品）を使用する場合に設定します。



1 印刷前の確認

印刷指示をしたときに印刷枚数確認画面を表示するかを設定します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

2 オートカット

ラベルを自動的にカットするかどうか、また何枚印刷するかを選択します。

利用可能な設定：[On]、[Off]（1～99まで設定できます。）

3 ハーフカット

ハーフカットを行うかどうかを選択します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

4 つなげて印刷

つなげて印刷を行うかどうかを選択します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

5 バックライト

液晶ディスプレイのバックライトをつけるかを設定します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

6 画面の濃さ

液晶ディスプレイの濃淡を設定します。

利用可能な設定：-2～+2

7 ブザー音

操作パネルのキーを押したときに、ブザー音を出すかを設定します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

8 パネル選択

利用可能な設定：[A]、[B]

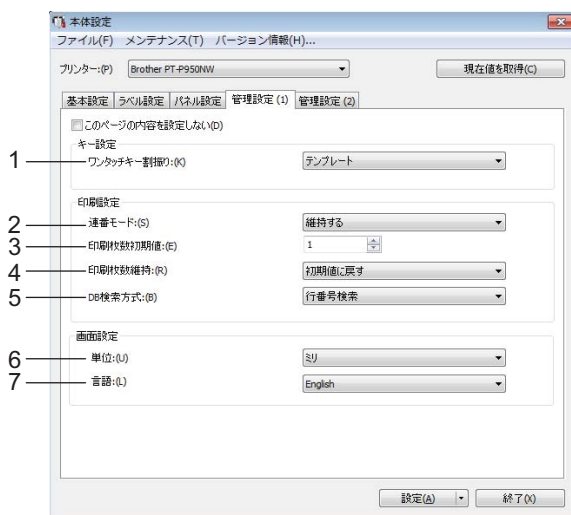
管理設定タブ (PT-P950NW のみ)

操作パネル&液晶ディスプレイユニット (別売品) を使用する場合に設定します。

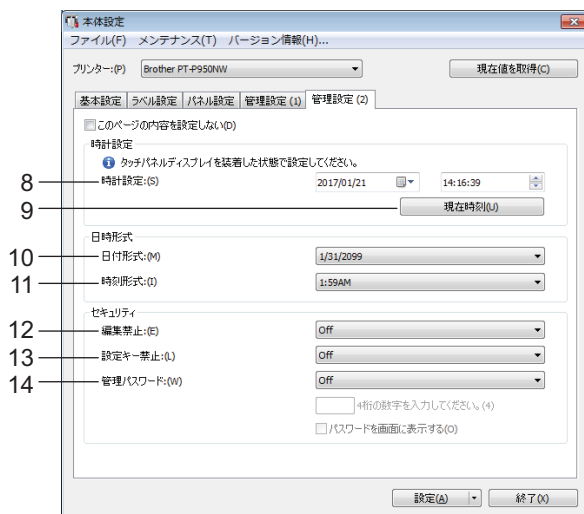
❗ 重要

これらのタブを表示させるには、パソコンやラベルプリンターの管理者権限が必要です。ラベルプリンターの管理者権限は、[プリンターのプロパティ] - [セキュリティ] タブで確認できます。

管理設定 (1)



管理設定 (2)



1 ワンタッチキー割振り

ワンタッチパネルのキーに、割り振るデータの種類を設定します。

複数のテンプレートデータを割り振る場合は **[テンプレート]** を選択します。

1つのテンプレートデータにリンクしているデータベースを割り振る場合は **[データベース]** を選択します。

利用可能な設定：**[テンプレート]**、**[データベース]**

2 連番モード

前回のナンバリング印刷番号の続きで印刷するかどうかを設定します。

利用可能な設定：**[維持する]**、**[初期値に戻す]**

3 印刷枚数初期値

印刷指示をしたときに、表示される印刷枚数の初期値を設定します。

設定範囲：1 ～ 999

4 印刷枚数維持

印刷時に設定した印刷枚数を、印刷後も維持するかどうかを設定します。

この設定は、ラベルプリンターの電源を切るまで有効です。

利用可能な設定：**[初期値に戻す]**、**[維持する]**

5 DB 検索方式

テンプレートデータにリンクされているデータベース内を検索する場合に、行番号で検索するか、指定番号で検索するかを設定します。

利用可能な設定：**[行番号検索]**、**[指定番号検索]**

6 単位

表示単位の形式を設定します。

利用可能な設定：**[ミリ]**、**[インチ]**

7 言語

液晶ディスプレイの表示言語を設定します。

利用可能な設定：**[Dansk]**、**[Deutsch]**、**[English]**、**[Español]**、**[Français]**、**[Italiano]**、**[Nederlands]**、**[Norsk]**、**[Português]**、**[Suomi]**、**[Svenska]**、**[中文]**、**[日本語]**



メモ

お使いの機種によって、表示可能な言語が異なります。表示できない言語を設定した場合、液晶ディスプレイの表示言語は変更されません。

設定できたかどうかは、液晶ディスプレイの表示をご確認ください。

8 時計設定

操作パネル&液晶ディスプレイの日時を設定します。

9 現在時刻

クリックすると、パソコンの現在時刻を取得、表示します。

10 日付形式

時計の日付表示形式を設定します。

11 時刻形式

時計の時刻表示形式を設定します。

12 編集禁止

テンプレートデータを編集できないようにするかどうかを設定します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

13 設定キー禁止

操作パネルの **【⚙️】**（設定キー）から行う各種の設定変更をできないようにするかどうかを設定します。

利用可能な設定：[On]、[Off]

14 管理パスワード

操作パネルの **【🔑】**（管理キー）から行う基本設定項目にアクセスするときのパスワードを設定します。パスワードは4桁で設定します。[パスワードを画面に表示する] にチェックを入れると、設定したパスワードを画面に表示します。

複数のラベルプリンターに設定変更を適用する

- ① 最初のラベルプリンターに設定を適用した後でラベルプリンターをパソコンから取り外します。次に、2 台目のラベルプリンターをパソコンに接続します。
- ② [プリンター] ドロップダウンリストから、新しく接続したラベルプリンターを選択します。
- ③ [設定] ボタンをクリックします。
最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が、2 台目のラベルプリンターに適用されます。
- ④ 設定を変更するすべてのラベルプリンターに、① ～ ③ のステップを繰り返します。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[ファイル] - [エクスポート] をクリックします。

[ファイル] - [インポート] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、同じ設定を他のラベルプリンターに適用できます。（「本体設定（Windows の場合）」（44 ページ）をご覧ください。）

P-touch Template の設定 (Windows の場合)

P-touch Template モードは、本機に接続されたバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）や他のデバイスからのデータを、本機に保存したテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。

プリンター設定ツールの「**P-touch Template 設定**」では、P-touch Template 機能を使用するための設定を指定または変更できます。

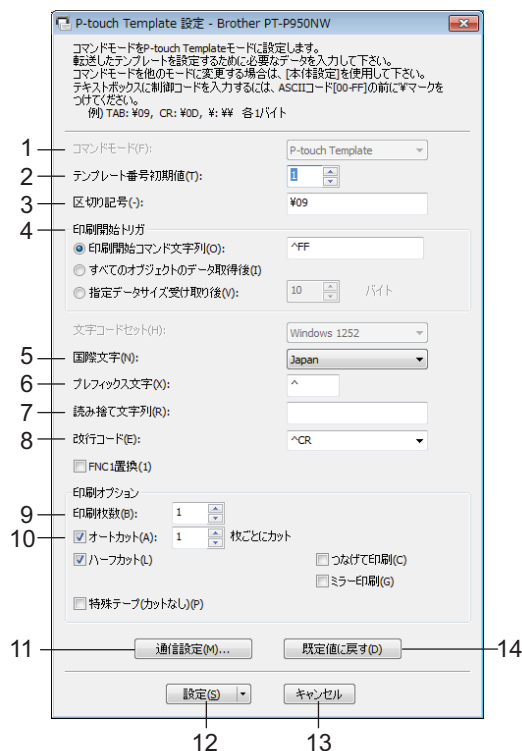


メモ

- P-touch Template モードは、秤のような入力装置、計測器、プログラマブルロジックコントローラ（PLC）、またはシーケンサと互換性があります。
- 「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。最新版は、弊社サポートサイト（サポートサイト）(support.brother.co.jp) からダウンロードできます。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

P-touch Template 設定ダイアログボックス



1 コマンドモード

P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

モードを変更するには、本体設定を使用します。

2 テンプレート番号初期値

本機の電源を入れた際、デフォルトとして選択するテンプレート番号を指定します。

ただし、テンプレートデータが本機に登録されていない場合、テンプレート番号を指定しないでください。

3 区切り記号

ファイル内のデータのグループ間の境界を示すのに使用される記号。1 ～ 20 文字で指定できます。

4 印刷開始トリガ

印刷を開始するトリガーを指定できます。

[印刷開始コマンド文字列]：ここで指定されたコマンド文字を受信すると、印刷を開始します。

[すべてのオブジェクトのデータ取得後]：最終オブジェクトの区切り文字を受信すると、印刷を開始します。

[指定データサイズ受け取り後]：ここで指定された文字数を受信すると、印刷を開始します。ただし、区切り文字は文字数にカウントされません。

5 国際文字

文字セットの国を示します。

利用可能な設定： [United States]、[France]、[Germany]、[Britain]、[Denmark]、[Sweden]、[Italy]、[Spain]、[Japan]、[Norway]、[Denmark II]、[Spain II]、[Latin America]、[Korea]、[Legal]

上記のリストから選択した国により、次の 12 のコードを切り替えます。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

切り替えた文字については、「**P-touch** テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください（弊社サポートサイト（サポートサイト）（support.brother.co.jp）からダウンロードできます）。

6 プレフィックス文字

プレフィックス文字コードを指定します。P-touch Template モードで使用するコマンドを識別します。

7 読み捨て文字列

ここで指定された文字は、データ受信時に印刷されません。1 ～ 20 文字を指定します。

8 改行コード

改行コードは、次のデータがテキストオブジェクト内の次の行に移動することを示すため、データ送信時に使用します。次の 4 つの改行コードの 1 つを選択できます。または改行コードとして 1 ～ 20 文字を指定できます。

利用可能な設定： [^CR]、[¥0D¥0A]、[¥0A]、[¥0D]

9 印刷枚数

印刷部数を設定します。1 ～ 99 の数字を指定できます。

10 カットオプション

オートカットを行うか、また何枚ごとに行うかを設定します。1 ～ 99 の数字を指定できます。

その他のカットオプションも選択できます。

11 通信設定

通信設定を行います。

12 設定

ラベルプリンターに設定値を反映します。

指定した設定をコマンドファイルに保存するには、ドロップダウンリストから [コマンドファイルに保存] を選択します。保存したコマンドファイルをマスストレージ機能を使用して、設定をラベルプリンターに適用できます（「マスストレージ機能」（84 ページ）をご覧ください）。

13 キャンセル

設定をキャンセルし、ダイアログボックスを閉じます。設定は変更されません。

14 既定値に戻す

工場出荷時の設定に戻します。

プリンター設定ツール（Mac の場合）

プリンター設定ツールを使用すると、ラベルプリンターの通信設定と本体設定を **Mac** から指定できます。1 台のラベルプリンターの本体設定を変更するだけでなく、同じ設定を複数のラベルプリンターに適用することもできます。

メモ

プリンター設定ツールは初期インストーラーを使用すると、プリンタードライバなどの他のソフトウェアと同時にインストールされます。「プリンタードライバとソフトウェアをパソコンにインストールする」（8 ページ）をご覧ください。

重要

プリンター設定ツールは、対応した弊社ラベルプリンターでのみご利用いただけます。

印刷設定ツールを使用する前に

- AC アダプターが AC 電源コンセントに接続されている、または満充電した Li-ion 充電池が取り付けられていることを確認します。
- プリンタードライバが正しくインストールされ、機能していることを確認します。
- USB ケーブルで、本機をパソコンに接続します。

このツールでは、Wi-Fi を使用して設定を指定することはできません。

プリンター設定ツールを使用する（Mac の場合）

- 1 設定するラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 2 [Macintosh HD] - [アプリケーション] - [Brother] - [Printer Setting Tool] - [Printer Setting Tool.app] をクリックします。
[プリンター設定ツール] ウィンドウが表示されます。
- 3 設定するラベルプリンターが [プリンター] に表示されているか確認します。別のラベルプリンターが表示されている場合、ドロップダウンリストからラベルプリンターを選択してください。



メモ

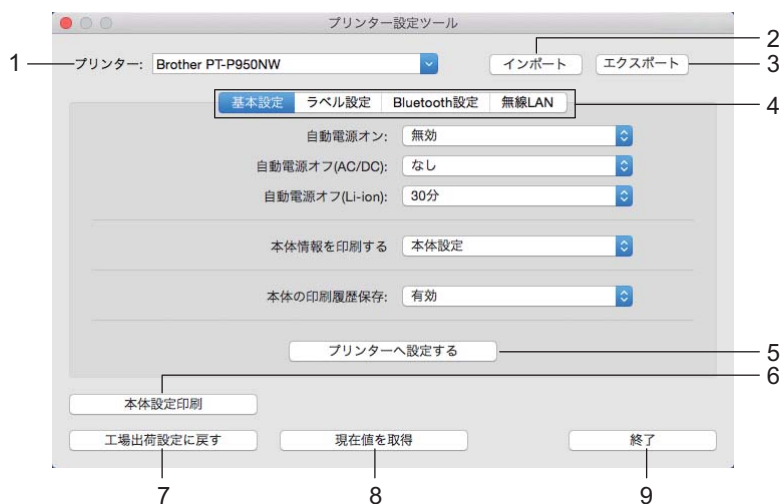
1 台のラベルプリンターのみが接続されている場合、そのラベルプリンターだけが表示されるので選択する必要はありません。

- 4 設定タブを選択してから、設定を指定または変更します。
- 5 設定タブの [プリンターへ設定する] をクリックして設定をラベルプリンターに適用します。
- 6 [終了] をクリックし、設定の指定を完了します。

！ 重要

ラベルプリンターがスタンバイ状態の場合のみ、プリンター設定ツールを使用してラベルプリンターを設定します。ジョブの処理中にラベルプリンターを設定しようとすると、ラベルプリンターが誤作動する可能性があります。

設定ダイアログボックス



- 1 プリンター
接続されたラベルプリンターを示します。
- 2 インポート
ファイルから設定をインポートします。
- 3 エクスポート
現在の設定をファイルに保存します。
- 4 設定タブ
指定または変更する設定が含まれます。
- 5 プリンターへ設定する
設定をラベルプリンターに適用します。
- 6 本体設定印刷
ファームウェアのバージョンと本体設定情報を含むレポートを印刷します。
⌘(フィード & カット) ボタンを使用してこのレポートを印刷することもできます（「本機の設定を確認する」(84 ページ) をご覧ください）。

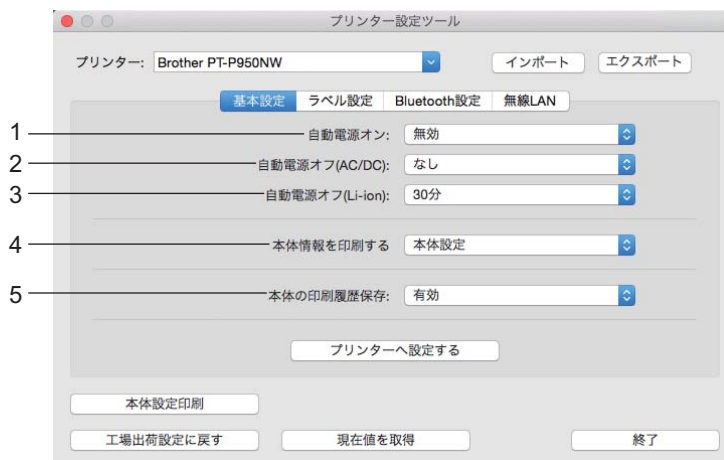


メモ

このレポートを印刷する場合は、24 mm または 36 mm のテープを使用してください。

- 7 工場出荷設定に戻す
すべてのラベルプリンター設定を工場出荷時の設定にリセットします。
- 8 現在値を取得
現在接続しているラベルプリンターから設定を取得し、ダイアログボックスに表示します。
- 9 終了
印刷設定ツールを終了します。

基本設定タブ



5

1 自動電源オン

電源コードを電源コンセントに差し込んだとき、ラベルプリンターの電源が自動的に入るかどうかを設定します。

利用可能な設定：[無効]、[有効]

2 自動電源オフ (AC/DC)

ラベルプリンターが電源コンセントに接続されている場合に、ラベルプリンターの電源が自動的に切れるまでに経過する時間を指定します。

利用可能な設定：[なし]、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間、2 時間、4 時間、8 時間、12 時間

3 自動電源オフ (Li-ion)

ラベルプリンターが Li-ion 充電電池から給電されている場合に、ラベルプリンターの電源が自動的に切れるまでに経過する時間を指定します。

利用可能な設定：[なし]、10 分、20 分、30 分、40 分、50 分、1 時間

4 本体情報を印刷する

本体情報を印刷するときの印刷内容を設定します。

利用可能な設定：[すべて]、[印刷履歴]、[本体設定]、[転送データ]

5 本体の印刷履歴保存

本体からの印刷履歴を保存するかを設定します。

利用可能な設定：[有効]、[無効]

ラベル設定タブ



1 長さ調整

カット時の長さの位置調整を行う値を設定します。
利用可能な設定：-4 ～ +4 （1 ずつ増加します。）

2 フルカット余白調整

フルカット時の余白の調整を行う値を設定します。
利用可能な設定：-2 ～ +2 （1 ずつ増加します。）

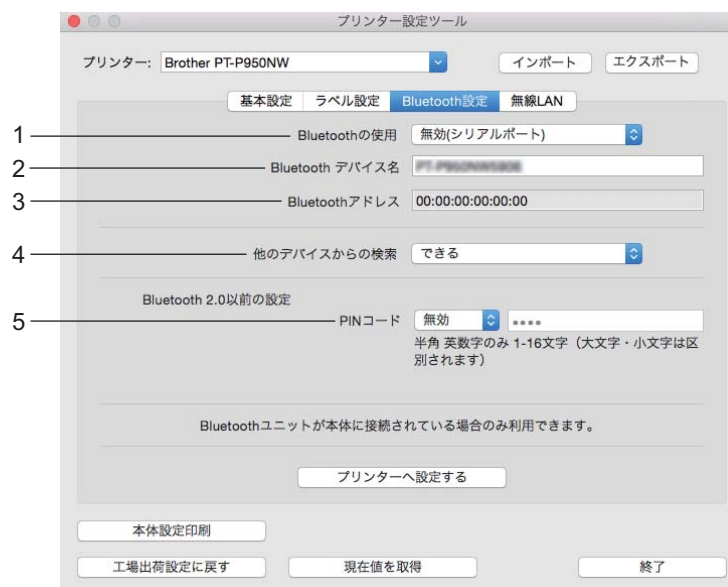
3 ハーフカット余白調整

ハーフカット時の余白の調整を行う値を設定します。
利用可能な設定：-2 ～ +2 （1 ずつ増加します。）

4 テスト印字

ラベル設定タブの設定値でテスト印字を行います。

Bluetooth 設定タブ



1 Bluetooth の使用

[有効] または [無効 (シリアルポート)] を選択します。

2 Bluetooth デバイス名

Bluetooth デバイス名を入力できます。

3 Bluetooth アドレス

取得した Bluetooth アドレスを表示します。

4 他のデバイスからの検索

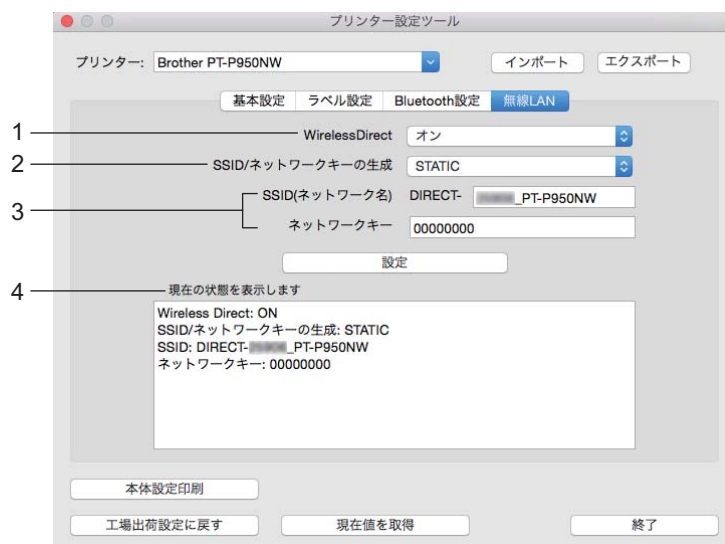
他の Bluetooth デバイスがラベルプリンターを「検出」できるようにします。

利用可能な設定： [できる]、[できない]

5 PIN コード

ペアリングする際に使用する PIN コードを有効または無効にします。

無線 LAN タブ



1 Wireless Direct

Wireless Direct 機能を ON または OFF にします。

2 SSID/ ネットワークキーの生成

[**AUTO**] または [**STATIC**] を選択します。

3 SSID (ネットワーク名) / ネットワークキー

Wireless Direct モードで使用する SSID (ASCII 文字 3 ～ 25) とネットワークキーを指定します。

[**SSID/ ネットワークキーの生成**] で [**STATIC**] を選択している場合のみ、設定を指定できます。

4 現在の状態を表示します

Wireless Direct の現在の設定を表示します。 [**現在値を取得**] ボタンをクリックして、最新の情報で表示された設定を更新します。

複数のラベルプリンターに設定変更を適用する

- ① 最初のラベルプリンターに設定を適用した後でラベルプリンターをパソコンから取り外します。次に、2 台目のラベルプリンターをパソコンに接続します。
- ② [プリンター] ドロップダウンリストから、新しく接続したラベルプリンターを選択します。
- ③ [プリンターへ設定する] ボタンをクリックします。
最初のラベルプリンターに適用された同じ設定が、2 台目のラベルプリンターに適用されます。
- ④ 設定を変更するすべてのラベルプリンターに、① ～ ③ のステップを繰り返します。



メモ

現在の設定をファイルに保存するには、[エクスポート] をクリックします。

[インポート] をクリックし、エクスポートされた設定ファイルを選択することで、同じ設定を他のラベルプリンターに適用できます。（「設定ダイアログボックス」(60 ページ) をご覧ください。）

モバイル端末から印刷する際に設定を変更する

モバイル端末から印刷する場合、必要に応じて、印刷する前にアプリケーションを使用して設定を変更します。変更できる設定は、アプリケーションによって異なります。

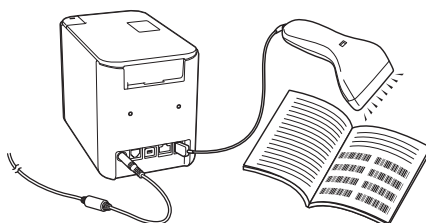


メモ

モバイル端末に接続する前に、本機をパソコンに接続し、プリンター設定ツールを使用することで、詳細な設定を指定できます（「ラベルプリンターの設定を変更する」（26 ページ）をご覧ください）。

P-touch Template 機能

P-touch Template モードでは、本機に接続されたバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）や他のデバイスからのデータを、本機に保存したテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。



基本操作

■ 定型テンプレート印刷機能（73 ページをご覧ください）

使用頻度の高いテンプレートや画像を本機にダウンロードしておく、と、バーコードを読み取るだけで印刷できます。

■ バーコード作成（コピー）印刷機能（75 ページをご覧ください）

テンプレートデータを本機にダウンロードしておく、と、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。

■ データベース置換印刷機能（78 ページをご覧ください）

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておく、と、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。

応用機能

■ ナンバリング（連番）印刷機能（81 ページをご覧ください）

本機にダウンロードしておいたテンプレートのテキストまたはバーコードの数字を自動的に 1 カウントアップしながら印刷します。



メモ

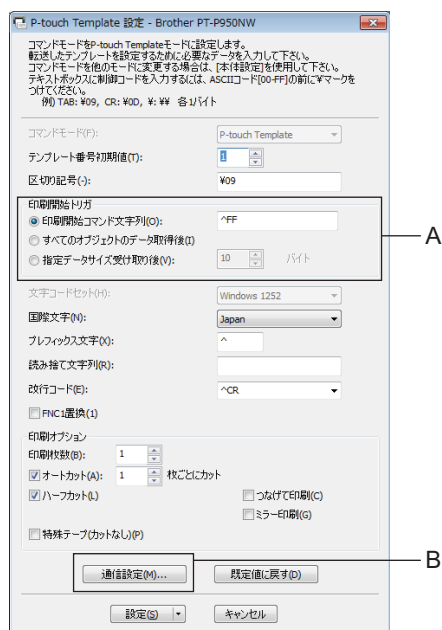
- P-touch Template モードは、秤のような入力装置、計測器、プログラマブルロジックコントローラ (PLC)、またはシーケンサと互換性があります。
 - 「P-touch テンプレートマニュアル / コマンドリファレンス」をご覧ください。サポートサイト (support.brother.co.jp) から、最新バージョンをダウンロードすることができます。
- 製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

事前準備

本機にバーコードリーダーを接続する前に、P-touch Template 設定ツール（プリンター設定ツール内）を使用して、バーコードリーダーの設定をします。

P-touch Template 設定ツールの設定

- ① 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、電源を入れます。
- ② プリンター設定ツールを起動します。
 - Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：
[アプリ] 画面の [Printer Setting Tool] アイコンをクリックします。
 - Windows 10 の場合：
スタートボタンから、[すべてのアプリ] を選択し、[Brother] - [Label & Mobile Printer] - [Printer Setting Tool] をクリックします。
- ③ [P-touch Template Settings] をクリックします。
- ④ 各項目を設定して、[設定] をクリックします。





メモ

- デフォルト設定では バーコードリーダーで「^FF」のコードを読み込んだときに印刷開始します。(A で変更できます。)
[指定データサイズ受け取り後] をチェックしてバイト数を指定すると、指定バイト数のバーコードを読み取り後に自動で印刷させることもできます。
 - P-touch Editor を利用してパソコンから印刷すると、コマンドモードがラスターモードに自動的に切り替わります。デフォルトモードを P-touch Template モードに設定している場合、電源の OFF/ON をしていただく事で、P-touch Template モードで起動します。
-

拡張型シリアルポート（RS-232C）の設定

RS-232C シリアルインターフェイスでバーコードリーダーまたはその他のデバイスを使用する場合は、バーコードリーダーまたはその他のデバイスと本機が同じシリアル通信を設定する必要があります。シリアルケーブル変換アダプター（別売品：PA-SCA-001）も必要です。



メモ

これらの設定を行う前に、バーコードリーダーのプログラミングリファレンスマニュアルをご確認ください。多くのバーコードリーダーはプログラムすることが難しいため、バーコードリーダーは初期設定のまま、本機側の通信設定を変更することをお勧めします。本機の通信設定の初期値は、次のようになります。

ボーレート	[9600] bps
ビット長	[8] bits
パリティ	[None]
ビジー制御	[DTR]

6

- 1 「P-touch Template 設定ツールの設定」の手順 ④ の通信設定（B）をクリックします。



- 2 必要に応じて設定を変更し、[設定] をクリックします。



メモ

正しく通信設定をするため、微調整などもできるように、[設定] ボタンを押しても、通信設定画面は閉じません。設定が完了したら、[キャンセル] または通信設定画面右上の [x] をクリックします。

バーコードリーダーの接続

高品質で信頼性の高いバーコードリーダーの使用と機種を選択を行う前にバーコードリーダーの仕様を確認することをお勧めします。

■ バーコードリーダーの接続方法

PT-P950NW の場合、USB ホストインターフェイス、RS-232C シリアルインターフェイス、Bluetooth を使用します。

PT-P900W の場合、RS-232C シリアルインターフェイスを使用します。



メモ

- RS-232C シリアルインターフェイスを使用するには、シリアルケーブル変換アダプター（別売品：PA-SCA-001）も必要です。
- Bluetooth（PT-P950NW のみ）を使用するには、Bluetooth ユニット（別売品：PA-BI-002）も必要です。

■ 推奨されるバーコードリーダーの選択基準

- USB ホストインターフェイスを使用の場合：キーボードとして認識できる HID クラスの機種（例 別売品：PA-BR-001）
- RS-232C シリアルインターフェイスを使用の場合：バッテリーまたは外部 AC アダプター付きのプログラム可能機種

本機の通信設定値は、次のようになります。

ボー レート	[300] bps から [115200] bps
ビット 長	[7] bits、[8] bits
パリティ	[None]、[Odd]、[Even]
ビジー 制御	[DTR]、[XON/XOFF]

- Bluetooth を使用の場合：SPP または OPP プロファイルに対応した Bluetooth Ver.2.1+EDR 対応モデル



メモ

- P-touch Template モードを使用するには、P-touch Transfer Manager を使用してテンプレートデータをパソコンから本機へ登録しておく必要があります。詳しくは、「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）」（102 ページ）をご覧ください。
- バーコードリーダーは、英語キーボード配列を使用するように設定します。初心者の場合、バーコードリーダーは、プレフィックスとサフィックスを無しに設定して、データをスキャンするように設定します。上級者の場合、P-touch Template モードの使用をより簡単にするために、プレフィックスおよび/またはサフィックスを本機へのコマンドとして使用するように設定します。

P-touch Template を使用してラベルを印刷する

- 2 バイト文字がエンコードされたバーコードをスキャンする場合は、**RS-232C** シリアルインターフェイスバーコードリーダーモデルのご使用をお勧めします。
 - バーコードリーダーの使用と設定方法について詳しくは、製造元にお問い合わせください。
-

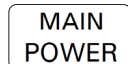
定型テンプレート印刷機能

使用頻度の高いテンプレートや画像を本機にダウンロードしておく、と、バーコードを読み取るだけで印刷できます。

<サイン>



<電気ラベル>



メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは、「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(180 ページ)をご覧ください。
- グループ化すると、画像として送信されます。



- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ (ラベル) を本機に登録 (P-touch Editor から) します (「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 (Windows のみ)」(102 ページ) をご覧ください)。



メモ

ラベルのテキストをグループ化すると、画像になります。画像にすると文字の編集ができなくなり、よく使うテンプレートを間違えて編集してしまうことを防ぎます。

P-touch Editor 編集画面のテキストオブジェクトの上で右クリックして、[プロパティ] をクリックします。[拡張] タブをクリックして、[文字の編集を禁止する] にチェックを入れます。

[拡張] タブが表示されない場合は、[ツール] メニューから [オプション] を選び、[全般] タブをクリックして、[その他] の中の [オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示] にチェックを入れます。

[文字の編集を禁止する] のチェックを外すとテキストに戻り、編集できるようになります。



- 2 転送するデータを P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] に移動し、転送したいデータが入っているフォルダーを選択します。



メモ

- P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] にテンプレートデータを移動すると [キー割り当て] 番号が自動的に設定されます。
- 定型テンプレート印刷機能で使用したいテンプレートデータは、[キー割り当て] 番号が 1 から 10 になるように設定してください。
- 高度な操作では、[キー割り当て] 番号を 1 から 99 に設定しておくこともできますが、読み取り用バーコードが用意されていない番号に設定した場合は、手順 ⑥ で読み取るバーコードを事前に用意する必要があります。詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から 「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- [転送用データセット] の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- 3 [転送用データセット] に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送] をクリックし、データを本機に登録します。
- 4 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(180 ページ) をご覧ください。
- 5 「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定に関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「*P-touch Template Manual/Command Reference*」(P-touch Template 製品 マニュアル / コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。

例：

数字の設定は次のように行います：7→ [0] [0] [7]、15→ [0] [1] [5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 6 印刷したいテンプレートデータの [キー割り当て] 番号と同じ番号の「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。
- 7 指定したラベルが印刷されます。

バーコード作成（コピー）印刷機能

テンプレートデータを本機にダウンロードしておく、バーコードを読み取って同じラベルを印刷したり、異なるラベルに読み取ったデータを挿入して印刷します。



メモ

- 各設定に必要な読み取り用バーコードは、「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」（180 ページ）をご覧ください。
- バーコードリーダーで読み取るバーコードとあらかじめ本機に登録しておいたバーコードテンプレートの規格が異なる場合は、バーコードを作成して印刷できない場合があります。
- バーコードリーダーでは読み取ることができるバーコードシンボルや規格でも、本機でサポートされていない場合は、印刷できません。

- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ（ラベル）を本機に登録（P-touch Editor から）します（「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）」（102 ページ）をご覧ください）。



CODE128/9 桁

！ 重要

バーコードシンボルや規格の要件を満たすためのテンプレートをデザインすることが重要です。特に、バーコードリーダーから挿入されたラベルのラベルサイズやバーコード位置がフィットするように最大桁数や文字種類を想定して作成してください。挿入されたデータが印刷可能な画像領域に収まらない場合は、バーコードが作成できません。

- 2 転送するテンプレートデータを P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] に移動し、転送したいデータが入っているフォルダーを選択します。

メモ

- P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] にテンプレートデータを移動すると [キー割り当て] 番号が自動的に設定されます。
- 定型テンプレート印刷機能で使いたいテンプレートデータは、[キー割り当て] 番号が 1 から 10 になるように設定してください。
- [転送用データセット] の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- 3 [転送用データセット] に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送] をクリックし、データを本機に登録します。
- 4 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(180 ページ) をご覧ください。
- 5 「基本設定」の下のバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。

メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定ツールに関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→ [0] [0] [7]、15→ [0] [1] [5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 6 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの [キー割り当て] 番号と同じ数字 (3 桁) を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。
数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→ [0] [0] [7]、15→ [0] [1] [5]

メモ

手順 ⑥ で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成し、印刷しておくことができます。

例：



- 7 手順 ⑥ で選択したテンプレートのバーコードに挿入したいデータが含まれているバーコードを読み取ります。

例：



(CODE128/9 桁)

- 8 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。
- 9 印刷されたテンプレートのバーコードは、手順 ⑦ でスキャンしたバーコードからのデータが含まれています。

例：



データベース置換印刷機能

データベースをリンクさせたテンプレートデータを本機にダウンロードしておく、テンプレートの内容をバーコードで読み取ったデータベースの値に置き換えて印刷します。



メモ

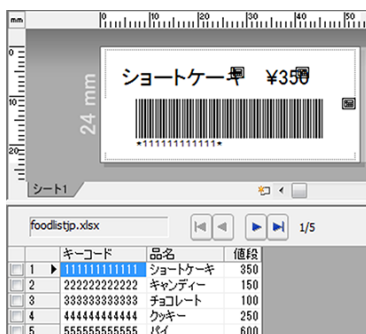
- 本機は、リンクされたデータベースの左端の列（フィールド「A」）を認識します。したがって、バーコードで読み取るキーワードは、データベースのこの列にある必要があります。
- リンクされたデータベースの左端の列（フィールド「A」）のデータは、バーコードで読み取られるキーワードと一致する必要があります。
- P-touch Editor と本機は、リンクされたデータベースの各フィールドの 1 行目しか認識しないので、左端の列（フィールド「A」）のデータは 1 行で作成することをお勧めします。
- 各設定に必要な読み取り用バーコードは、「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」（180 ページ）をご覧ください。

- 1 P-touch Editor を使用してテンプレートを作成し、データベースファイルを接続します。必要に応じて、テンプレートのテキストまたはバーコードオブジェクトに同じ数だけの列をリンクさせることができます。



メモ

データ置き換えのキーワードになるデータベースファイルの左端の列（フィールド「A」）のデータを印刷する必要がある場合は、この列をテンプレートのテキストまたはバーコードオブジェクトにリンクする必要はありません。ただし、この列のデータを印刷する、しないにかかわらず、データベースファイルの左端の列（フィールド「A」）はキーワードとして使用されます。



設定方法については、[P-touch Editor ヘルプ] をご覧ください。

- 2 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ（ラベル）を本機に登録（P-touch Editor から）します（「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）」（102 ページ）をご覧ください）。データベースファイルも一緒に登録されます。

- 3 P-touch Transfer Manager の [転送用データセット] にテンプレートデータを移動すると [キー割り当て] 番号が自動的に設定されます。



メモ

[転送用データセット] の下にフォルダーを追加して、テンプレートデータを移動し、種類や内容で管理することができます。

- 4 [転送用データセット] に移動されたテンプレートデータを選択して、[転送] をクリックし、データを本機に登録します。
- 5 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」(180 ページ) をご覧ください。
- 6 「基本設定」の下のあるバーコードリストから、設定したい項目のバーコードを読み取ります。



メモ

- 複数の項目を続けて設定できます。
- 何も設定しない場合は、P-touch Template の設定に従って印刷されます。P-touch Template 設定の初期値は、「オートカット」が「あり」で 1 枚のラベルが印刷されます。

P-touch Template 設定ツールに関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

- 印刷枚数を設定するには、「印刷枚数」バーコードを読み取ったあと、「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→ [0] [0] [7]、15→ [0] [1] [5]

- 枚数を変更する場合は、もう一度、「印刷枚数」バーコードを読み取ってから、3 桁の数字を読み取りなおしてください。

- 7 「テンプレート選択」バーコードを読み取ってから、印刷したいテンプレートの [キー割り当て] 番号と同じ数字 (3 桁) を「テンキー入力」バーコードで読み取ります。

数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。

例：

数字の設定は次のように行います：7→ [0] [0] [7]、15→ [0] [1] [5]

 メモ

手順 ❹ で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成し、印刷しておくことができます。

例：



- ⑧ 手順④からダウンロードされたデータベースで検索するキーワードが含まれているバーコードを読み取ります。
- 例：



- 9 読み取られたキーワードでデータベースの検索を開始するコマンドを送信するために、「デリミタ」バーコードをスキャンします。
- 10 「印刷開始」のバーコードを読み取ります。

 メモ

手順 ⑨ と ⑩ で使用するための 1 つのバーコードを P-touch Editor を使用して作成、印刷しておくことができます。

例：



- 11 本機は、読み取ったキーワードで検索したデータベースファイルの値に置き換えてテンプレートを印刷します。



ナンバリング（連番）印刷機能

本機にダウンロードしておいたテンプレートのテキストまたはバーコードの数字を自動的に 1 カウントアップしながら印刷します。



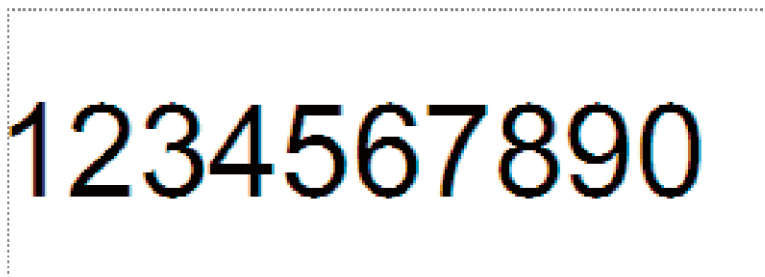
メモ

- この高度な操作は、P-touch Template モードの基本的な操作にもすべて適用できます。
- 999 までの連番印刷が可能です。
- ナンバリング（連番）設定を各テンプレートにつき、テキストおよびバーコードオブジェクトを 9 つまで選択できます。
- データベースファイルにリンクされたテキストとバーコードオブジェクトはナンバリング（連番）設定できません。

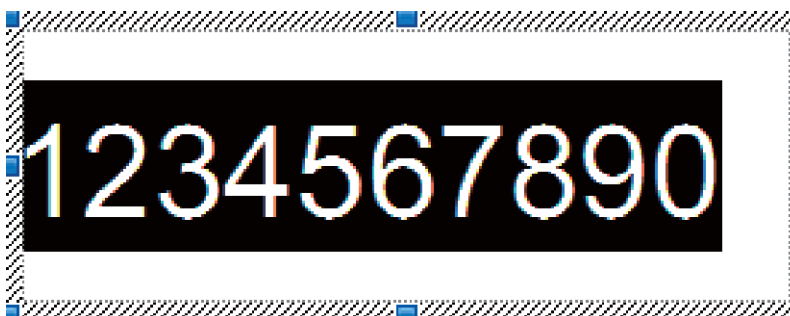
テキストナンバリング（連番）

■ 手順

- ① P-touch Editor でテンプレートを開き、ナンバリング（連番）印刷したいテキストオブジェクトを選択します。
例：



- ② ナンバリング（連番）印刷したいテキストオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます（ナンバリング範囲）。





メモ

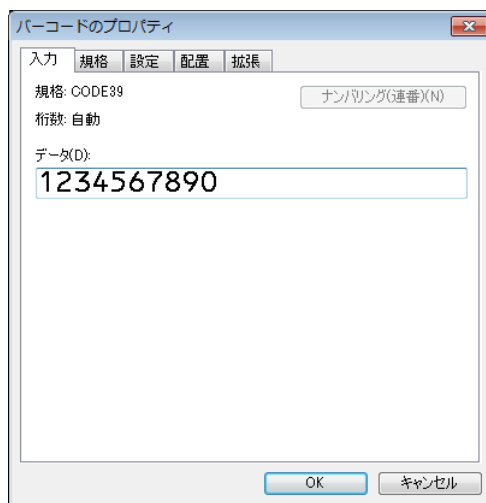
各ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

- 3 ハイライトされたナンバリング範囲の上で右クリックし、[ナンバリング (連番)] を選択します。

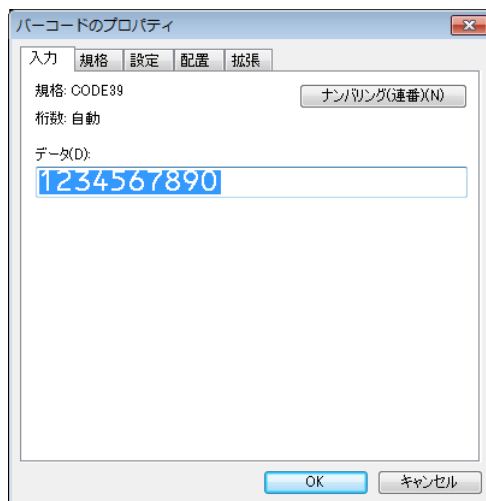
バーコードナンバリング (連番)

■ 手順

- 1 P-touch Editor でテンプレートを開き、ナンバリング (連番) 印刷したいバーコードオブジェクトを選択します。
- 2 選択したバーコードオブジェクトの上で右クリックし、[プロパティ] を選択します。
例：



- 3 [入力] タブをクリックし、ナンバリング (連番) 印刷したいバーコードオブジェクト内をハイライト表示するか、または数字や文字の上にカーソルをドラッグさせます (ナンバリング範囲)。
例：





メモ

「ナンバリング (連番)」 ボタンは、数字や文字をハイライトさせると表示されます。

- 4 「ナンバリング (連番)」 をクリックし、[OK] をクリックします。



メモ

各ナンバリング範囲で指定できる文字数は最大 15 文字です。

高度な操作でナンバリング (連番) 印刷をする

- 1 P-touch Transfer Manager を使用して、テンプレートデータ (ラベル) を本機に登録 (P-touch Editor から) します (「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 (Windows のみ) (102 ページ) をご覧ください)。データベースファイルも一緒に登録されます。
- 2 高度な操作でナンバリング (連番) を行うために本機を設定します。
「P-touch Template 機能設定用バーコード一覧」 (180 ページ) をご覧ください。
■ 「ナンバリング印刷枚数コマンド」バーコードを読み取り、印刷したい枚数を「テンキー入力」バーコードで 3 桁の数字を読み取ります。

例：

5 枚印刷したい場合は、3 桁の数字の設定はバーコードで、[0] [0] [5] と読み取ります。



メモ

- 印刷を開始するには、「定型テンプレート印刷機能」 (73 ページ) から「データベース置換印刷機能」 (78 ページ) の P-touch Template モードの基本操作手順に従ってください。
- 各ラベルがナンバリング (連番) 印刷され、そのカウントは本機に保存されます。
- テキストまたはバーコードオブジェクトを元の値に戻すには、「テンプレートデータ初期化」バーコードを読み取ります。

本機の設定を確認する

パソコンやモバイル端末に接続しなくても、本機の設定レポートを印刷できます。



メモ

本機の設定レポートには次のような情報が含まれています：ファームウェアバージョン、本体設定情報、シリアル番号、通信設定情報、Bluetooth 設定情報（PT-P950NW のみ）。

- 1 本機の電源を入れます。
- 2 (フィード & カット) ボタンを 10 秒以上、押します。



メモ

- 印刷する場合は、24 mm 幅または 36 mm 幅のテープカセットを装着してください。
- プリンター設定ツールからでも、設定レポートを印刷できます（「ラベルプリンターの設定を変更する」（26 ページ）をご覧ください）。

マスのストレージ機能

内容

マスのストレージ機能を使用すると、USB インターフェイスを通じてファイルを送信するだけで、プリンタードライバーを使用することなく本機と通信できます。

この機能は、次の場合に便利です：

- コマンドファイル（.bin 形式）に保存された本体設定や管理者が配布した .blf 形式ファイルのテンプレートデータを、専用ツールを使用せずに適用する場合
- プリンタードライバーをインストールせずに、コマンドを実行する場合
- データを印刷し送信するための USB ホスト機能を持った OS（Windows 以外の OS を含む）を搭載したデバイスを使用する場合

マスのストレージ機能を使用する

- 1 本機の電源が入っていないことを確認します。
- 2 (Wi-Fi) ボタンと (電源) ボタンを同時に長押しします。
 (電源) 表示ランプが緑色に、 (ステータス) 表示ランプがオレンジ色に点灯し、本機はマスのストレージモードで起動します。
- 3 パソコンやデバイスと本機を USB で接続します。
本機のマスのストレージ領域がパソコンやデバイスの画面に表示されます。



メモ

マスのストレージ領域が自動的に表示されない場合、マスのストレージ領域の表示の詳細については、パソコンやデバイスの取扱説明書をご覧ください。

- 4 コピーするファイルをマスのストレージ領域にドラッグアンドドロップします。
- 5 (Wi-Fi) ボタンを押します。
コマンドファイルのコマンドが実行され、 (ステータス) 表示ランプが 1 回緑色に点滅します。
終了すると、 (ステータス) 表示ランプがオレンジ色に点灯します。
- 6 マスのストレージ機能を解除するには、本機の電源を切ります。

重要

- 本機の電源を切ると、マスのストレージ機能が解除され、マスのストレージ領域内のファイルは削除されます。
- この機能は、.bin、.blf ファイルに対応します。他のファイル形式には対応していません。
- マスのストレージ領域内にフォルダーを作成しないでください。フォルダーを作成した場合、フォルダー内のファイルは実行されません。
- マスのストレージ領域の容量は、2.5 MB です。2 MB を超えるファイルの使用は、保証できません。
- 複数のファイルをコピーした場合、ファイルを実行する順序は保証できません。
- 本機がマスのストレージ機能で動作している間、Wi-Fi および Bluetooth 機能を使用できません。
- コピーしたファイルの実行中は、マスのストレージ領域の他のファイルにアクセスしないでください。



メモ

blf ファイルの作成方法について詳しくは、「BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する」(113 ページ) をご覧ください。

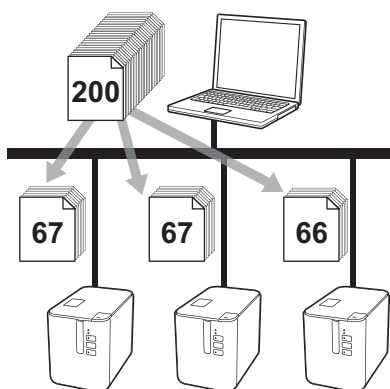
分散印刷 (Windows のみ)

大量のラベルを印刷する場合、複数のラベルプリンターに印刷を分散させることができます。分散させて同時に印刷できるので、印刷時間を短縮できます。



メモ

- USB、Wi-Fi、または有線 LAN (PT-P950NW のみ) で接続されているラベルプリンターへの分散印刷が可能です。
- 印刷枚数は指定したラベルプリンターに自動的に振り分けられます。振り分けるラベルプリンターに対して、割り切れない印刷枚数を設定した場合は、手順 ④ で指定する [分散印刷設定] 画面の上のラベルプリンターから順番に振り分けられます。設定可能な最大印刷枚数は 5000 枚です。

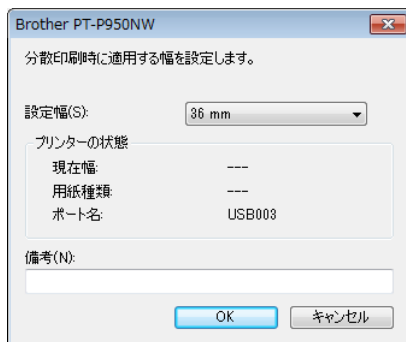


- ① P-touch Editor の [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
- ② [プロパティ ...] をクリックします。

5 使用するテープ幅を設定します。

A. 1 台のラベルプリンターを選択した場合

手順 ④ の [分散印刷設定] 画面で、設定するラベルプリンター名を選択し、ダブルクリックまたは右クリックして [設定] をクリックします。[設定幅] のドロップダウンリストからテープ幅を選択します。



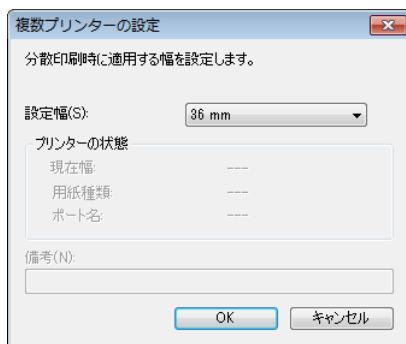
メモ

手順 ④ の [分散印刷設定] 画面に表示される情報は、[備考] 欄で入力できます。

7

B. 複数台のラベルプリンターを選択した場合

手順 ④ の [分散印刷設定] 画面で、設定するラベルプリンター名を複数選択して右クリックし、[設定] をクリックします。[設定幅] のドロップダウンリストからテープ幅を選択します。選択したラベルプリンター全てが同じテープ幅で設定されます。



メモ

[本体設定] と [備考] 欄は使用できません。

6 [OK] をクリックして、テープ幅設定画面を閉じます。

7 [OK] をクリックして、[分散印刷設定] 画面を閉じます。 設定が終了しました。

8 [OK] をクリックすると分散印刷が開始されます。



メモ

- USBハブやプリントサーバー経由で接続されているラベルプリンターの情報は検知できない場合があります。印刷の前に手動で設定を入力し、対象のラベルプリンターで印刷できるかを確認してください。
 - ルーターの有無やファイアウォールなどのセキュリティ機能の使用によって、この機能が利用できない場合があります。
 - 実際に使用する環境での接続テストをお勧めします。情報技術管理者または管理者に確認してください。
-

高解像度モードでラベルを印刷する

バーコードを含まないラベルを印刷する際は、高解像度モードを選択してください。高解像度印刷は、ACアダプターを使用し、黒色インクのTZe ラミネートテープ（ただしTZe-FX**1は除く）またはHGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで高解像度モードを選択します。

- ① P-touch Editor の [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
- ② [プロパティ ...] をクリックします。
- ③ [基本設定] タブで、[印刷品質] のドロップダウンリストから [高解像度] を選択します。



- ④ [OK] をクリックします。

高速モードでラベルを印刷する

高速印刷は、AC アダプターを使用し、黒色インクの TZe ラミネートテープ（ただし TZe-FX**1 は除く）または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで高速モードを選択します。

- ① P-touch Editor の [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
- ② [プロパティ ...] をクリックします。
- ③ [基本設定] タブで、[印刷品質] のドロップダウンリストから [高速] を選択します。



- ④ [OK] をクリックします。

品質優先モードでラベルを印刷する

バーコードを含むラベルを印刷する際は、品質優先モードを選択してください。品質優先印刷は、黒色インクの TZe ラミネートテープ（ただし TZe-FX**1 は除く）または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで品質優先モードを選択します。

- ① P-touch Editor の [ファイル] メニューから、[印刷] をクリックします。
- ② [プロパティ ...] をクリックします。
- ③ [基本設定] タブで、[印刷品質] のドロップダウンリストから [品質優先] を選択します。



- ④ [OK] をクリックします。



メモ

- P-touch Editor で [ファイル] - [印刷] を選択し、[オプション] で [品質優先] を選択することもできます。
- ご使用のプリンタードライバーや P-touch Editor の画面で選択できない場合、プリンタードライバーとファームウェアの更新が必要です。サポートサイト (support.brother.co.jp) から、最新のプリンタードライバーおよびファームウェアをダウンロードしてインストールしてください。



アプリケーション

ラベル作成ソフトウェア「 P-touch Editor 」の使用方法	94
ラベル転送ソフトウェア「 P-touch Transfer Manager 」とラベル管理ソフトウェア「 P-touch Library 」の使用方法 (Windows のみ)	102
ラベル遠隔転送ソフトウェア「 P-touch Transfer Express 」でテンプレートデータを転送する (Windows のみ)	119
ラベルプリンターのソフトウェアの更新方法	128

ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法

パソコンでラベルプリンターを使用するには、ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」とプリンタードライバをインストールする必要があります。

サポートサイト (support.brother.co.jp) から、最新のドライバーやソフトウェアをダウンロードすることができます。

製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

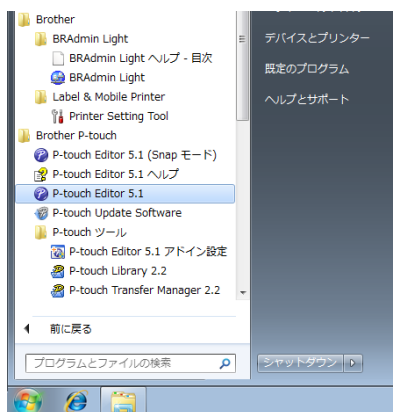
Windows の場合

P-touch Editor を起動する

- 1 P-touch Editor を起動します。

■ **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**

スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Editor] をクリック、またはデスクトップの [P-touch Editor] アイコンをダブルクリックします。



■ **Windows 8/ Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**

[アプリ] 画面で [P-touch Editor] をクリック、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

■ **Windows 10 の場合：**

スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Editor] をクリック、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

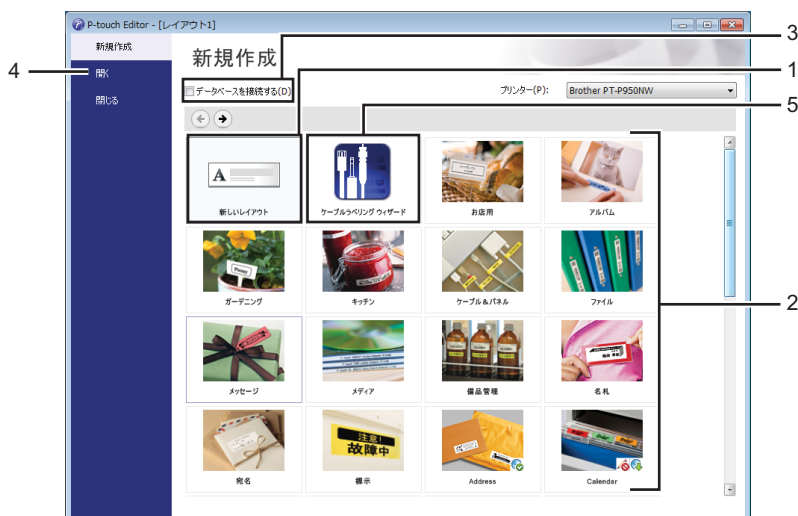
- ② P-touch Editor が起動したら、新しいレイアウトを作成するか既存のレイアウトを開くかを選択します。



メモ

起動時に P-touch Editor の機能を変更するには、P-touch Editor のメニューバーで [ツール] - [オプション] をクリックして、[オプション] ダイアログボックスを表示します。左側で、[全般] 見出しを選択してから、[起動時の設定] 下の [動作] リストボックスで希望の設定を選択します。デフォルト設定は、[新規ビューを表示] です。

- ③ 表示されたオプションを 1 つ選択します。



- 1 新しいレイアウトを作成するには、[新しいレイアウト] をダブルクリックするか、[新しいレイアウト] を選択して [→] をクリックします。
- 2 定型レイアウトを使用して新しいレイアウトを作成するには、希望のカテゴリーボタンをダブルクリックするか、希望のカテゴリーボタンを選択して [→] をクリックします。
- 3 定型レイアウトをデータベースに接続するには、[データベースに接続する] の隣のチェックボックスを選択します。
- 4 既存のレイアウトを開くには、[開く] をクリックします。

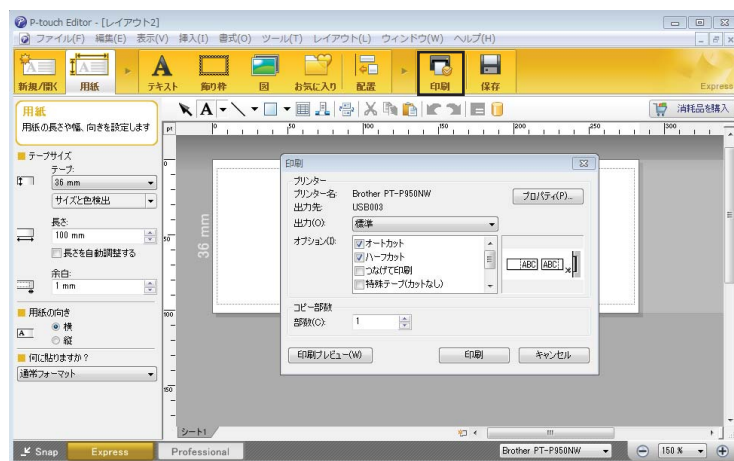
- 5 電子機器管理用のラベルを簡単に作成するアプリケーションを開くには、[ケーブルラベリングウィザード] をダブルクリックするか、[ケーブルラベリング ウィザード] を選択して [→] をクリックします。



P-touch Editor を使用して印刷する

■ Express モード

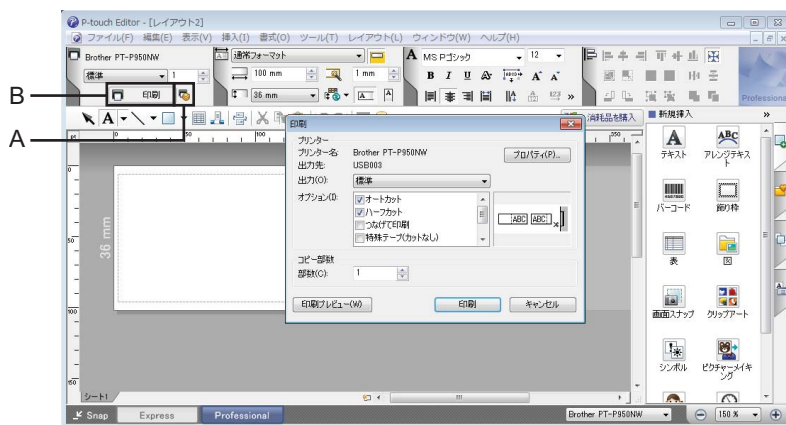
このモードでは、テキストや画像を含んだレイアウトを素早く作成できます。



メニューバーの [ファイル] から [印刷] を選択する、または [印刷] アイコンをクリックすることで印刷できます。(印刷する前に [印刷] 画面で印刷設定を実施してください。)

■ Professional モード

このモードでは、幅広い高度なツールとオプションを使用して、レイアウトを作成できます。



メニューバーの [ファイル] から [印刷] を選択する、または印刷設定アイコン (A) をクリックすることで印刷できます。印刷する前に [印刷] 画面で印刷設定を実施してください。

さらに、[印刷] アイコン (B) をクリックすると、印刷設定を変更せずに印刷を開始できます。

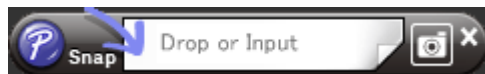
■ Snap モード

このモードでは、パソコンの画面表示の全部または一部を取り込み、画像として印刷し、今後使用するために保存することができます。

- 1 [Snap] モード選択ボタンをクリックします。
[Snap モードの説明] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 [OK] をクリックします。
[Snap] モードパレットが表示されます。



ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する

作成したテンプレートデータをラベルプリンター本体に登録するには、「**P-touch Transfer Manager**」を使用してください。詳しくは、「**P-touch Transfer Manager**」（102 ページ）をご覧ください。

Mac の場合

P-touch Editor を起動する

- 1 デスクトップ上の **[P-touch Editor]** アイコンをダブルクリックします。



メモ

- 次の方法でも P-touch Editor を起動できます。
[Macintosh HD] - [Applications] - [P-touch Editor] をダブルクリックし、[P-touch Editor] アイコンをクリックします。
 - Mac では、P-touch Editor で作成したテンプレートデータをラベルプリンター本体に登録することはできません。
-

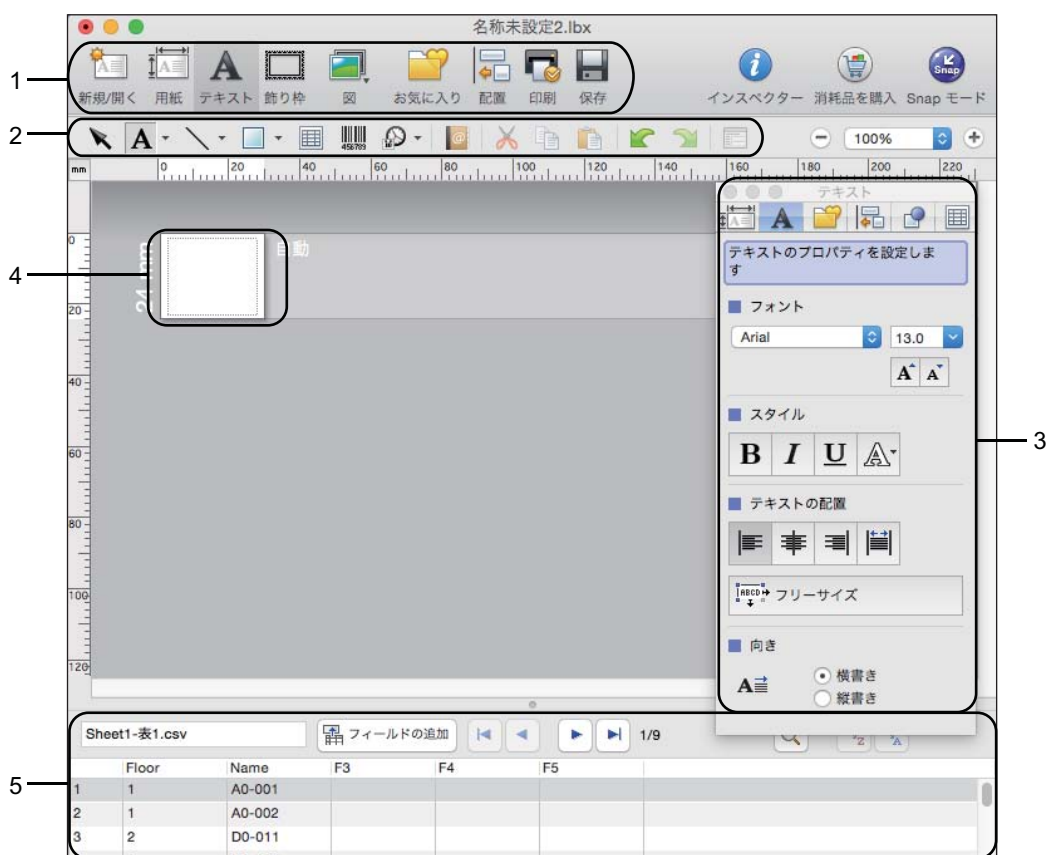
P-touch Editor が起動します。

操作モード

■ Standard モード

このモードでは、テキストや画像を含んだレイアウトを作成できます。

画面は、次のような項目で構成されています。



- 1 コマンドバー
- 2 描画 / 編集ツールバー
- 3 インスペクター
- 4 レイアウト画面
- 5 データベース表示

■ Snap モード

このモードでは、画面をキャプチャしたり、画像として印刷したり、あとで使用するために保存することができます。

Snap モードを起動するには、次の操作を行います。

- 1 [Snap] モードをクリックします。
[Snap モードの説明] 画面が表示されます。



- 2 [OK] をクリックします。
[Snap] モードパレットが表示されます。



ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録する

ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録するには Windows パソコンを使用してください。詳しくは、「P-touch Transfer Manager」(102 ページ) をご覧ください。

ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法 (Windows のみ)

P-touch Transfer Manager

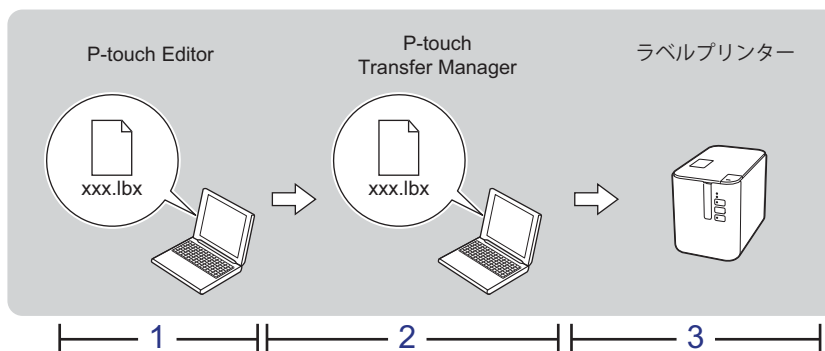
このプログラムにより、テンプレートデータやその他データをラベルプリンター本体に登録したり、ラベルプリンター本体に登録したデータのバックアップをパソコンに保存できます。

P-touch Transfer Manager を使用してテンプレートデータをラベルプリンター本体に登録後、P-touch Template 機能を使用すると、バーコードのコピーなどが簡単にできます。P-touch Template に関する詳細については、サポートサイト (support.brother.co.jp) から「P-touch Template Manual/Command Reference」(P-touch Template 製品マニュアル/コマンドリファレンス) (英語のみ) をダウンロードして参照してください。

製品を選択し、[製品マニュアル] を選択します。

テンプレートデータはネットワーク経由でも転送できます。

プリンター本体へのテンプレートデータの登録作業の流れ



- 1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成します。
「ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法」(94 ページ) をご覧ください。
- 2 P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送します。
「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」(103 ページ) をご覧ください。
(この時点では、ラベルプリンター本体へテンプレートデータとして登録するデータがパソコン上に準備できた状態です。)
- 3 P-touch Transfer Manager を使用して、ラベルプリンター本体にテンプレートデータを登録します。
「パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する」(106 ページ) をご覧ください。

P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する

- 1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成し、[ファイル] - [名前を付けて保存] メニューを選択してテンプレートファイル (*.lbx) として保存します。
- 2 [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。
P-touch Transfer Manager が起動すると、メイン画面が表示されます。

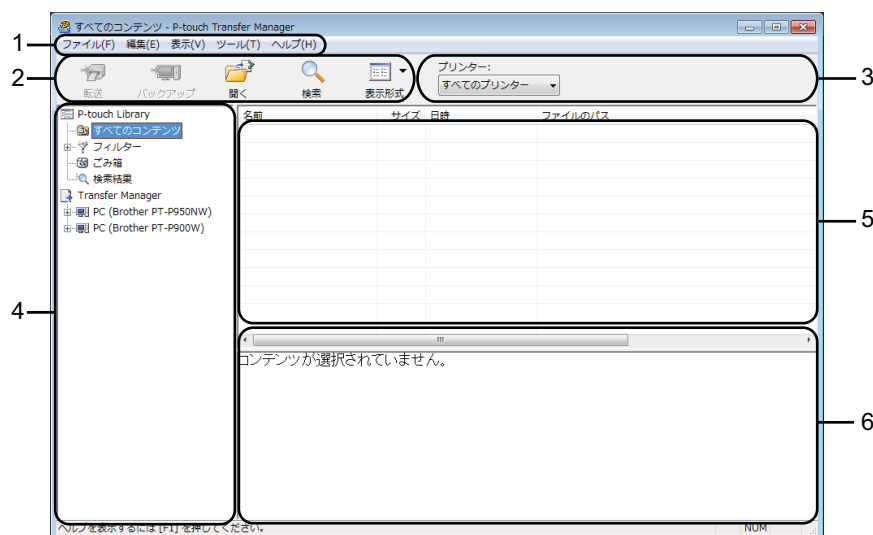


メモ

次の方法でも、P-touch Transfer Manager を起動できます。

- **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。
- **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。
- **Windows 10 の場合：**
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル（[ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、[ヘルプ]）の下にグループ化された様々な機能にアクセスします。

2 ツールバー

頻繁に使用する機能にアクセスします。

3 ラベルプリンターセレクトター

データ転送先のラベルプリンターを選択できます。ラベルプリンターを選択すると、選択したラベルプリンターに送信できるデータのみがデータリストに表示されます。

4 フォルダー表示

フォルダーとラベルプリンターのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートデータがテンプレートデータリストに表示されます。
ラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されている現在のテンプレートデータとその他データが表示されます。

5 テンプレートデータリスト

選択したフォルダー内のテンプレートデータのリストを表示します。

6 プレビュー

テンプレートデータのプレビューを表示します。

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	転送 (P-touch Transfer Manager のみ)	テンプレートデータやその他データをパソコンからラベルプリンター本体に登録します。
	転送ファイル保存 (ラベルプリンターを接続していないとき)	データのファイル形式を他のアプリケーションに転送されるように変更します。 Wi-Fi 経由でデータを転送する場合は、「BLF」形式を、USB 経由でデータを転送する場合は、「PDZ」形式を選択します。 使用できるインターフェイスは、お使いの機種によって異なります。
	バックアップ (P-touch Transfer Manager のみ)	ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータやその他データを検索し、パソコンに保存します。
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Library のみ)	選択したテンプレートデータをラベルプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータやその他データを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

パソコンからラベルプリンター本体へテンプレートデータを登録する

次の手順を使用して、テンプレートデータ、データベース、画像をパソコンからラベルプリンターに登録します。

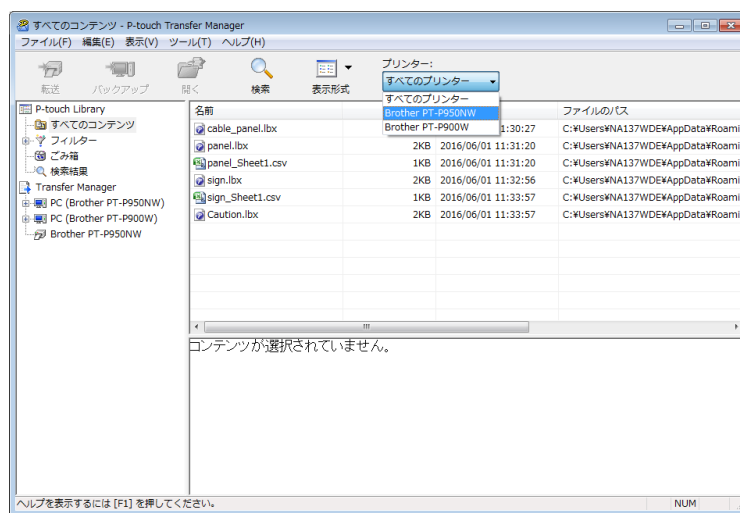
- 1 USB ケーブルまたは Wi-Fi でパソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
- 2 P-touch Transfer Manager を起動します。
フォルダー表示のラベルプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。
フォルダー表示のラベルプリンターを選択すると、現在のテンプレートデータとラベルプリンターに保存されているその他データが表示されます。



メモ

- ラベルプリンターが接続されていない、またはオフラインの場合は、フォルダー表示にラベルプリンター名は表示されません。
- データを転送する前に、パソコンとラベルプリンターが **USB** ケーブルまたは **Wi-Fi** で正しく接続されていること、およびラベルプリンターの電源が入っていることを確認します。

- 3 テンプレートデータやその他データの転送先であるラベルプリンターを選択します。

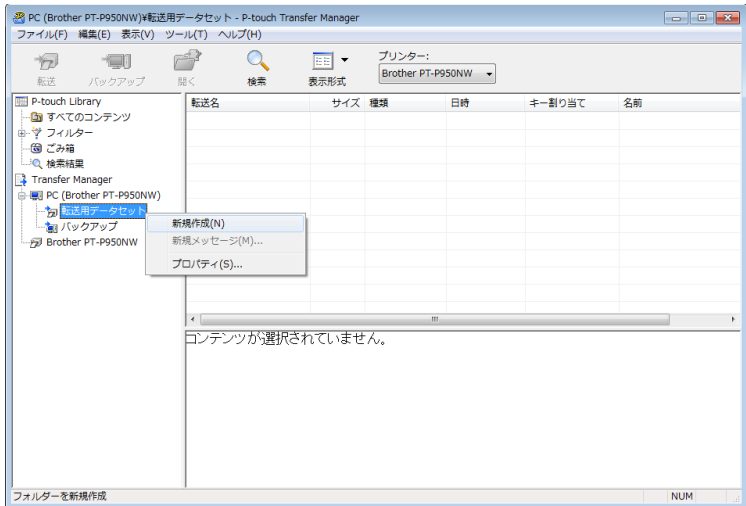


メモ

データを転送する前に、パソコンとラベルプリンターが **USB** ケーブルまたは **Wi-Fi** で正しく接続されていること、およびラベルプリンターの電源が入っていることを確認します。

ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）

- 4 [転送用データセット] フォルダを右クリックし、[新規作成] を選択し、新しいフォルダを作成します。



上記の例では、[Transfer] フォルダを作成しました。

- 5 転送するテンプレートデータやその他データをドラッグし、新しいフォルダに入れます。

転送機能仕様

データタイプ	転送可能な最大項目数	制限の詳細
テンプレート	99	■ 各テンプレートには最大 50 オブジェクトを収納できます。 ■ 各オブジェクトには最大 17 行まで収納できます。
データベース	99	■ *.csv ファイルのみを転送できます。 P-touch Editor でテンプレートデータにリンクされたデータベースファイルは、自動的に .csv 形式に変換され、登録されます。 ■ 各 *.csv ファイルは、最大 256 フィールドと 65000 レコードを収納できます。
画像 (ユーザー定義文字)	99	■ *.bmp ファイルのみを転送できます。 ■ モノクロ *.bmp ファイルを推奨します。 ■ サイズ制限は 2048 × 2048 ピクセルです。 ■ 幅の広い画像は切り捨てられる場合があります。

メモ

ラベルプリンター設定レポートを印刷することで、転送ファイルメモリーの空き領域を確認できます（「本機の設定を確認する」（84 ページ）をご覧ください）。

空き領域については、レポートの「**RomFree**」をご覧ください。¹

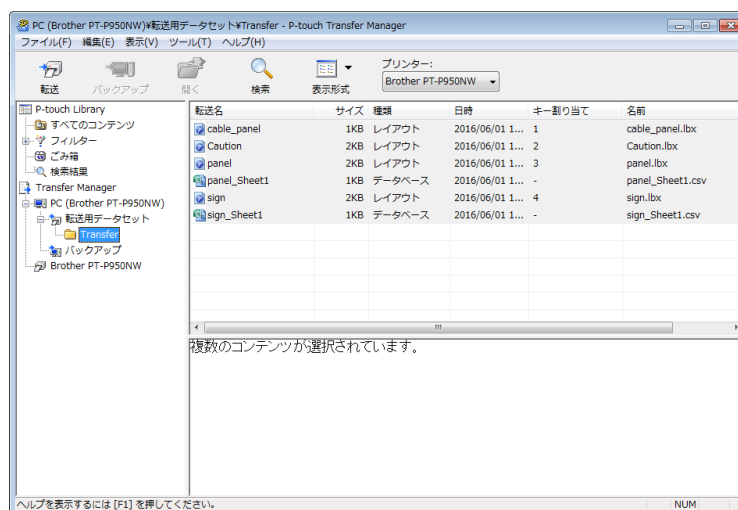
¹ 「RomFree = *****byte」に表示される空き領域は、実際の空き領域とは異なる場合があります。

下記のいずれかを選択すると、テンプレートデータやその他データを表示できます。

- [転送用データセット] フォルダー内のフォルダー
- [すべてのコンテンツ]
- [レイアウト] など、[フィルター] 下のカテゴリーの 1 つ

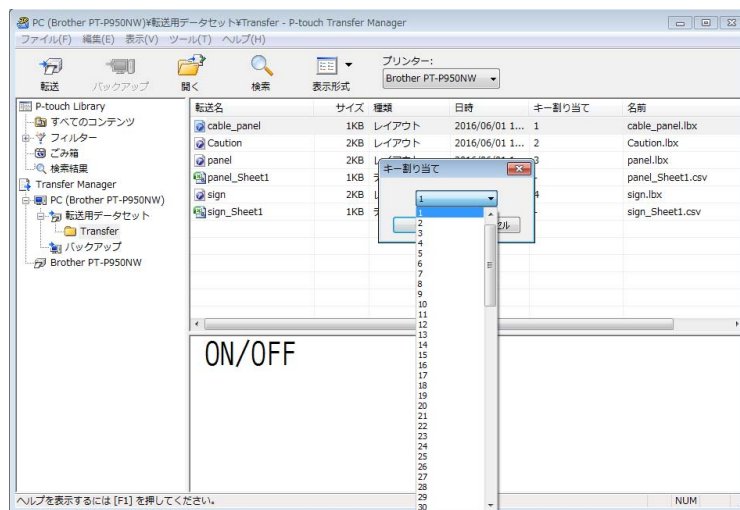
複数のテンプレートデータやその他データを転送する場合、転送するすべてのファイルをドラッグし、新しいフォルダーに入れます。

ファイルを新しいフォルダーに入れると、各ファイルにはキー番号（ラベルプリンター内のメモリー場所）が割り当てられます。



ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windowsのみ）

- 6 項目に割り当てられたキー番号を変更するには、項目を右クリックし、[キー割り当て] を選択して、希望のキー番号を選択します。



メモ

- データベースを除き、ラベルプリンターに転送される全データに、キー番号が割り当てられます。
- ラベルプリンターに転送されたテンプレートデータやその他データが、既にラベルプリンターに登録されている他のテンプレートデータと同じキー番号を持っている場合、新しいテンプレートデータが古いテンプレートデータを上書きします。テンプレートデータやその他データをバックアップすることで、ラベルプリンターに保存されたテンプレートキー番号の割り当てを確認できます（「ラベルプリンター本体に登録されたテンプレートデータをバックアップする」（111 ページ）をご覧ください）。
- メモリーがいっぱいになった場合、ラベルプリンターのメモリーから 1 つ以上のテンプレートデータを削除してください（「ラベルプリンター本体に登録されたテンプレートデータをバックアップする」（111 ページ）をご覧ください）。

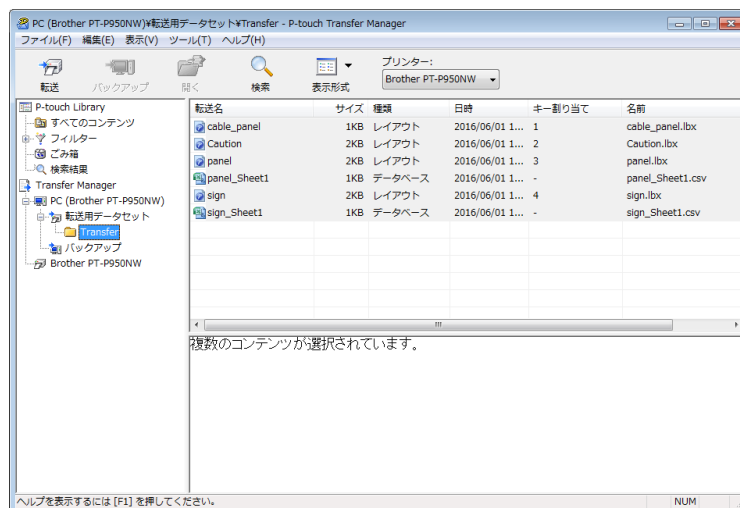
- 7 転送するテンプレートデータやその他データの名前を変更するには、希望の項目をクリックして新しい名前を入力します。ラベルプリンターの機種によって、使用する文字数が制限される場合があります。

メモ

このファイル名の半角英数 10 桁、全角（漢字、ひらがな、カタカナ）5 桁までが、テンプレート名として操作パネル&液晶ディスプレイユニットの液晶ディスプレイに表示されます（PT-P950NW のみ）。

ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windowsのみ）

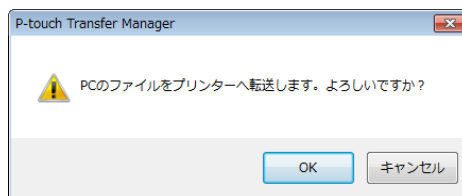
- 8 転送するテンプレートデータやその他データを含んだフォルダーを選択し、**[転送]** をクリックします。確認メッセージが表示されます。



メモ

- 個別の項目をフォルダーに追加せずに、転送することもできます。転送するテンプレートデータやその他データを選択し、**[転送]** をクリックします。
- 複数の項目とフォルダーを選択し、1回の操作で転送できます。

- 9 **[OK]** をクリックします。



選択したデータがラベルプリンターに転送されます。

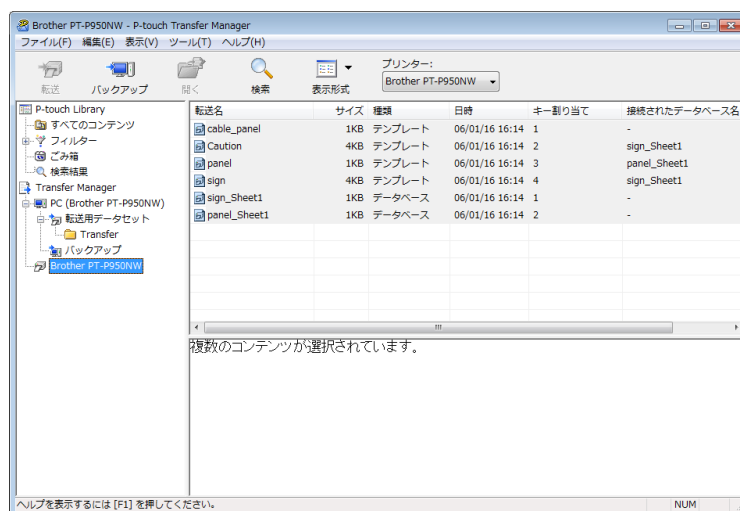
ラベルプリンター本体に登録されたテンプレートデータをバックアップする

次の手順を使用して、ラベルプリンターに保存されたテンプレートデータを検索し、パソコンに保存します。

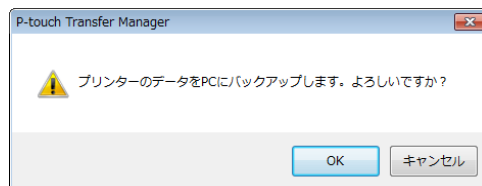
❗ 重要

- バックアップしたテンプレートデータやその他データは、パソコン上で編集できません。
- ある機種種のバックアップされたデータは、別の機種種に登録できません。

- 1 パソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のラベルプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。
フォルダー表示のラベルプリンターを選択すると、ラベルプリンターに保存されている現在のテンプレートデータとその他データが表示されます。
- 2 バックアップするラベルプリンターを選択し、[バックアップ] をクリックします。
確認メッセージが表示されます。



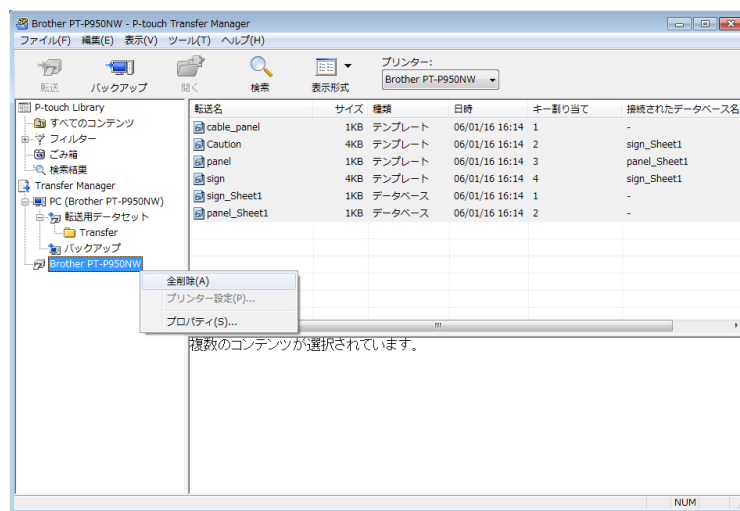
- 3 [OK] をクリックします。
新しいフォルダーが、フォルダービューのラベルプリンターの下に作成されます。フォルダー名は、バックアップの日時に基づきます。ラベルプリンターのテンプレートデータとその他データのすべてが、新しいフォルダーに転送され、パソコンに保存されます。



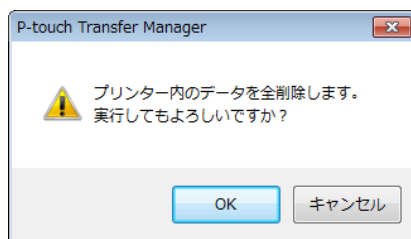
すべての登録済みデータを削除する

次の手順を使用して、ラベルプリンター本体に登録されたすべてのテンプレートデータやその他データを削除します。

- 1 パソコンとラベルプリンターを接続し、ラベルプリンターの電源を入れます。
フォルダー表示のラベルプリンターアイコンの横に機種名が表示されます。
- 2 ラベルプリンターを右クリックし、[全削除] を選択します。



確認メッセージが表示されます。



- 3 [OK] をクリックします。
ラベルプリンターに保存されているすべてのテンプレートデータとその他データが削除されます。

BLF ファイルまたは PDZ ファイルを作成する

P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager を使って、BLF 形式または PDZ 形式で保存することができます。それらの形式ファイルは、ネットワーク経由でパソコンやモバイル端末からラベルプリンターに登録できます。BLF 形式で保存されたファイルは、マスのストレージ機能での印刷にも使用します。

- 1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成し、Transfer Manager に転送します。
詳しくは、「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」（103 ページ）をご覧ください。
- 2 ラベルプリンターとパソコンを接続しない状態で、Transfer Manager 画面で **「転送データセット」** を選択し、保存するテンプレートデータを選択します。



メモ

一度に複数のテンプレートデータを選択できます。

- 3 **「ファイル」** - **「転送ファイル保存」** をクリックします。

！ 重要

ラベルプリンターがパソコンと接続されていない、またはオフラインの場合に **「転送ファイル保存」** は表示されません。



メモ

- **「転送用データセット」** または作成したフォルダーを選択してから **「転送ファイル保存」** をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートデータが Transfer ファイル（.blf）または Transfer Package ファイル（.pdz）として保存されます。
 - 複数のテンプレートデータを、1 つの Transfer ファイル（.blf）または Transfer Package ファイル（.pdz）にまとめることができます。
- 4 **「ファイルの種類」** で保存したい形式を選び、名前を付けて保存します。
マスのストレージモードで印刷する場合、または Wireless Direct を使って携帯端末と製品を接続印刷場合は、BLF 形式を選択します。
テンプレートデータは Transfer ファイル（.blf）または Transfer Package ファイル（.pdz）として保存されます。

P-touch Library

このプログラムにより、パソコンを使用して P-touch Editor で作成したテンプレートファイルを管理できます。

P-touch Library を使用してラベルを印刷できます。

P-touch Library を起動する

■ Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Library 2.2] をクリックします。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

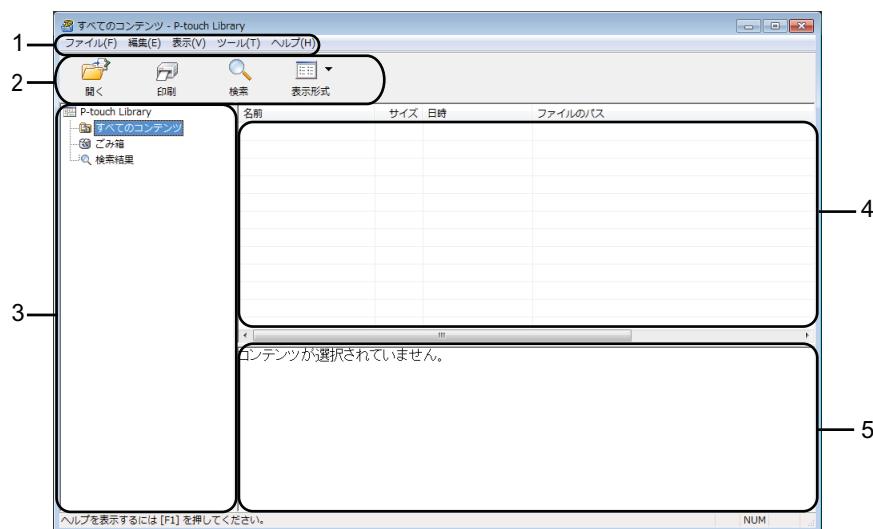
[アプリ] 画面で [P-touch Library 2.2] をクリックします。

■ Windows 10 の場合：

スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Library 2.2] をクリックします。

P-touch Library が起動すると、メイン画面が表示されます。

メイン画面



1 メニューバー

各機能に従って、各メニュータイトル（[ファイル]、[編集]、[表示]、[ツール]、[ヘルプ]）の下にグループ化された利用可能なすべての機能にアクセスします。

2 ツールバー

頻繁に使用する機能にアクセスします。

3 フォルダー表示

フォルダーのリストを表示します。フォルダーを選択すると、選択したフォルダー内のテンプレートデータがテンプレートデータリストに表示されます。

4 テンプレートデータリスト

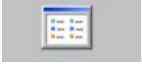
選択したフォルダー内のテンプレートデータのリストを表示します。

5 プレビュー

テンプレートデータのプレビューを表示します。

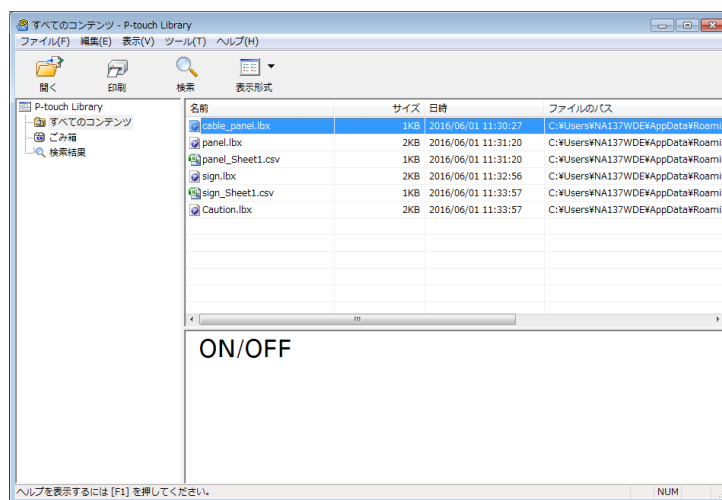
ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）

ツールバーアイコンの説明

アイコン	ボタン名	機能
	開く	選択したテンプレートデータを開きます。
	印刷 (P-touch Library のみ)	選択したテンプレートデータをラベルプリンターで印刷します。
	検索	P-touch Library に登録されているテンプレートデータを検索できます。
	表示形式	ファイル表示形式を変更します。

テンプレートデータを開いて編集する

開く、または編集するテンプレートデータを選択し、[開く] をクリックします。

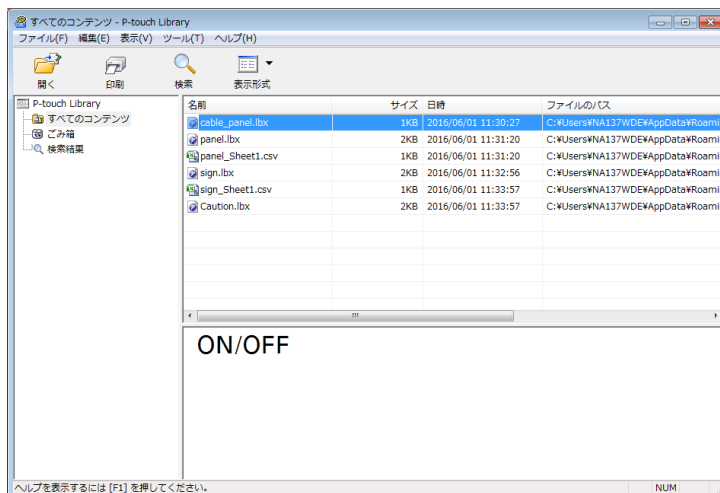


テンプレートデータに関連したプログラムが起動して、テンプレートデータを編集できます。

ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）

テンプレートデータを印刷する

印刷するテンプレートデータを選択し、[印刷] をクリックします。

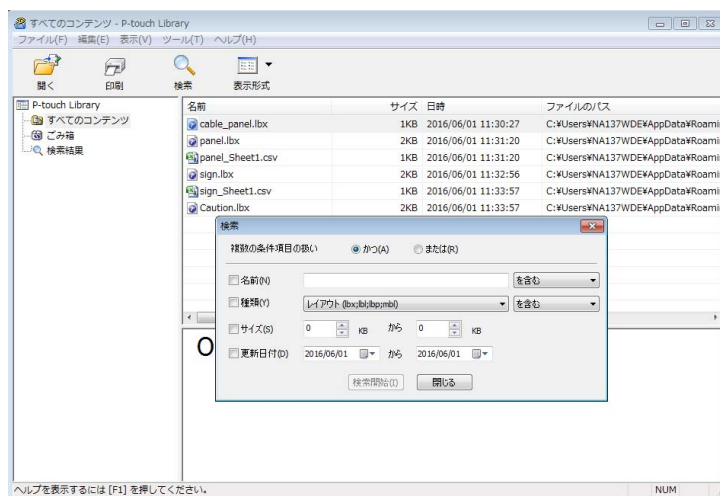


接続しているラベルプリンターから印刷されます。

テンプレートデータを検索する

P-touch Library に登録されたテンプレートデータを検索できます。

- 1 [検索] をクリックします。
[検索] ダイアログボックスが表示されます。

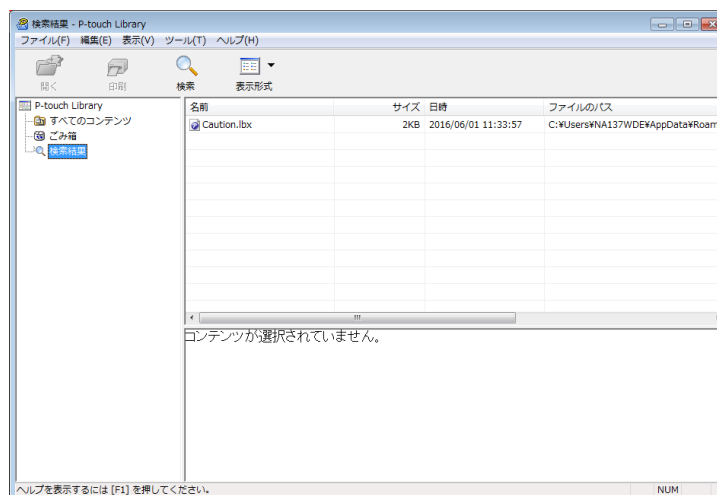


ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windowsのみ）

- 2 検索条件を指定します。
次の検索条件をご利用いただけます。

設定	詳細
複数の条件項目の扱い	複数の条件を指定するときにプログラムが検索する方法を決定します。[かつ]を選択すると、プログラムはすべての条件を満たすファイルを検索します。[または]を選択すると、プログラムはいずれかの条件を満たすファイルを検索します。
名前	ファイル名を指定することで、テンプレートデータを検索できます。
種類	ファイルの種類を指定することで、テンプレートデータを検索できます。
サイズ	ファイルのサイズを指定することで、テンプレートデータを検索できます。
更新日付	ファイルの日付を指定することで、テンプレートデータを検索できます。

- 3 [検索開始] をクリックします。
検索が開始します。
- 4 [検索] ダイアログボックスを閉じます。
検索結果は、フォルダービューの [検索結果] をクリックすることで確認できます。



メモ

テンプレートデータを [すべてのコンテンツ] フォルダーまたはフォルダーリストにドラッグアンドドロップすることで、P-touch Library に登録できます。次の手順を使用して、テンプレートデータを P-touch Library に自動的に登録するよう P-touch Editor を設定することもできます。

- 1 P-touch Editor のメニューから、[ツール] - [オプション] を選択します。
- 2 [オプション] ダイアログボックスで、[全般] タブの [登録条件の設定] をクリックします。
- 3 P-touch Editor で作成したテンプレートデータを登録するタイミングを選択し、[OK] をクリックします。

ラベル遠隔転送ソフトウェア「P-touch Transfer Express」でテンプレートデータを転送する (Windows のみ)

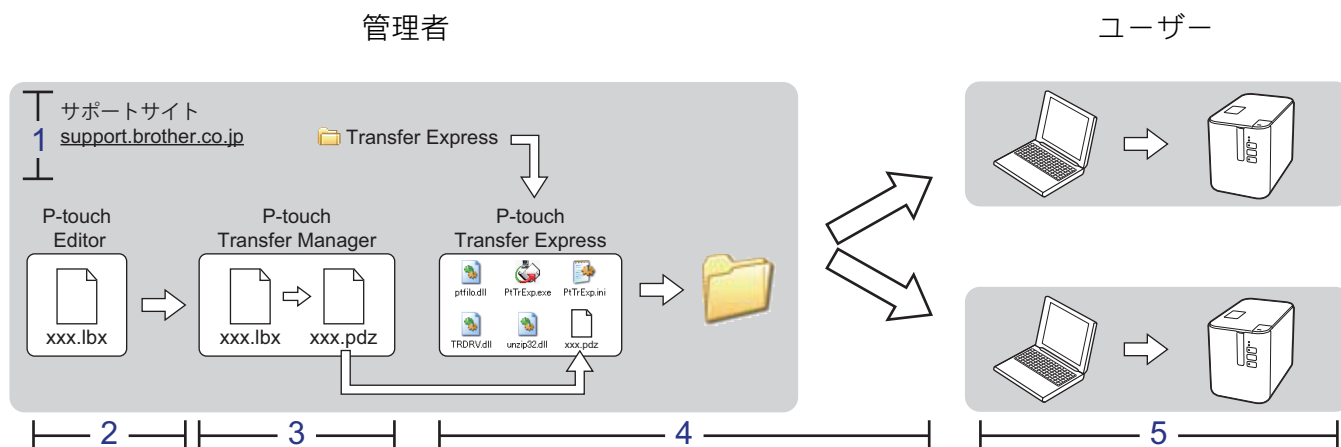
P-touch Transfer Express を使用すると、テンプレートデータをラベルプリンターに登録できます。管理者は、作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Express と一緒にユーザーに配布します。配布されたユーザーは、P-touch Transfer Express を使用して、テンプレートデータをラベルプリンターに直接登録できます。

サポートサイト (support.brother.co.jp) から、最新の P-touch Transfer Express をダウンロードすることができます。

製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

❗ 重要

- 新しいテンプレートデータを転送する場合は必ず、現在使用されていない (P-touch Transfer Manager の) [キー割り当て] 番号を指定してください。指定した [キー割り当て] 番号が既に使用されている場合、既存のテンプレートデータは新しいテンプレートデータで上書きされます。
- この機能には、USB 接続が必要です。



- 1 P-touch Transfer Express を準備する (120 ページ)
- 2 テンプレートデータを P-Touch Transfer Manager に転送する (121 ページ)
- 3 テンプレートデータを Transfer Package ファイル (.pdz) として保存する (122 ページ)
- 4 Transfer Package ファイル (.pdz) と P-touch Transfer Express をユーザーに配布する (124 ページ)
- 5 Transfer Package ファイル (.pdz) をラベルプリンターに転送する (125 ページ)

P-touch Transfer Express を準備する

テンプレートデータをラベルプリンターに登録するには、P-touch Transfer Express を準備する必要があります。

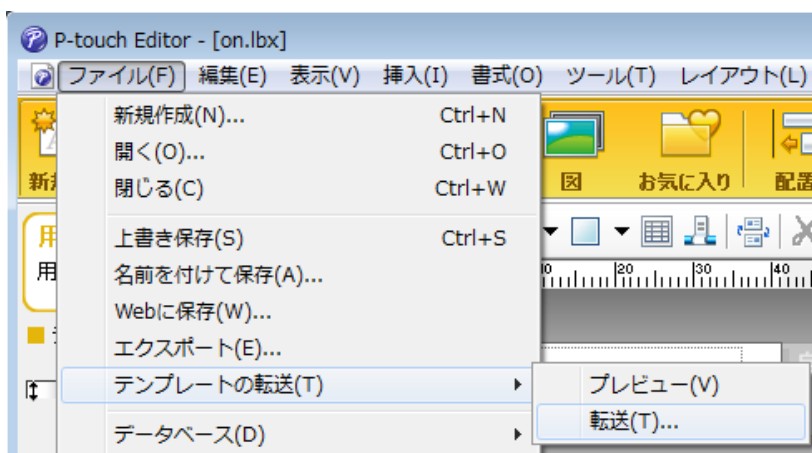
❗ 重要

P-touch Transfer Express を使用するには、プリンタードライバがインストールされていることが必要です。

- 1 サポートサイト (support.brother.co.jp) から、最新の P-touch Transfer Express をダウンロードすることができます。
製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。
- 2 Transfer Express をパソコンの任意の場所にダウンロードします。
- 3 ダウンロードしたファイル（.zip）を解凍します。

テンプレートデータを P-Touch Transfer Manager に転送する

- 1 P-touch Editor でテンプレートデータを作成し、[ファイル] - [名前を付けて保存] メニューを選択してテンプレートファイル (*.lbx) として保存します。
- 2 [ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。



テンプレートデータは P-touch Transfer Manager に転送されます。
P-touch Transfer Manager が自動的に起動します。

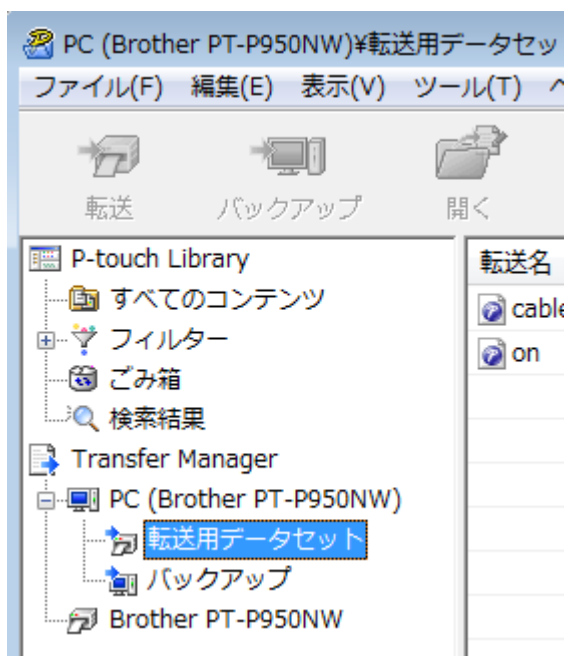
メモ

- **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**
スタートボタン から [すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager ウィンドウにドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。
- **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**
[アプリ] 画面の [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager ウィンドウにドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。
- **Windows 10 の場合：**
スタートボタンをクリックし、[すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックして P-touch Transfer Manager を起動し、.lbx ファイルを P-touch Transfer Manager ウィンドウにドラッグすることでも、テンプレートデータを P-touch Transfer Manager に転送できます。

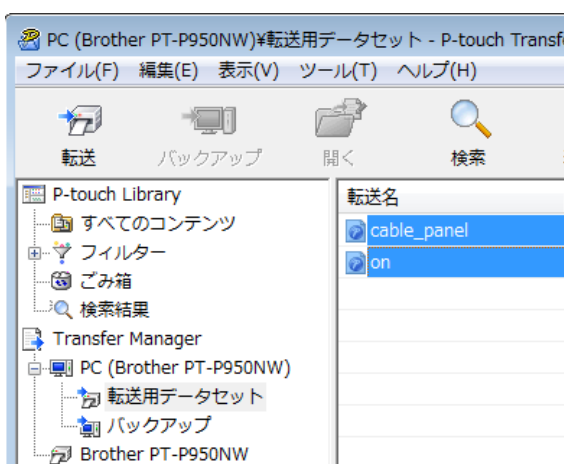
テンプレートデータを Transfer Package ファイル（.pdz）として保存する

P-touch Transfer Express が使用できる形式でファイルを作成するため、テンプレートデータを Transfer Package ファイル（.pdz）として保存します。

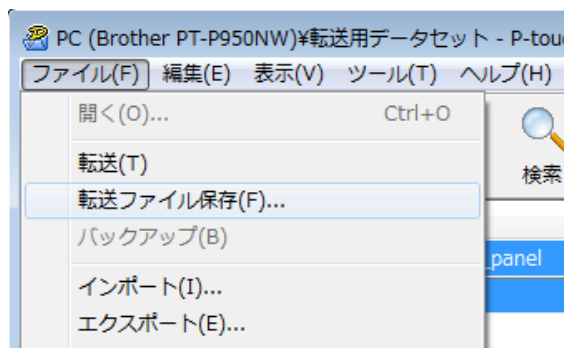
- 1 フォルダービューで、[転送用データセット] を選択します。



- 2 配布するテンプレートデータを選択します。



③ [ファイル] - [転送ファイル保存] をクリックします。



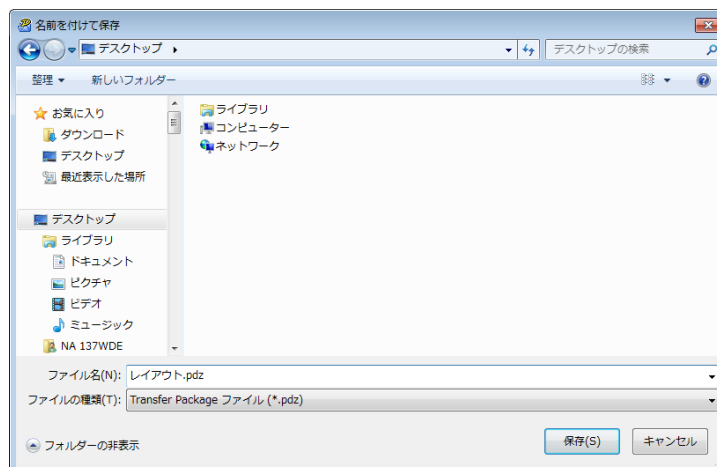
❗ 重要

ラベルプリンターがパソコンと接続されていない、またはオフラインの場合に [転送ファイル保存] は表示されます。

📝 メモ

- [転送用データセット] または作成したフォルダーを選択してから [転送ファイル保存] をクリックすると、フォルダー内のすべてのテンプレートデータが Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。
- 複数のテンプレートデータを、1 つの Transfer Package ファイル (.pdz) にまとめることができます。

④ 名前を入力し、[保存] をクリックします。



テンプレートデータは Transfer Package ファイル (.pdz) として保存されます。

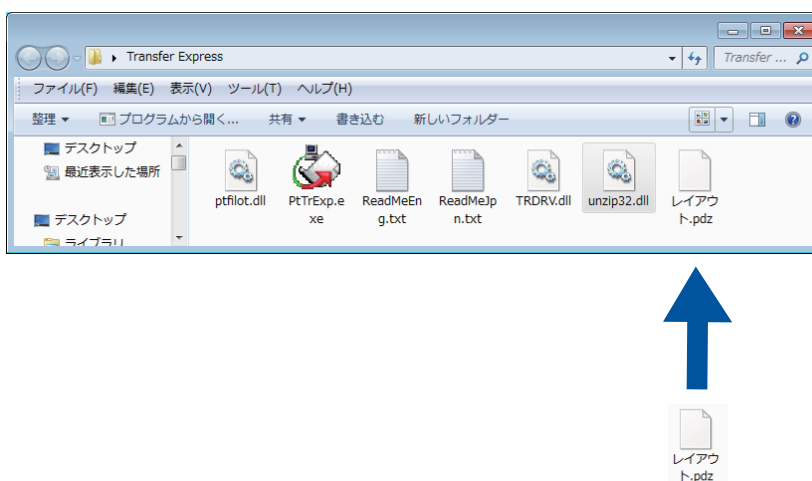
Transfer Package ファイル（.pdz）と P-touch Transfer Express をユーザーに配布する



メモ

ユーザーが既に Transfer Express フォルダをパソコンにコピーしている場合、管理者は Transfer Express フォルダをユーザーに送信する必要はありません。この場合、配布された Transfer Package ファイルをダウンロードしたフォルダに移動してから、[PtTrExp.exe] をダブルクリックできます。

- 1 Transfer Package ファイル（.pdz）をダウンロードしたフォルダに移動します。



- 2 ダウンロードしたフォルダ内のすべてのファイルをユーザーに配布します。

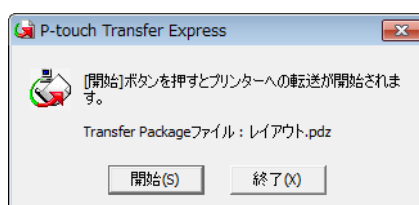
Transfer Package ファイル（.pdz）をラベルプリンターに転送する

管理者から受け取った P-touch Transfer Express アプリケーションを使用して、Transfer Package ファイル（.pdz）をラベルプリンターに転送できます。

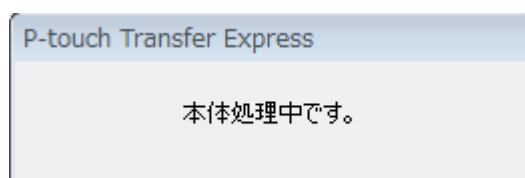
❗ 重要

テンプレートデータの転送中は電源を切らないでください。

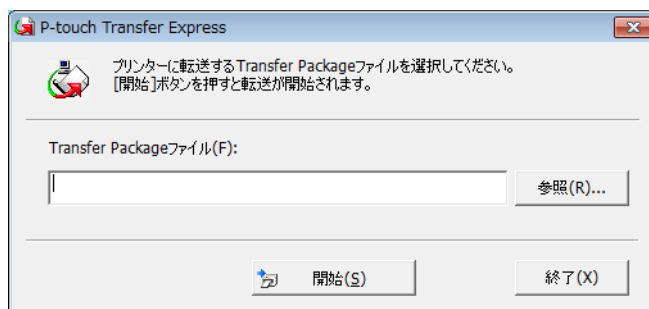
- 1 ラベルプリンターの電源を入れます。
- 2 USB ケーブルを使用して、ラベルプリンターをパソコンに接続します。
- 3 [Transfer Express] フォルダーの [PtTrExp.exe] をダブルクリックしてから、管理者から受け取った [PtTrExp.exe] をダブルクリックします。
- 4 1. [PtTrExp.exe] を含んだフォルダーに 1 つの Transfer Package ファイル（.pdz）がある場合、[開始] をクリックします。



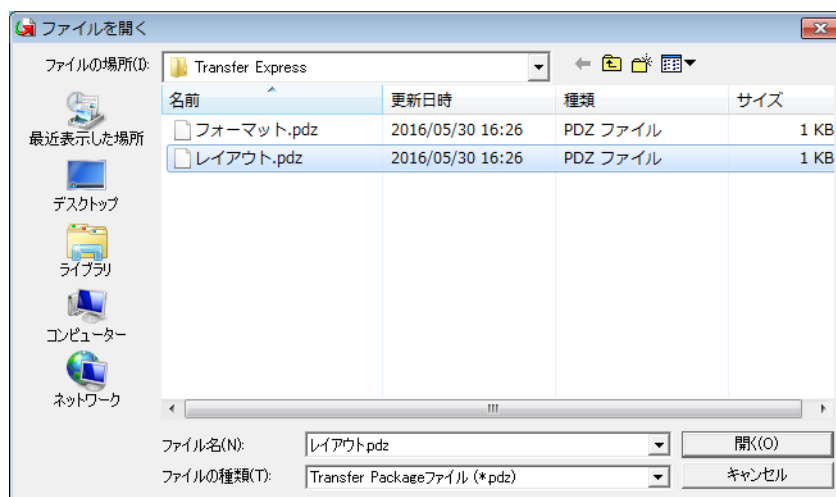
Transfer Package ファイルの転送が開始します。



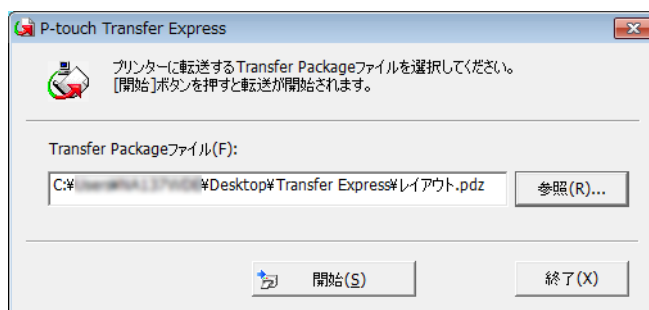
2. [PtTrExp.exe] を含んだフォルダーに複数の Transfer Package ファイル (.pdz) がある、または全くない場合、[参照] をクリックします。



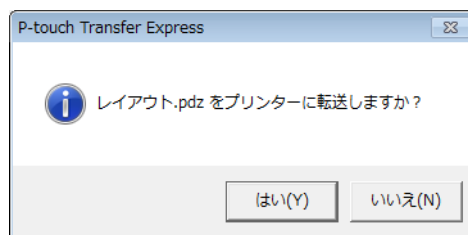
転送する Transfer Package ファイルを選択し、[開く] をクリックします。



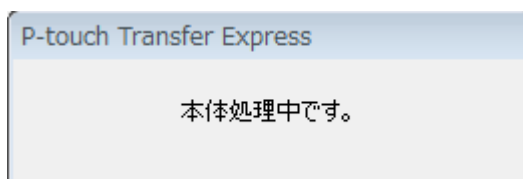
[開始] をクリックします。



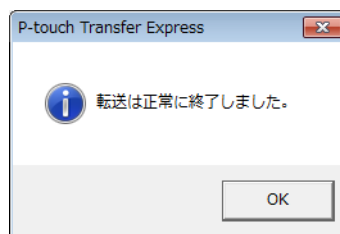
[はい] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が開始します。



5 [OK] をクリックします。



Transfer Package ファイルの転送が完了します。

P-touch Update Software を使用して、ソフトウェアを最新の使用可能なバージョンにアップグレードできます。



メモ

- ソフトウェアと本書の内容が異なる場合があります。
- データの転送中またはファームウェアの更新中は、電源を切らないでください。

P-touch Editor を更新する

❗ 重要

P-touch Editor を更新するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。

Windows の場合

- 1 P-touch Update Software を起動します。

■ **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**

[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。



メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

■ **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**

[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップで [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

■ **Windows 10 の場合：**

スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



② [PC 系アップデート] アイコンをクリックします。



③ [プリンター] と [言語] を選択し、P-touch Editor の隣にあるチェックボックスを選択し、[インストール] をクリックします。



④ インストールが完了したことを示すメッセージが表示されます。

Mac の場合

- 1 デスクトップ上の **[P-touch Update Software]** アイコンをダブルクリックします。



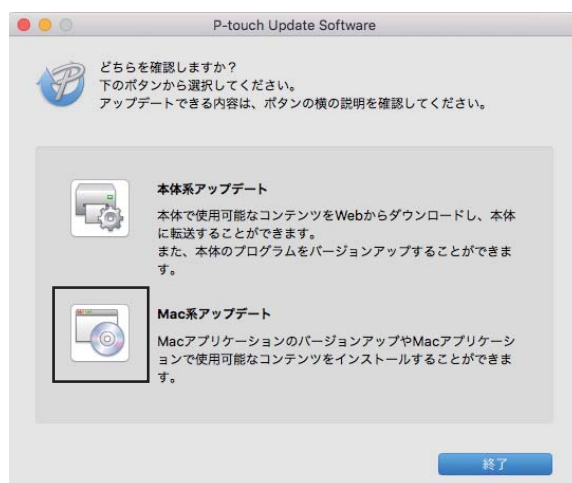
メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

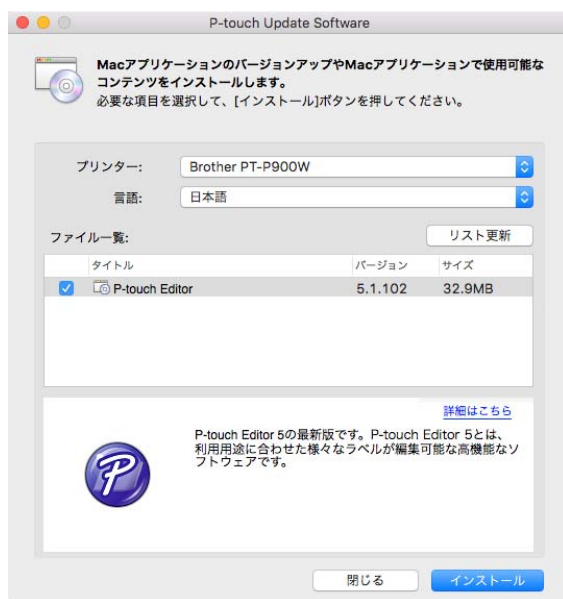
[Macintosh HD] - **[Applications]** - **[P-touch Update Software]** をダブルクリックし、**[P-touch Update Software]** アイコンをダブルクリックします。



- 2 **[PC 系アップデート]** アイコンをクリックします。



- ③ [プリンター] と [言語] を選択し、P-touch Editor の隣にあるチェックボックスを選択し、[インストール] をクリックします。



- ④ インストールが完了したことを示すメッセージが表示されます。

ファームウェアを更新する

❗ 重要

- ・ファームウェアを更新するには、プリンタードライバーがインストールされている必要があります。
- ・データの転送中またはファームウェアの更新中は、電源を切らないでください。
- ・他のアプリケーションを実行している場合、アプリケーションを終了してください。

Windows の場合

① ラベルプリンターの電源を入れ、USB ケーブルを接続します。

② P-touch Update Software を起動します。

■ Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

[P-touch Update Software] アイコンをダブルクリックします。

メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch Update Software] を選択します。

■ Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

[アプリ] 画面で [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップで [P-touch Update Software] をダブルクリックします。

■ Windows 10 の場合：

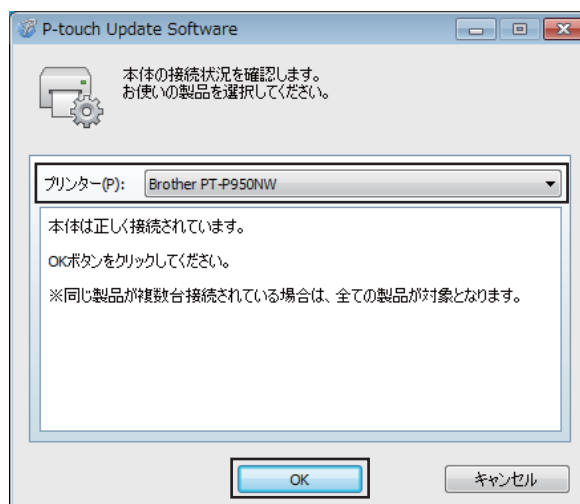
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] - [P-touch Update Software] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Update Software] をダブルクリックします。



- 3 [本体系アップデート] アイコンをクリックします。



- 4 [プリンター] を選択し、[本体は正しく接続されています。] が表示されていることを確認し、[OK] をクリックします。



- 5 [言語] を選択し、更新するファームウェアの隣にあるチェックボックスを選択し、[転送] をクリックします。

！ 重要

データの転送中は、ラベルプリンターの電源を切ったり、USB ケーブルを取り外したりしないでください。



- 6 更新する内容を確認してから [開始] をクリックします。ファームウェアの更新が開始します。

！ 重要

更新中はラベルプリンターの電源を切らないでください。

Mac の場合

- 1 ラベルプリンターの電源を入れ、USB ケーブルを接続します。
- 2 デスクトップ上の **[P-touch Update Software]** アイコンをダブルクリックします。



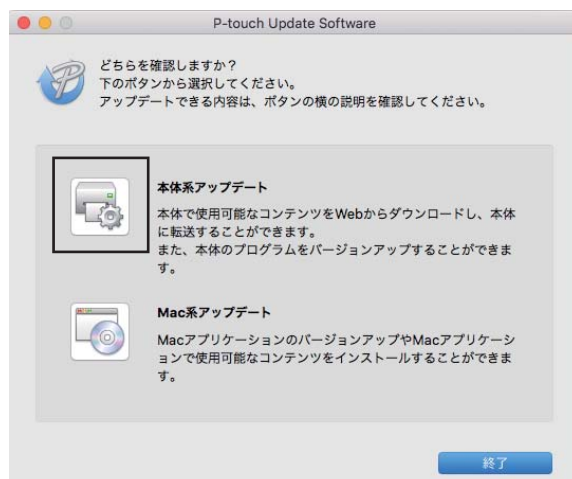
メモ

次の方法でも、P-touch Update Software を起動できます。

[Macintosh HD] - [Applications] - [P-touch Update Software] をダブルクリックし、**[P-touch Update Software]** アイコンをダブルクリックします。



- 3 **[本体系アップデート]** アイコンをクリックします。



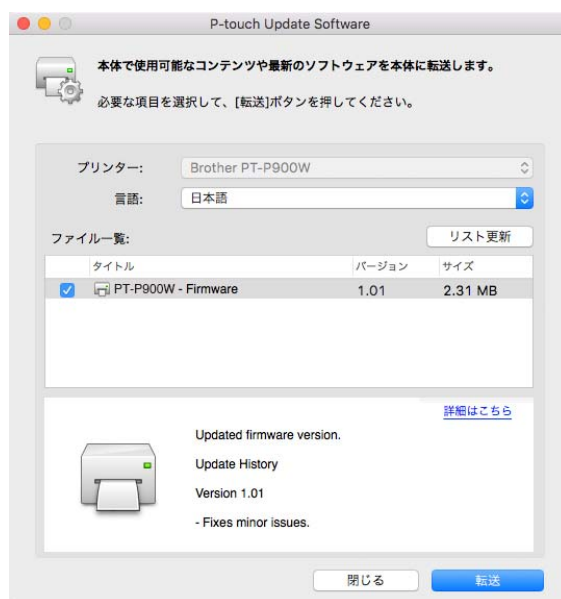
- 4 [プリンター] を選択し、[本体は正しく接続されています。] が表示されていることを確認したら、[OK] をクリックします。



- 5 [言語] を選択し、更新するファームウェアの隣にあるチェックボックスを選択したら、[転送] をクリックします。

重要

データの転送中は、ラベルプリンターの電源を切ったり、USB ケーブルを取り外したりしないでください。



- 6 更新する内容を確認してから、[開始] をクリックします。ファームウェアの更新が始まります。



メモ

更新中はラベルプリンターの電源を切らないでください。



ネットワーク

はじめに	138
ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する	139
Web Based Management (ウェブブラウザ)	142

12 はじめに

ネットワーク機能

ご使用のラベルプリンターは、内部ネットワーク印刷サーバーを使用して、IEEE 802.11b/g/n 無線ネットワークまたは Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX Auto Negotiation 有線ネットワーク（PT-P950NW のみ）で共有できます。印刷サーバーは、実行中の OS に応じて、TCP/IP に対応するネットワーク上の様々な機能および接続方式をサポートします。

Windows を使用して、ラベルプリンターのネットワーク設定 (IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ) を変更する

BRAdmin Light ユーティリティを使用する

BRAdmin Light ユーティリティは、弊社のネットワークに接続可能なデバイスの初期設定用に設計されています。また、TCP/IP 環境で弊社製品を検索してステータスを表示し、IP アドレスなどの基本ネットワーク設定を構成することもできます。

BRAdmin Light をインストールする

- ① サポートサイト (support.brother.co.jp) から、ソフトウェアのインストーラーや文書をダウンロードしてください。
- ② ダウンロードしたファイルをダブルクリックし、画面の手順に従ってインストールを実行します。インストールする項目を選択するダイアログボックスで、BRAdmin Light を選択します。



メモ

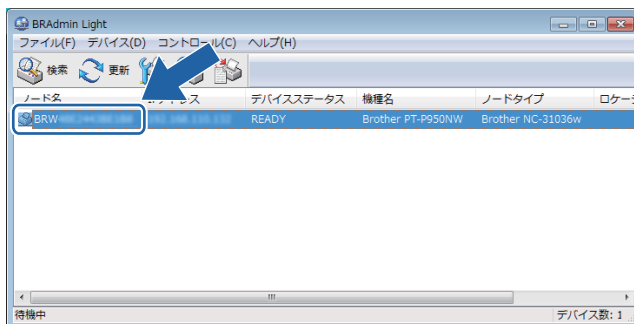
- より高度な 製品 管理を行う場合は、最新バージョンの Brother BRAdmin Professional ユーティリティを使用してください。このユーティリティはサポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードすることができます。
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスソフトウェアを使用している場合、それらを一時無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、再び有効にします。
- ノード名が現在の BRAdmin Light ウィンドウに表示されます。ラベルプリンターのプリントサーバーのデフォルトのノード名は「BRWxxxxxxxxxxxx」または「BRNxxxxxxxxxxxx」です。(「xxxxxxxxxxxx」は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。)

BRAdmin Light を使用して IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイを設定する

- ① BRAdmin Light ユーティリティを起動します。
 - Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合 :
[スタート] - [すべてのプログラム] - [Brother] - [BRAdmin Light] - [BRAdmin Light] をクリックします。
 - Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合 :
[アプリ] 画面の [BRAdmin Light] アイコンをクリックします。
 - Windows 10 の場合 :
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother] 下の [BRAdmin Light] をクリックします。
- ② BRAdmin Light が自動的に新しいデバイスを検索します。

ラベルプリンターのネットワーク設定を変更する

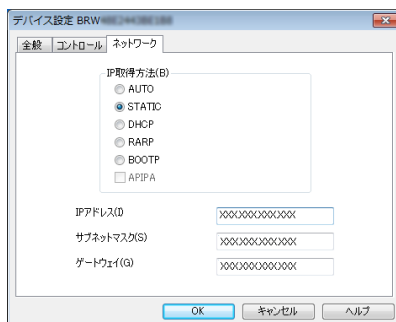
- 3 未構成のデバイスをダブルクリックします。



メモ

DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用しない場合、デバイスは BRAdmin Light ユーティリティ画面で [未設定] として表示されます。

- 4 [IP 取得方法] の [STATIC] を選択します。必要に応じて、印刷サーバーの [IP アドレス]、[サブネットマスク]、および [ゲートウェイ] を入力します。



- 5 [OK] をクリックします。
- 6 IP アドレスが正しく設定されると、デバイスリストに弊社の印刷サーバーが表示されます。

その他の管理ユーティリティー

本機は、BRAdmin Light ユーティリティー以外に次の管理ユーティリティーで使用できます。これらのユーティリティーを使用して、ネットワーク設定を変更できます。

Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用する

標準のウェブブラウザを使用すると、HTTP (ハイパーテキストトランスファープロトコル) を使用して印刷サーバーの設定を変更できます (「Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用してラベルプリンター設定を構成する」(143 ページ) をご覧ください)。

BRAdmin Professional ユーティリティーを使用する (Windows のみ)

BRAdmin Professional は、ネットワークに接続された弊社ラベルプリンターのより高度な管理用ユーティリティーです。このユーティリティーはネットワーク上で弊社のラベルプリンターを検索し、見やすいエクスプローラー型ウィンドウでデバイスのステータスを表示できます。このウィンドウでは、色を変えて各デバイスのステータスを表示します。ローカルエリアネットワーク (LAN) の Windows からデバイスファームウェアを更新できるほか、ネットワークと本体設定も構成できます。BRAdmin Professional はネットワーク上で弊社のラベルプリンターの動作を記録し、ログデータをエクスポートできます。

詳細な情報やダウンロードに関しては、サポートサイト (support.brother.co.jp) を参照してください。



メモ

- 最新バージョンの BRAdmin Professional ユーティリティーを使用してください。このユーティリティーはサポートサイト (support.brother.co.jp) からダウンロードすることができます。
- ファイアウォール、アンチスパイウェア、またはアンチウィルスソフトウェアを使用している場合、それらを一時的に無効にします。印刷が可能であることを確認した後で、再び有効にします。
- ノード名が現在の BRAdmin Professional ウィンドウに表示されます。デフォルトのノード名は、「BRWxxxxxxxxxxxx」または「BRNxxxxxxxxxxxx」です。(「xxxxxxxxxxxx」は、本機の MAC アドレス / イーサネットアドレスに基づいています。)

概要

標準のウェブブラウザを使用して、HTTP でネットワーク上のラベルプリンターを管理できます。Web Based Management を使用すると、次の操作が可能です。

- 本機のステータス情報の表示
- TCP/IP 情報などのネットワーク設定の変更
- ラベルプリンターと印刷サーバーのソフトウェアバージョン情報の表示
- ネットワークと本機の設定詳細の変更



メモ

Microsoft® Internet Explorer® 7.0 以降または Firefox® 25.0.1 以降 (Windows の場合)、Safari® 5.0.6 以降または Firefox® 26.0 以降 (Mac の場合) を推奨します。

いずれのブラウザを使用している場合でも、JavaScript およびクッキーが常に有効であることを確認してください。

Web Based Management を使用するには、ネットワークで TCP/IP が使用され、本機とパソコンが有効な IP アドレスを持っている必要があります。

Web Based Management (ウェブブラウザ) を使用してラベルプリンター設定を構成する

標準のウェブブラウザを使用すると、HTTP (ハイパーテキストトランスファープロトコル) を使用して印刷サーバーの設定を変更できます。

❗ 重要

デフォルトのパスワードは、本製品の背面に記載されています。「Pwd」の後に続く番号がパスワードとなります。

不正なアクセスから製品を守るため、デフォルトのパスワードを直ちに変更されることを推奨します。ステータスランプが点滅するまで **フィード & カット** ボタンを長押しして、デフォルトのパスワードを印刷することも可能です。「デフォルトのパスワード」の欄を確認してください。

- 1 お使いのブラウザのアドレスバーに、「`http://printer_ip_address/`」と入力します。(「`printer_ip_address`」はお使いの製品の IP アドレス、またはプリントサーバー名です。) 例えば、お使いのプリンターの IP アドレスが「`192.168.1.2`」の場合は、「`http://192.168.1.2/`」と入力してください。
- 2 必要であれば、**ログイン** フィールドにパスワードを入力します。
- 3  をクリックします。
- 4 **ネットワーク** タブをクリックします。
- 5 必要に応じて、製品の設定を変更します。

メモ

パソコンでホストファイルを編集した場合、またはドメインネームシステムを使用している場合は、プリントサーバーの DNS 名を入力することも可能です。プリントサーバーは TCP/IP および NetBIOS に対応していますので、プリントサーバーの NetBIOS 名を入力することもできます。NetBIOS 名を確認するには、**ネットワーク** タブをクリックし、**ネットワークの状態** を選択します。割り当てられている NetBIOS 名は、ノード名の最初の 15 文字で、「`BRWxxxxxxxxxxxx`」(「`xxxxxxxxxxxxxxxx`」はイーサネットアドレス) と表示されます。

メモ

パスワードを設定する

Web Based Management への不正アクセスを防止するために、ログインパスワードを設定することを推奨します。

- 1 **[ネットワーク管理者]** をクリックします。
- 2 使用するパスワードを入力します (32 文字まで)。

- ③ [新しいパスワードの確認] にパスワードを再入力します。
- ④ [OK] をクリックします。
次回 Web Based Management にアクセスするときは、[ログイン] にパスワードを入力し、 をクリックします。
設定後、 をクリックしてログアウトします。

ログインパスワードを設定していない場合、本機のウェブページの [パスワードを設定してください] をクリックすることで、パスワードを設定することもできます。



付録

本機をリセットする	146
お手入れ	147
困ったときは	150
仕様	164
P-touch Transfer Manager 使用時の注意事項	168
ネットワーク用語および情報	170
P-touch Template 機能設定用バーコード一覧	180
Li-ion 充電池（別売品： PA-BT-4000LI ）／充電池ホルダー（別売品： PA-BB-002 ）を使用する	184
操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用する（別売品： PA-TDU-003 ）（ PT-P950NW のみ）	188
専用のバーコードリーダー（別売品： PA-BR-001 ）（ PT-P950NW のみ）を使用する	221

15 本機をリセットする

本機の動作がうまくいかない場合やすべてのラベルファイルを削除したい場合は、初期設定に戻すことができます。

本機のボタンですべての設定を工場出荷時に戻す

すべてのテキスト、フォーマット設定、オプション設定、保存されたラベルファイルは本機をリセットすると削除されます（言語設定や単位設定も含まれます）。

本機をリセットするには次の手順で行います。

- 1 本機の電源を切ります。
- 2 （電源）ボタンとを同時に 3 秒以上押します。（ステータス）表示ランプが緑色に、（電源）表示ランプがオレンジ色に点滅します。
- 3 （電源）ボタンを押したまま、ボタンを押す回数により次のようにリセットされる内容が異なります：
 - 2 回押すと、通信設定を工場出荷時に戻します。
 - 4 回押すと、通信設定を工場出荷時に戻します。ただし、[APIPA] は [OFF] になります。
 - 6 回押すと、通信設定と本体設定を工場出荷時に戻します。パソコンから転送されたデータも削除されます。
- 4 （電源）ボタンを離します。（ステータス）表示ランプが緑色に 3 回、（電源）表示ランプがオレンジ色に 3 回点滅します。

プリンター設定ツールでデータをリセットする

パソコンからプリンター設定ツールを使用して次の操作を本機に行えます：

- テンプレートデータやデータベースを削除する
- 印刷履歴を削除する
- Wi-Fi 設定をリセットする
- 本体設定を工場出荷時にリセットする

詳しくは、「ラベルプリンターの設定を変更する」（26 ページ）をご覧ください。

16 お手入れ

性能を維持するために、定期的に本機のお手入れを行ってください。



メモ

本機をお手入れするときは、必ず AC アダプターを抜いてください。

本機外観のお手入れ

本機のほこりや汚れは乾いた柔らかい布でふき取ってください。

汚れがひどいときは、水でぬらして固く絞った布でふき取ってください。



メモ

シンナー、ベンジン、アルコールなどの有機溶剤は使用しないでください。

本機の表面が変形したり、損傷を受ける可能性があります。

印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ

印字ヘッドやヘッドローラーが汚れていると、ラベルに筋が入ったり印字品質が低下することがあります。乾いた綿棒や別売品のヘッドクリーニングテープ (TZe-CL6) を使用し、印字ヘッドのクリーニングを行ってください。



警告

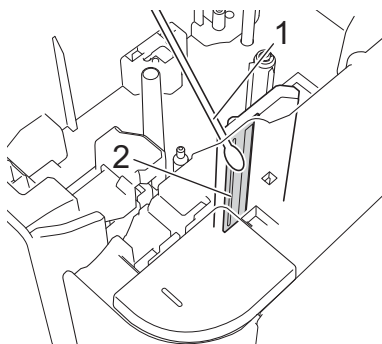
印字ヘッドには直接手を触れないでください。印字ヘッドは熱くなる可能性があります。



メモ

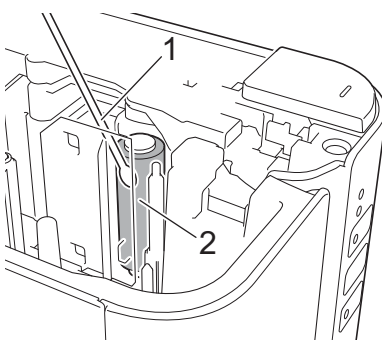
使用方法は、ヘッドクリーニングテープに付属の説明書をご覧ください。

印字ヘッド



- 1 綿棒
- 2 印字ヘッド

ヘッドローラー



- 1 綿棒
- 2 ヘッドローラー

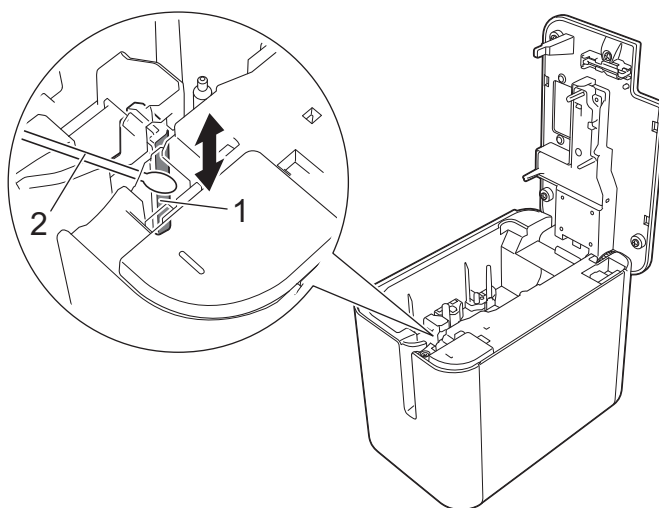
テープカッターのお手入れ

1年に1度程度、乾いた綿棒でカッター刃を拭いてください。

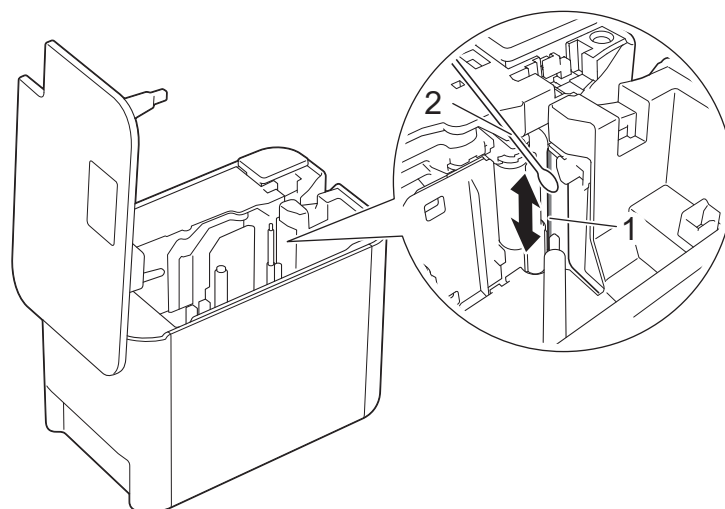
テープをカットし続けると、テープの粘着剤がカッター刃に付着して、切れ味が悪くなったり、テープづまりを起こしたりする可能性があります。

！ 警告

カッター刃には手を触れないでください。



- 1 カッター刃
- 2 綿棒



- 1 カッター刃
- 2 綿棒

17 困ったときは

概要

17

本章では、ラベルプリンターの使用時によくある問題を解決する方法について説明します。ラベルプリンターに問題が起きた場合は、初めに次の内容について、正しく対応しているかどうかを確認してください。

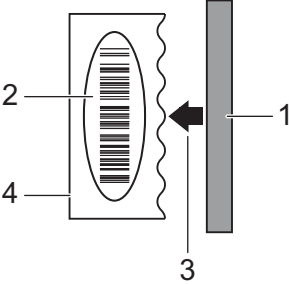
- ラベルプリンターに、AC アダプターまたは Li-ion 充電機による電源供給をしていますか？（「電源を接続する」(4 ページ) または「Li-ion 充電機を装着する」(184 ページ) をご覧ください。）
- 正しいプリンタードライバーを選択してインストールしていますか？（「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」(8 ページ) をご覧ください。）
- ラベルプリンターをパソコンまたはモバイル端末に接続していますか？（「本機とパソコンを接続する」(9 ページ) または「本機とモバイル端末を接続する」(17 ページ) をご覧ください。）
- ラベルプリンターのカバーが閉まっていますか？
- テープカセットが正しく装着されていますか？（「テープカセットを装着する」(5 ページ) をご覧ください。）

まだ問題が解決しない場合、本章の困ったときの対処方法をお読みください。この章を読んでも問題が解決しない場合は、サポートサイト (support.brother.co.jp) を参照してください。

印刷の問題

問題	原因または解決方法
本機で印刷できない。 書き込みエラーが表示される。	インターフェースケーブルが正しく接続されているか、テープカセットが正しく装着されているか、カバーが正しく閉められているかをご確認ください。
印刷を中止したい。	本機の電源が入っていることを確認してから、前面にある ⏻ (電源) ボタンを一度、軽く押します。
ラベルが印刷できない。	■ ラベルに文字が入力されているか、または十分なテープ残量があるテープカセットが正しく装着されているかを確認してください。 ■ テープが曲がっていたら、その部分を切り取ってください。テープ排出口にテープ先端を向けて正しく装着してください。 ■ テープが詰まっていたら、テープカセットを取り出し、詰まっている部分を取り除いてください。テープの先端がテープガイドの下を通っていることを確認してから、装着し直してください。
ラベルが正しく印刷できない。	■ テープカセットを入れ直してください。テープカセットが正しく装着されるまで平らな状態で押し下げます。 ■ 印字ヘッドが汚れていたら、乾いた綿棒（「印字ヘッドとヘッドローラーのお手入れ」(147 ページ)）またはヘッドクリーニングテープ（別売品：TZe-CL6）で掃除してください。
インクリボンがテープと一緒にテープ出口から出てきた。	インクリボンが切れている場合は、テープカセットを交換してください。そうでない場合は、テープを切らずにテープカセットを取り外し、図のように巻き取りスプールを回して、たるんだインクリボン巻き取ってください。 1 巻き取りスプール
本機が印刷中に停止する。	■ テープの最後を示す縞模様のテープが見えた場合は、テープカセットを交換してください。 ■ Li-ion 充電機をご使用の場合は、AC アダプターを接続して直接の電源供給にするか、Li-ion 充電機を充電してください。
ラベルが自動でカットされない。	カット設定を確認してください。詳しくは、「カット設定」(14 ページ) または 19 ページをご覧ください。 あるいは、✂(フィード & カット) ボタンを押してテープを送ってからカットしてください。
「困ったときは」の対処を行ってもテープ詰まりのエラーが解除されない。	ブラザーコールセンター (0120-590-383) までお問い合わせください。

問題	原因または解決方法
より高い解像度で印刷したい。	高解像度印刷は、パソコンからの印刷で、AC アダプターを使用し、黒色インクの TZe ラミネートテープ（ただし TZe-FX**1 は除く）または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで高解像度モードを選択します。
印刷結果がかすれる。	文字サイズが小さすぎると、印字がかすれることがあります。適切なサイズに調整して再度印刷をお試ください。プリントヘッドの清掃も行うことで症状が改善する場合があります。 バーコードを含むラベルを印刷するときは、プリンタードライバーで品質優先モードに設定して印刷してください。バーコードを含まないラベルを印刷するときは、プリンタードライバーで高解像度モードに設定して印刷してください。ただし、印刷速度は遅くなります。 品質優先モードは、パソコンからの印刷で、黒色インクの TZe ラミネートテープ（ただし TZe-FX**1 は除く）または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ラベルを印刷するときに、プリンタードライバーで品質優先モードを選択します。 P-touch Editor の印刷画面でも選択できます。
高解像度、高速印刷を設定しても、エラーが表示され、印刷できない。	高解像度、高速印刷は、AC アダプターで接続され、黒色インクの TZe ラミネートテープ（ただし TZe-FX**1 は除く）または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。 印刷ジョブをキャンセルして AC アダプターを接続するか、高解像度、高速印刷をキャンセルしてエラーを解除してください。

問題	原因または解決方法
印刷されたバーコードが読めない。	■ 図のように、バーコードが印字ヘッドに対して平行に印刷されるようにセットしてください：  1 印字ヘッド 2 バーコード 3 印刷方向 4 ラベル先端 ■ 他のバーコードリーダーをお試しください。 ■ バーコード印刷の際は、[印刷品質] オプションで [標準] を選択して、印刷してください。 ■ バーコードを含むラベルを印刷する際は、[印刷品質] オプションで [品質優先] を選択して、印刷してください。 Windows Vista / Windows Server 2008 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン - [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [プリンタ] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。 Windows 7 / Windows Server 2008 R2 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。 Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。[アプリ] 画面で [コントロールパネル] - [ハードウェアとサウンド] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。 Windows 10 [印刷品質] オプションを表示するには、プリンタープロパティを開きます。スタートボタン - [設定] - [デバイス] - [デバイスとプリンター] をクリックし、設定したいラベルプリンターを右クリックして [印刷設定] をクリックします。

問題	原因または解決方法
TZe-R*** カセットを使用したらジャムが発生した。	TZe-R*** カセットをラベルプリンターから取り出し、ジャムの部分を取り除いてください。 TZe-R*** の素材は軽くて柔らかいため、ラベル排出口の部品に触れてジャムを起こすことがあります。 TZe-R*** を使用するときには、リボンがラベル排出口からまっすぐ排出されるようにラベルプリンターを設置してください。また、排出されたりリボンが作業台から垂れ下がらないようにしてください。風でリボンがなびいたりして、ラベル排出口の部品に触れるとジャムを起こすことがあります。 上記に注意して印刷し、印刷中はリボンに触らないでください。

ラベルの問題

問題	原因または解決方法
印刷中に、縞模様のテープが現れた。	テープがなくなっています。 新しいテープカセットを装着してください（「テープカセットを装着する」（5 ページ）をご覧ください）。
印刷されたラベルの先端に約 22 mm の余白がある。	印刷 1 枚目（連続印刷時は 1 枚目のみ）の前に約 22 mm 程度の余白が発生します。
ラベルが自動でカットされない。	■ P-touch Editor を使用して、オートカット、つなげて印刷または、特殊テープ設定を確認します。 印刷後、ラベルプリンターからテープカセットを取り外して、テープをハサミでカットします。 テープは、付属の取扱説明書をお読みにになり、注意事項を守ってご使用ください。
ラベルに白筋が入る。	印字ヘッドにほこりがついています。 詳しくは、「お手入れ」（147 ページ）をご覧くださいになり、印字ヘッドとヘッドローラーを掃除してください。
ラベルをカットした後、ラベルが排出されない。	カッター刃が汚れています。 詳しくは、「お手入れ」（147 ページ）をご覧くださいになり、カッター刃を掃除してください。

本機の問題

問題	原因または解決方法
⏻(電源) 表示ランプが点灯、点滅しない。	電源コードが正しく接続されているか、確認します。⏻(電源) 表示ランプがまだ点灯、点滅しない場合は、販売店またはブラザーコールセンターにお問い合わせください。
データ送信エラーがパソコンに表示される。	■ ポート選択が間違っていないですか。 Windows の場合、プリンターのプロパティ画面で「印刷するポート」リストから正しいポートを選択します。 USB 接続の場合は、「USB00n」を選択します。 ■ 別のユーザーがネットワーク経由で印刷していませんか？ 印刷しようとしたときに、他のユーザーが大量のデータを印刷していた場合、処理中の印刷が終了するまで、ラベルプリンターは新しい印刷ジョブを受け付けることができません。そのような場合は、他の印刷ジョブが完了してから、印刷ジョブを再度実行してください。 ■ パソコンとラベルプリンターの通信速度が異なっていませんか。詳しくは、「バーコードリーダーまたは秤の通信速度設定」(24 ページ) をご覧になり、通信速度を変更してください。
通信速度変更ウィザードやユーティリティ画面で通信速度が設定できない。	■ エラー 99：パソコンが本機を認識できません。 ・ 本機の電源が入っていないことを確認します。 ・ インターフェイスクーブルが正しく接続されていることを確認します。 ・ 通信変更ウィザードで選択した COM ポートと接続している COM ポートが合っていることを確認します。(パソコンによっては COM ポートを 1 つしか搭載していないのに、COM2 になっているものがあります。) ■ エラー 1、エラー 5：パソコンのシリアルポートが使用できない状態になっています。 ■ 他のシリアル接続機器が同じ COM ポートを使用している場合は、印刷ができません。シリアル接続機器のポートを変更するか、使用していない COM ポートに本機を接続してください。
本機を初期化したい、またはパソコンから転送したデータを消去したい。	本機を初期化するには、⏻ (電源) ボタンを長押しして、電源を切ります。⏻(電源) ボタンと✂(フィード & カット) ボタンを 3 秒以上、同時に押します。Continue holding down the ⏻(電源) ボタンを押し続けたまま、✂(フィード & カット) ボタンを 6 回押します。本機が初期化されました。パソコンから転送されたデータは全て削除され、本機は工場出荷時の設定に戻ります。
インストール時にエラーが発生した。	support.brother.co.jp をご覧ください。

ネットワーク設定の問題

問題	原因または解決方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	■ インストールダイアログボックスの設定を確認してください。 ■ 本機のインストール中に、セキュリティの許可を促す画面が表示されたら、許可をしてください。
セキュリティの設定（SSID / ネットワークキー）が正しくない。	正しいセキュリティ設定を再確認し、選択してください。 ■ 無線 LAN アクセスポイント / ルーターのセキュリティ設定は、初期値として製造メーカー名や機種名が使われている場合があります。 ■ セキュリティ設定の確認方法については、無線 LAN アクセスポイント / ルーターの取扱説明書をご覧ください。 ■ 上記の方法でセキュリティ情報がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイント / ルーターの製造メーカー、インターネットプロバイダー、またはネットワーク管理者にお問い合わせください。
本機とモバイル端末との距離が遠すぎる。	Wi-Fi の設定時は、モバイル端末から約 1m 以内に本機を移動してください。
本機とモバイル端末との間に障害物（壁や家具など）がある。	本機を障害物のない場所に移動してください。
本機や無線 LAN アクセスポイント / ルーターの近くに、Wi-Fi パソコン、Bluetooth 対応機器、電子レンジ、またはデジタルコードレス電話がある。	他の機器を本機から離してください。
MAC アドレスのフィルタリング機能を使用している。	本機の設定レポートを印刷することで、MAC アドレスを確認できます。 詳しくは、「本機の設定を確認する」（84 ページ）をご覧ください。
無線 LAN アクセスポイント / ルーターがステルスモードになっている。（SSID を表示させない設定にしている。）	■ インストール時、またはプリンター設定ツールを使用する場合、正しい SSID 名を入力してください。 ■ SSID 名をお使いの無線 LAN アクセスポイント / ルーターの取扱説明書で確認し、Wi-Fi を再設定してください。
本機がネットワークに正しく接続されていない。	📶 (Wi-Fi) 表示ランプを確認してください。 ● : ネットワークは正しく接続されています。 📶 (3 秒に 1 回点滅) : ネットワークは正しく接続されていません。Wi-Fi を再設定してください。
上記のすべての項目を確認し、試みたが、Wi-Fi 設定を完了できない。	本機の電源を切り、電源を入れ直してください。その後、Wi-Fi を再設定してください。

ネットワーク経由で印刷できない インストール完了後、ネットワーク上で本機が見つからない

問題	原因または解決方法
セキュリティソフトウェアを使用している。	「セキュリティソフトウェアの問題」(157 ページ) をご覧ください。
本機に使用可能な IP アドレスが割り当てられていない。	■ IP アドレスとサブネットマスクを確認してください。 ご使用のパソコンと本機の IP アドレスおよびサブネットマスクがすべて正しく、また同じネットワーク上にあることを確認してください。 IP アドレスとサブネットマスクを確認する方法の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ■ プリンター設定ツールを使用して、IP アドレス、サブネットマスク、およびその他のネットワーク設定を確認してください。 「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。
前回の印刷ジョブが失敗した。	■ 失敗した印刷ジョブがまだパソコンの印刷キューに残っている場合は、削除してください。 Windows 7 の場合の例： 、[デバイスとプリンター]、[プリンターと FAX] からラベルプリンターを選択します。ラベルプリンターのアイコンをダブルクリックし、[プリンター] メニューで [すべてのドキュメントの取り消し] を選択します。
上記のすべての項目を確認し、試みたが、印刷されない。	プリンタードライバーとソフトウェアをアンインストールし、再インストールしてください。

セキュリティソフトウェアの問題

問題	原因または解決方法
標準インストール時や BRAdmin Light のインストール時、または印刷時に、セキュリティ警告ダイアログボックスが表示されたが、アクセスを許可するよう選択していない。	セキュリティ警告ダイアログボックスが表示されたときにアクセスを許可するよう選択していない場合、セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能がアクセスをブロックしている可能性があります。セキュリティソフトウェアによっては、セキュリティ警告ダイアログボックスを表示しないでアクセスをブロックすることもあります。アクセスを許可するには、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
Brother ネットワーク機能に必要なポート番号が正しくない。	Brother ネットワーク機能は、次のポート番号を使用しています。 ■ BRAdmin Light → ポート番号 161 / プロトコル UDP ポートの開き方の詳細については、セキュリティソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

ネットワーク機器の操作を確認する

問題	原因または解決方法
本機と無線 LAN アクセスポイント / ルーターの電源が入っていない。	150 ページのすべての作業を実施したことを確認してください。
IP アドレスなどの本機のネットワーク設定がわからない。	プリンター設定ツールを確認してください（「ラベルプリンターの設定を変更する」（26 ページ）をご覧ください）。

17

バージョン情報

問題	原因または解決方法
本機のファームウェアバージョンを知りたい。	次の手順で確認できます。 1 本機の電源を入れます。 2 > (フィード & カット) ボタンを 10 秒以上、押します。 (24 mm 幅または 36 mm 幅のテープカセットを装着してください。)
ソフトウェアの最新バージョンを使用しているかを確認したい。	P-touch Update Software を使用すると、お使いのソフトウェアが最新かどうかを確認できます。 P-touch Update Software について詳しくは、「ラベルプリンターのソフトウェアの更新方法」（128 ページ）をご覧ください。

表示ランプについて

表示ランプは点灯や点滅により本機の状態を示します。下記の記号は、本章で使用する表示ランプの色とパターンの意味を示しています。

 (緑) /  (橙) /  (赤) 表示ランプが各色で点灯

 /  /  表示ランプが各色で点滅

 表示ランプが消灯または各色で点灯・点滅

 表示ランプが消灯

ステータス、電源、Wi-Fi 表示ランプ

 (ステータス)	 (電源)	 (Wi-Fi)	内容
			電源 OFF 処理中
			初期化処理中モード 操作パネル&液晶ディスプレイユニットのみに存在するモード (エラーモード含む) (PT-P950NW のみ)
			テープ送り&カット中モード
			印刷中モード
 (1.8 秒に 2 回)			テープカセット未装着エラー テープ終了
			カバーオープンモード
			印刷開始時のカバーオープンエラー
			印刷データ受信
			転送中
			クーリング中
			システムエラー 1 システムエラー 2 システムエラー 3 → 本機の電源を切り、電源を入れ直してください。
			ブートモード

ステータス、電源、Wi-Fi 表示ランプ

 (ステータス)	 (電源)	 (Wi-Fi)	内容
			リセット選択モード (モード起動時)
			リセット選択モード (回数選択：1/3/5 回)
			リセット選択モード (回数選択：2/4/6 回)
 (3 回)	 (3 回)		リセット選択モード (リセット確定)
	   (4 回繰り返し)		IP アドレス固定通知 (USB ID 固定通知)
			マスのストレージ機能
 (1 回)			マスのストレージ機能 (処理中)
 (1.8 秒に 2 回)			PT-P950NW のみ： USB ホスト非対応機器接続エラー USB ホスト HUB 接続エラー
 (1 秒に 1 回)			USB ホスト電源供給オーバーエラー (PT-P950NW のみ) → 対応の AC アダプターを接続してください。 マスのストレージエラー
 (2 秒に 1 回)			ローラーホルダーエラー → テープカセットを正しく入れ直してください。
 (1.8 秒に 2 回)			アダプターエラー
			オプション接続エラー (PT-P950NW のみ)
			アダプター抜き差しエラー
			交互に点滅：カッターエラー 同時に点滅： 高温エラー
 (1.8 秒に 2 回)			非対応テープ カセットエラー

ステータス、電源、Wi-Fi 表示ランプ

 (ステータス)	 (電源)	 (Wi-Fi)	内容
			テープカセット間違いエラー → 正しいテープカセットが装着されているか確認してください。
 (1.8 秒に 2 回)	 (1.8 秒に 2 回)		通信エラー メモリーフルエラー 行数 / 文字サイズエラー
 (1 秒に 1 回)	 (1 秒に 1 回)		交互に点滅： データベース検索エラー 同時に点滅： テンプレートデータなしエラー
 (1.8 秒に 2 回)	 (1.8 秒に 2 回)		高解像度 / 高速印刷エラー → 使用条件を確認してください。

バッテリー表示ランプ

 (バッテリー)	 (電源)	内容
		電池残量：満充電 充電完了
		充電中
 (4 秒に 1 回)		電池残量：半分
 (4 秒に 2 回)		電池残量：残りわずか
		電池エラー
		電池残量：なし

Wi-Fi 表示ランプ

 (ステータス)	 (電源)	 (Wi-Fi)	内容
			WPS アクセスポイントが見つかりません
			WPS アクセスポイント接続エラー プロトコルを確認してください。
		 (1.8 秒に 2 回)	セキュリティ設定間違い
		 (1.8 秒に 2 回)	WPS アクセスポイント検索エラー
			Wi-Fi：オン（未接続）
			Wi-Fi：オン（接続確立）
			Wi-Fi：WPS 設定中モード
		 (3 回)	Bluetooth 切り替え完了通知 (PT-P950NW のみ)

表示ランプ警告

問題	原因または解決方法
バッファに受信済みデータあり	バッファ上に印刷データが溜まっています。最後までデータを受け取っていない場合、印刷は開始しません。 本機の電源を切り、電源を入れ直してください。
印字ヘッドのクールダウン中	印字ヘッドが非常に高温です。 本機は印刷を中止し、印字ヘッドが冷えてから印刷を再開します。ラベルを大量に印刷すると、印字ヘッドが非常に高温になる場合があります。 印字ヘッドが高温になると、ラベルに余分な印刷がされる場合があります。この現象を回避する、または発生頻度を減らすには、本機を密閉された場所ではなく、十分な換気を行える環境でご使用ください。 使用するカセットの種類やラベルに印字する内容によっては、クーリングが発生して通常より印刷時間がかかることがあります。  メモ 高所（3,048m/10,000 feet 以上）など空気濃度の薄いところでは、本機を冷やすために利用できる空気が薄いため、このような現象が起きやすくなります。
ブートモード中	問題を解決するために、販売店または弊社コールセンターまでお問い合わせください。
テープカセットに関するエラー	以下を確認してください： ■ 正しいテープカセットを使用している。 ■ 十分なテープ残量がある。 ■ テープカセットが正しく装着されている。
エラーの解除手順	エラーの解除手順 1 カバーを開け、再び閉めます。 2 エラーが解除されない場合は、 (フィード & カット) ボタンを押します。 3 それでもエラーが解除されない場合は、本機の電源を切り、電源を入れ直してください。 4 それでもエラーが解除されない場合は、ブラザーコールセンターまでお問い合わせください。

18 仕様

製品仕様

機種名	PT-P950NW/PT-P900W
サイズ	
外形寸法	約 118 mm (幅) × 192 mm (奥行き) × 146 mm (高さ)
重量 (テープカセット、別売品未装着時)	PT-P950NW : 約 1510 g PT-P900W : 約 1480 g
表示ランプ	
ステータス表示ランプ、バッテリー表示ランプ、電源表示ランプ、Wi-Fi 表示ランプ	
ボタン	
電源ボタン、フィード & カットボタン、Wi-Fi ボタン	
印刷	
印刷方式	熱転写方式
印字ヘッド	454 dot/360 dpi
印刷解像度	標準印刷 : 360 dpi × 360 dpi 高解像度モード : 360 dpi × 720 dpi ¹ 高速モード : 360 dpi × 180 dpi ¹ 品質優先モード : 360 dpi × 360 dpi ²
印字速度	AC アダプター接続+黒色インクの TZe ラミネートテープ (TZe-FX**1 テープを除く) または HGe ラミネートテープ使用時 : ■ 「標準」印刷 : 最高 60 mm/ 秒 ■ 「高解像度」印刷 : 最高 30 mm/ 秒 ■ 「高速」印刷 : 最高 80 mm/ 秒 ■ 「品質優先」印刷 ² : 最高 20 mm/ 秒 実際の印字速度は、お使いのカセット、使用環境、印字内容によって異なります。
対応カセット (幅)	■ プラザー TZe テープカセット : 3.5 mm、6 mm、9 mm、12 mm、18 mm、24 mm、36 mm ■ プラザー HGe テープカセット : 9 mm、12 mm、18 mm、24 mm、36 mm

機種名	PT-P950NW/PT-P900W
最大印字高さ	36 mm 幅テープ使用時：32.0 mm 24 mm 幅テープ使用時：22.6 mm 18 mm 幅テープ使用時：16.5 mm 12 mm 幅テープ使用時：10.6 mm 9 mm 幅テープ使用時：7.5 mm 6 mm 幅テープ使用時：4.5 mm 3.5 mm 幅テープ使用時：2.5 mm
最小印字長	4 mm (4 mm の位置でのフルカットはできません。フルカットでの最小間隔は 22 mm です。) 印刷 1 枚目 (連続印刷時は 1 枚目のみ) の前に 22 mm 程度の余白が発生します。
インターフェイス	
USB ポート	Version 2.0 Full Speed (周辺装置)
Wi-Fi	■ Wireless Direct : IEEE 802.11n ■ アドホックモード ³ : IEEE 802.11b ■ インフラストラクチャモード : IEEE 802.11b/g/n ■ WPS 2.0
シリアルポート	拡張型シリアルポート (別売品のシリアルケーブル変換アダプター PA-SCA-001 を使用することで、RC-232C D-sub 9 ピン オス型コネクタに変換)
USB ホスト (PT-P950NW のみ)	バーコードリーダー (PA-BR-001) に対応
LAN ポート (PT-P950NW のみ)	10/100BASE-TX
Bluetooth (PT-P950NW のみ)	別売品の Bluetooth ユニット PA-BI-002 を装着することで使用可能 Bluetooth Ver.2.1+EDR (Class 1) 対応プロトコル : SPP、OPP
電源	
アダプター	AC アダプター (AD9100ESA) : 24 V AC 100 V 50/60 Hz
バッテリー (別売品)	Li-ion 充電電池 (PA-BT-4000LI) : 14.4 V (充電電池ホルダー PA-BB-002 と一緒に使用)
自動電源オフ	Li-ion 充電電池 (PA-BT-4000LI) : 30 分 AC アダプター (AD9100ESA) : なし (自動電源オフ設定を変更するには、「ラベルプリンターの設定を変更する」(26 ページ) をご覧ください。)

機種名		PT-P950NW/PT-P900W	
消費電力	PT-P950NW：		
	印刷時最大：約 63.6W、待機時：約 1.3W、電源 OFF 時：約 0.3W		
	PT-P900W：		
	印刷時最大：約 63.6W、待機時：約 0.9W、電源 OFF 時：約 0.3W		
その他			
カッター	自動フルカッター / 自動ハーフカッター		
環境	動作	使用時：10℃ ～ 35℃ / 20% ～ 80%（結露なきこと）	
	温度 / 湿度	最大湿球温度 ：27℃	

- ¹ 高解像度モード、高速モードは、AC アダプターを使用し、黒色インクの TZe ラミネートテープ (TZe-FX**1 は除く) または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。
- ² 品質優先モードは、黒色インクの TZe ラミネートテープ (TZe-FX**1 は除く) または HGe ラミネートテープが装着されている場合に対応します。ご使用のプリンタードライバーの画面で選択できない場合、プリンタードライバーとファームウェアの更新が必要です。弊社サポートサイトからダウンロードしてインストールしてください (2016 年 9 月以降ダウンロード可能)。
- ³ アドホックモードは端末や OS によっては使えない場合があります。Wireless direct をお使いください。

■ 自動ハーフカッターはラミネートテープ使用時のみ有効です。

動作環境

項目	仕様	
オペレーションシステム	Windows	Windows Vista / Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2
	Mac	OS X v10.9.x / 10.10.x / 10.11.x
ハードディスク	Windows	ディスク空き容量：700 MB 以上
	Mac	ディスク空き容量：500 MB 以上
メモリー	Windows	Windows Vista / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2：512 MB 以上 Windows 7 / Windows 8 / Windows 8.1 / Windows 10：1 GB 以上 (32-bit) または 2 GB 以上 (64-bit)
	Mac	OS X v10.9.x / 10.10.x / 10.11.x：2 GB 以上

対応するオペレーションシステムは変更される場合があります。最新情報については、弊社サポートサイト (support.brother.co.jp) をご覧ください。

■ 弊社ウェブサイトのご案内

サポートサイト (support.brother.co.jp) をご覧ください。

弊社ウェブサイトでは、下記の情報をご案内しています：

- ソフトウェアのダウンロード
- 各取扱説明書 / ドキュメント
- よくあるご質問 (Q&A) (困ったときの対処方法、便利な機能)
- 消耗品のご案内
- 最新対応 OS についての情報

ウェブサイトの項目、内容は予告なく変更する場合があります。

本機では使えない機能もあるため、P-touch Editor でテンプレートデータを作成するときは以下の点に注意してください。

作成したテンプレートデータを本機に転送する前に、どのように印刷されるか確認することができます。詳しくは、「P-touch Editor で作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager へ転送する」(103 ページ) をご覧ください。

テンプレートデータ作成時の注意事項

- 本機には、3 種類のフォントが搭載されています。転送されたテンプレートデータの文字によっては、本機に搭載された似たフォントとサイズに置き換わって印刷されることがあります。そのため、印刷したラベルが P-touch Editor で作成したイメージとは異なる可能性があります。
- テキストオブジェクトの設定によっては、文字のサイズが縮小されたり、印字されなかったりすることがあります。この場合は、テキストオブジェクトの設定を変更してください。
- P-touch Editor で個々の文字に別々の書式を設定しても、本機ではブロックごとに同じ書式が設定されます。さらに、本機では対応していない文字書式もあります。
- ラベルプリンター本体へ登録後に内容を変更しないで印刷するテキストオブジェクトは、P-touch Editor で編集禁止の設定をしてください。

テキストボックスを選択して右クリックし、[プロパティ] を選択して [テキストのプロパティ] 画面を表示させ、[拡張] タブで [文字の編集を禁止する] にチェックを入れます。

- P-touch Editor で背景の設定をしても、本機では対応していません。
- P-touch Editor でスプリット印刷機能（複数のラベルを並べると大きな文字のラベルになるように印刷する機能）を使って作成したテンプレートデータは、本機に登録できません。
- 印刷範囲内のラベルだけ印刷されます。
- 印刷範囲からはみ出した部分は印刷されない場合があります。

テンプレートデータ転送時の注意事項

- 印刷したラベルは、P-touch Transfer Manager のプレビューで確認したイメージとは異なる可能性があります。
- 本機が対応していないバーコードを転送した場合、二次元コードは画像に変換されます。画像に変換されたバーコードは編集できません。回転した一次元バーコードを含むテンプレートデータの場合は、エラーとなり転送できません。
- 本機で編集できないオブジェクトが転送されると、すべて画像に変換されます。
- グループ化されたオブジェクトは 1 つの bitmap データとして変換されます。

テンプレートデータ以外のデータを転送する際の注意事項

- データベースの番号や順番を変更して、その更新をするためにデータベース（*.csv ファイル）だけを転送すると、テンプレートデータと正しくリンクされない場合があります。さらに、本機に認識させるため、転送ファイルの 1 行目のデータは「フィールド名」にする必要があります。
- 本機に転送されたロゴ、シンボル、画像データは、すでに本機に保存されているフォントやシンボルのよう自動的にサイズ調整されます。

サポートされるプロトコルとセキュリティ機能

インターフェイス	無線 LAN	IEEE 802.11b/g/n (インフラストラクチャモード)
		IEEE 802.11b (アドホックモード)
		IEEE 802.11n (Wireless Direct モード)
	有線 LAN (イーサネット) (PT-P950NW のみ)	Ethernet 10BASE-T/100BASE-TX Auto Negotiation
ネットワーク (共通)	プロトコル (IPv4)	ARP, RARP, BOOTP, DHCP, APIPA (Auto IP), mDNS, WINS, NetBIOS name resolution, DNS Resolver, LPR/LPD, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, TFTP client and server, SNTP client, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
	プロトコル (IPv6)	NDP, RA, DNS Resolver, LPR/LPD, mDNS, Custom Raw Port/Port9100, FTP Server, SNMPv1, TFTP client and server, ICMP, LLMNR responder, SNMPv1/v2c
ネットワーク (セキュリティ)	無線 LAN	WEP 64/128 bit, WPA/WPA2-PSK, LEAP, EAP-FAST, PEAP, EAP-TTLS, EAP-TLS

ネットワーク接続およびプロトコルの種類

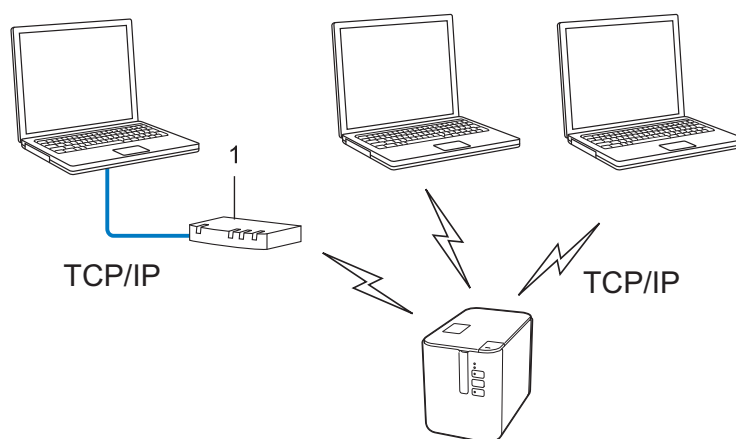
一般的なネットワーク構築および共通用語に加え、ブラザーラベルプリンターの高度なネットワーク機能について基本情報を提供します。

サポートされるプロトコルとネットワーク機能は、使用する機種によって異なります。

ネットワーク接続方法について

TCP/IP を使用したピアツーピア印刷

ピアツーピア接続では、各パソコンがお使いのラベルプリンターと直接データを送受信します。ファイルの送受信を操作するサーバーやプリントサーバーなどは必要ありません。

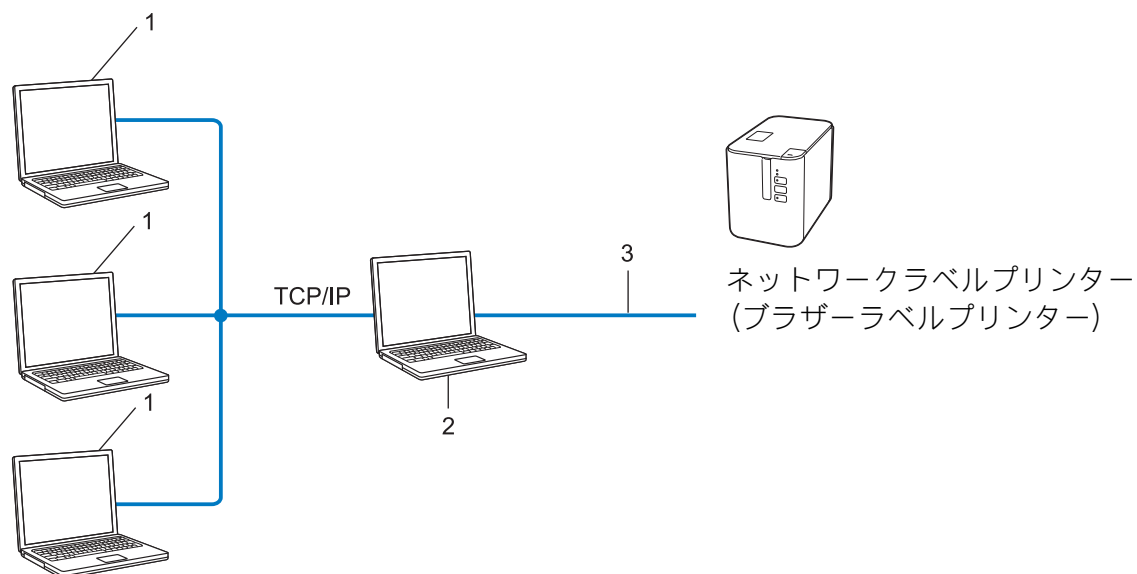


1 ルーター

- パソコン 2、3 台程度の小規模なネットワーク環境では、ネットワーク共有印刷よりも簡単に設定できるピアツーピア印刷をお勧めします。「ネットワーク共有印刷」(172 ページ) をご覧ください。
- 各パソコンに TCP/IP プロトコルの設定を行います。
- お使いのラベルプリンターにも IP アドレスを設定する必要があります。
- ルーターをご使用の場合は、パソコンとラベルプリンターにゲートウェイアドレスの設定が必要です。

ネットワーク共有印刷

ネットワーク共有環境では、各パソコンは中央制御されたパソコンを介してデータを送信します。この種類のパソコンは、通常「サーバー」または「プリントサーバー」と呼ばれます。すべての印刷ジョブの印刷を管理します。



- 1 クライアントパソコン
- 2 「サーバー」または「プリントサーバー」とも言われます。
- 3 TCP/IP または USB

- 大規模なネットワークには、ネットワーク共有型の印刷環境を推奨します。
- 「サーバー」または「プリントサーバー」は TCP/IP 印刷プロトコルを使用する必要があります。
- サーバーまたはプリントサーバーに USB を経由して接続する場合以外は、お使いのラベルプリンターに適切な IP アドレスを設定する必要があります。

ネットワークの設定について

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイについて

ネットワーク型 TCP/IP 環境でラベルプリンターを使用するには、IP アドレスとサブネットマスクを設定する必要があります。プリントサーバーに割り当てる IP アドレスは、ホストコンピューターと同じ論理ネットワーク上にあることが必要です。同じ論理ネットワークにない場合は、サブネットマスクおよびゲートウェイアドレスを正しく設定する必要があります。

IP アドレスとは

IP アドレスとは、ネットワークに接続している各機器の住所に当たるものです。IP アドレスは、0 ～ 254 までの数字を「. (ピリオド)」で 4 つに区切って「192.168.1.3」のように表現します。

■ 例) ローカルネットワークでは、通常は最後の下線部の数字（ホストアドレス部）を変更します。

- 192.168.1.1
- 192.168.1.2
- 192.168.1.3

IP アドレスをプリントサーバーに割り当てる方法

ネットワークに DHCP/BOOTP/RARP サーバーがある場合は、プリントサーバーはそのサーバーから自動的に IP アドレスを取得します。



メモ

小規模なネットワークでは、DHCP サーバーはルーターも兼ねる場合もあります。

DHCP/BOOTP/RARP サーバーがない場合は、Automatic Private IP Addressing (APIPA) プロトコルが 169.254.0.1 から 169.254.254.254 までの範囲で IP アドレスを自動的に割り当てます。サブネットマスクは自動的に 255.255.0.0 に設定され、ゲートウェイアドレスは 0.0.0.0 に設定されます。

デフォルトでは、APIPA が有効になっています。APIPA プロトコルを無効にする場合は、BRAdmin Light またはウェブブラウザを使用して無効化できます。

サブネットマスクとは

サブネットマスクはネットワーク通信を制限します。

■ 例) パソコン 1 はパソコン 2 と通信できます。

- パソコン 1

IP アドレス : 192.168.1.2

サブネットマスク : 255.255.255.0

- パソコン 2

IP アドレス : 192.168.1.3

サブネットマスク : 255.255.255.0

サブネットマスクに 0 が含まれている場合、アドレスのその部分に関しては、通信する機器を制限しないことを意味します。上記の例では、192.168.1.x. (x は 0 ~ 254 の数字) の IP アドレスが割り当てられたすべての機器と通信できることを表しています。

ゲートウェイ (ルーター) とは

ゲートウェイは、他のネットワークへの入口として動作し、ネットワークを介して伝送されたデータを正確な宛先に送信するネットワークポイントです。ルーターはゲートウェイに到着したデータの宛先を識別します。宛先が外部ネットワークにある場合、ルーターはデータを外部ネットワークに伝送します。ネットワークが他のネットワークと通信する場合、ゲートウェイ IP アドレスを設定する必要があります。ゲートウェイ IP アドレスが不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線ネットワークの用語と概念

セキュリティ用語

認証と暗号化

ほとんどの無線ネットワークはある種のセキュリティ設定を使用しています。これらのセキュリティ設定は認証（装置が自らをネットワークに特定する方法）と暗号化（データがネットワークで伝送されたとき暗号化する方法）を定義します。**無線 LAN 対応ラベルプリンターを構成する場合、これらのオプションを正しく指定しないと、無線ネットワークに接続できなくなります。**そのため、これらのオプションを構成する場合は注意が必要です。

個人無線ネットワーク用の認証と暗号化の方式

個人無線ネットワークは、たとえば、自宅で IEEE 802.1x をサポートしない無線ネットワークでラベルプリンターを使用する小規模なネットワークです。

IEEE 802.1x をサポートする無線ネットワークでラベルプリンターを使用する場合は、「エンタープライズ（無線ネットワーク）モードでの認証方式と暗号化について」（177 ページ）をご覧ください。

認証方式

■ オープンシステム

無線装置は認証なしにネットワークにアクセスできます。

■ 共有キー

無線ネットワークにアクセスするすべての装置が、既定の未公開キーを共有しています。

ブラザーの無線 LAN 対応ラベルプリンターは WEP キーを既定キーとして使用します。

■ WPA-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK）を有効にします。WPA-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP を使用して無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA2-PSK

Wi-Fi Protected Access Pre-shared キー（WPA2-PSK）を有効にします。WPA2-PSK は、WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

■ WPA/WPA2-PSK

Wireless Protected Access Pre-shared キー（WPA-PSK/WPA2-PSK）を有効にします。

WPA-PSK/WPA2-PSK は、WPA-PSK 用の TKIP または WPA-PSK および WPA2-PSK（WPA-Personal）用の AES を使用して、無線 LAN 対応ラベルプリンターをアクセスポイントに関連付けることができます。

暗号化方式

■ なし

暗号化方式は使用しません。

■ WEP

WEP(Wired Equivalent Privacy) を使用すると、データをセキュアキーで送受信します。

■ TKIP

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、およびリキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard (AES) は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

[接続モード] を [アドホック] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP

[接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
オープンシステム	なし
	WEP
共有キー認証	WEP
WPA-PSK	TKIP
WPA2-PSK	AES
WPA/WPA2-PSK	TKIP
	AES

ネットワークキー

■ オープンシステム /WEP との共有キー

このキーは 64 ビットまたは 128 ビットの値で、ASCII または 16 進形式で入力する必要があります。

- 64 (40) ビット ASCII :

「WSLAN」など 5 文字のテキスト文字を使用します (大文字と小文字を区別します。)

- 64 (40) ビット 16 進数 :

「71f2234aba」など、10 桁の 16 進数データを使用します。

- 128 (104) ビット ASCII :

「Wirelesscomms」など 13 文字のテキスト文字を使用します (大文字と小文字を区別します。)

- 128 (104) ビット 16 進数 :

「71f2234ab56cd709e5412aa2ba」など、26 桁の 16 進数データを使用します。

■ WPA-PSK/WPA2-PSK と TKIP または AES、AES による WPA2

長さが 8 文字以上 63 文字までの Pre-Shared Key (PSK) を使用します。

エンタープライズ (無線ネットワーク) モードでの認証方式と暗号化について

エンタープライズモードとは、例えば、大規模な企業などの大規模な無線 LAN で、IEEE802.1x 認証方式をサポートしているモードです。IEEE802.1x 認証方式をサポートしている無線ネットワークで本機を使用する場合は、次の認証方式と暗号化方式を使用することができます。

認証方式

■ LEAP (無線ネットワーク用)

Cisco LEAP (Light Extensible Authentication Protocol) は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワードを使用します。

■ EAP-FAST

EAP-FAST (Extensible Authentication Protocol-Flexible Authentication via Secured Tunnel) は Cisco Systems 社が開発しました。認証にユーザー ID とパスワード、および対称キーアルゴリズムを使用して、トンネル型の認証処理を実行します。

ブラザーラベルプリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-FAST/NONE
- EAP-FAST/MS-CHAPv2
- EAP-FAST/GTC

■ PEAP

PEAP (Protected Extensible Authentication Protocol) は、Microsoft Corporation、Cisco Systems と RSA Security が開発しました。PEAP は、ユーザー ID とパスワードを送信するためにクライアントと認証サーバー間に、暗号化した SSL (Secure Sockets Layer) /TLS (Transport Layer Security) トンネルを作成します。PEAP はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

ブラザーラベルプリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- PEAP/MS-CHAPv2
- PEAP/GTC

■ EAP-TTLS

EAP-TTLS (Extensible Authentication Protocol Tunnelled Transport Layer Security) は Funk Software と Certicom が開発しました。EAP-TTLS は、ユーザー ID とパスワードを送信するために、クライアントと認証サーバー間に PEAP と同様の暗号化 SSL トンネルを作成します。EAP-TTLS はサーバーとクライアント間に相互認証を提供します。

ブラザーラベルプリンターは次の内部認証方式をサポートします。

- EAP-TTLS/CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAP
- EAP-TTLS/MS-CHAPv2
- EAP-TTLS/PAP

■ EAP-TLS

EAP-TLS (Extensible Authentication Protocol Transport Layer Security) では、クライアントと認証サーバーの両方でデジタル証明書の認証が必要です。

暗号化方式

■ TKIP

TKIP (Temporal Key Integrity Protocol) はパケットごとにキーミキシング、メッセージ完全性チェック、リキーイング機構を提供します。

■ AES

Advanced Encryption Standard (AES) は、対称キー暗号化を使用して強力なデータ保護を提供します。

■ CKIP

Cisco Systems 社の LEAP 用のオリジナル Key Integrity Protocol

[接続モード] を [インフラストラクチャ] に設定する場合

認証方式	暗号化方式
LEAP	CKIP
EAP-FAST/NONE	TKIP
	AES
EAP-FAST/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-FAST/GTC	TKIP
	AES
PEAP/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
PEAP/GTC	TKIP
	AES
EAP-TTLS/CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAP	TKIP
	AES
EAP-TTLS/MS-CHAPv2	TKIP
	AES
EAP-TTLS/PAP	TKIP
	AES
EAP-TLS	TKIP
	AES

ユーザー ID およびパスワード

次のセキュリティ方式は長さが 64 文字以下のユーザー ID と 32 文字以下のパスワードをサポートします。

- LEAP
- EAP-FAST
- PEAP
- EAP-TTLS
- EAP-TLS (ユーザー ID 用)

P-touch Template 機能基本的な手順

P-touch Template 機能を使用する際の基本的な流れを説明します。

各設定の詳しい手順については、「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」(67 ページ) をご覧ください。

本機にバーコードリーダーを接続する前に、事前準備として P-touch Template 設定ツールとバーコードリーダーの設定が一致していることを確認してください。詳しくは、「事前準備」(68 ページ) をご覧ください。

- ① P-touch Editor を使用して、テンプレートデータを作成し、本機へ登録します。
- ② 本機とバーコードリーダーを接続します。
- ③ 設定を開始するために、「P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)」バーコードを読み取ります。
設定の開始もしくは以前の設定を消去します。
- ④ 「基本設定」バーコードを読み取ります。
印刷枚数を設定します。
- ⑤ 各機能別の設定を行います (A、B、または C)。

A. 定型テンプレート印刷機能

- 1 「定型テンプレート番号」バーコードを読み取ります。

B. バーコード作成 (コピー) 印刷機能

- 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
- 2 作成、または複製したいバーコードを読み取ります。
- 3 「印刷開始」バーコードを読み取ります。

C. データベース置換印刷機能

- 1 「テンプレート選択」と「テンキー入力」バーコードの数字バーコードを読み取ります。
- 2 データベースファイルのデータに置き換えるためにキーワードのバーコードを読み取ります。
- 3 「デリミタ」バーコードを読み取ります。
- 4 「印刷開始」バーコードを読み取ります。

- ⑥ 指定したラベルが印刷されます。

設定用バーコード一覧

「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」(67 ページ) で使用する設定用バーコードです。



メモ

- この一覧のバーコードを使用するときは、P-touch Template 設定の初期設定として「P-touch Template 印刷の制御」と「プレフィクス文字コマンド」を設定してください。
- コマンド読み込み用バーコードとして普通紙に印刷して使用する場合は、高解像度で印刷してください。印刷状況によっては、本書に掲載しているサンプルバーコードが読み取れない可能性がありますのでご注意ください。

■ P-touch テンプレートコマンド (初期設定 + 設定開始)



Esc ia 3 ^ II

■ 基本設定

オートカットあり



^CF01

オートカットなし



^CF00

ハーフカットあり



^CH1

ハーフカットなし



^CH0

つなげて印刷あり



^CP1

つなげて印刷なし



^CP0

ミラー印刷あり



^MP1

ミラー印刷なし



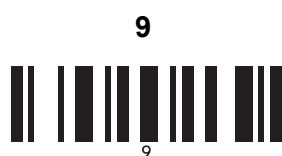
^MP0

印刷枚数



^CN

■ テンキー入力¹



■ 定型テンプレート番号

定型テンプレート 1



定型テンプレート 2



定型テンプレート 3



定型テンプレート 4



定型テンプレート 5



定型テンプレート 7



定型テンプレート 9



定型テンプレート 6



定型テンプレート 8



定型テンプレート 10



21

■ テンプレート選択



■ ナンバリング印刷枚数コマンド



■ デリミタ



■ テンプレートデータ初期化



■ 印刷開始



¹ 印刷枚数設定、テンプレート番号選択時に使用します。
 [0] [0] [7]、[0] [1] [5] のように 3 桁になるように読み取ってください。数字 3 桁を読み取ると自動的に確定します。
 設定を変更するには、印刷枚数の場合は「印刷枚数」、テンプレート番号の場合は「テンプレート選択」を読み取ってから、もう一度、3 桁の数字を読み取ってください。

Li-ion 充電電池（別売品：PA-BT-4000LI）／ 充電電池ホルダー（別売品：PA-BB-002）を 使用する

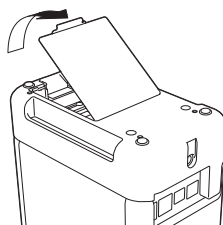
本機は、AC アダプター（付属品）または Li-ion 充電電池（別売品：PA-BT-4000LI）により動作します。ご利用方法に合わせて、最適な電源を選択してご使用ください。

Li-ion 充電電池を装着すると、AC アダプターによる電源供給がない場所でも、本機を使用することができます。

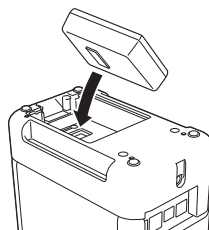
充電は、本機に充電電池ホルダーとともに装着した状態で、AC アダプターから行います。

Li-ion 充電電池を装着する

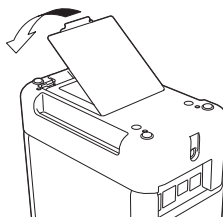
- 1 AC アダプターを抜いてから、本機に充電電池ホルダー（別売品）を取り付けます。充電電池ホルダーの取り付け方法については、充電電池ホルダーの取扱説明書をご覧ください。
- 2 充電電池ホルダー底面の充電電池カバーを開けます。



- 3 Li-ion 充電電池を充電電池収納スペースにはめ込みます。



- 4 充電電池カバーを閉めます。



メモ

Li-ion 充電電池から供給される電圧は一定ではなく、変動します。本機の印刷速度は、供給される電圧によって異なります。

Li-ion 充電電池を取り外す

⏻(電源) ボタンを長押しして、本機の電源を切ります。

充電電池カバーを開けて Li-ion 充電電池を取り外し、カバーを閉めます。

⚠ 注意

Li-ion 充電電池が取り外しにくい場合、充電電池カバーを外した状態で本機を逆さまにすると、Li-ion 充電電池は自重で落ちてきます。

ケガをしないように気をつけてください。

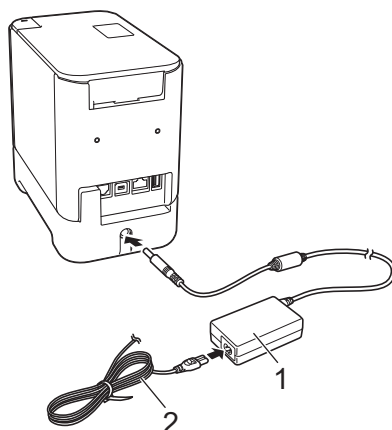
Li-ion 充電電池を充電する



メモ

- Li-ion 充電電池をご使用になる前に、十分に充電してください。
- Li-ion 充電電池を満充電するには、約 3 時間かかります。

- 1 本機に取り付けた充電電池ホルダーに Li-ion 充電電池が装着されていることを確認します。
- 2 電源コードを AC アダプターに差し込みます。
本機に取り付けた充電電池ホルダーの背面に AC アダプターを接続して、電源コードを電源コンセントに差し込みます。
⏻(電源) ボタンを押して本機の電源を入れます。充電中は、 (バッテリー) 表示ランプがオレンジ色に点灯し、充電が完了すると、表示ランプが消灯します。



1 AC アダプター

2 電源コード



メモ

- 充電中に本機の電源を切っても、満充電になるまで充電します。
- Li-ion 充電電池を装着した状態で、本機の電源を入れ、AC アダプターを電源コンセントに差し込むと充電を行います。ただし、電源が入っていると一度充電が完了したあとも、電力を使用し続けますので、次にお使いになるときに、満充電時より電力が少なくなっています。充電時には、電源を切ることをお勧めします。
- 本機は、印刷や用紙送りなどの操作を行うと充電を一旦停止します。充電が完了していない場合は、操作完了後に自動的に充電を再開します。

Li-ion 充電電池の充電を中止するには

Li-ion 充電電池の充電を停止するには、AC アダプターのコードを抜いてください。

Li-ion 充電電池の使用について

- ご使用になる前に Li-ion 充電電池を満充電してください。満充電する前は使用しないでください。
- Li-ion 充電電池の充電可能な温度範囲は 0°C ～ 40°C です。この範囲外の温度環境では充電は中止され、 (バッテリー) 表示ランプは点灯したままになります。温度環境が充電可能な温度範囲（0°C ～ 40°C）に戻れば、充電を再開します。
- 本機は、Li-ion 充電電池が装着され、AC アダプターも接続された状態で操作を行うと、Li-ion 充電電池が満充電でなくても  (バッテリー) 表示ランプが消灯し、充電を停止することがあります。

Li-ion 充電電池の特性について

Li-ion 充電電池の性能を最大限に発揮し、長くご利用いただくために、次の点にご注意ください：

- 極端に高温や低温になる場所で Li-ion 充電電池を使用したり保管しないでください。Li-ion 充電電池の消耗が早くなる場合があります。高充電状態（充電容量 90% 以上）の Li-ion 充電電池を高温環境下で使用すると、この現象が発生する場合があります。
- 本機を長期間保管するときは、Li-ion 充電電池を取り外してください。
- Li-ion 充電電池は、50% 未満の充電状態にして、直射日光の当たらない涼しい乾燥した場所に保管してください。
- Li-ion 充電電池を長期間保管する場合は、6ヶ月に一度充電してください。
- Li-ion 充電電池の充電中に手を触れると、機器が暖かくなっていることがあります。これは正常な動作で、機器は安全にお使いいただけます。本機が極端に熱くなった場合は、使用を中止してください。

製品仕様

Li-ion 充電電池

サイズ：約 74 mm（幅）x 86 mm（奥行き）x 32 mm（高さ）

重量：0.240 kg

電圧：14.4 V

容量：1800 mAh

充放電サイクル：約 300 回

充電時間：約 3 時間

充電電池ホルダー

サイズ：約 118 mm（幅）x 192 mm（奥行き）x 78 mm（高さ）

重量：0.332 kg

充電電流：1000 mA

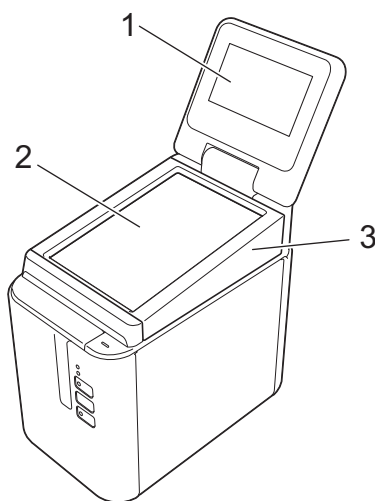
充電電圧：16.4 V

操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用する（別売品：PA-TDU-003） （PT-P950NW のみ）

操作パネル&液晶ディスプレイユニット（別売品）を使用すると、操作パネルのキーを直接押して操作できるので、パソコンに接続しなくても、簡単にラベルを印刷したり、さまざまな設定をすることができます。

操作パネル&液晶ディスプレイユニットの取り付け方法については、操作パネル&液晶ディスプレイユニットに付属の「かんたん設置ガイド」をご覧ください。

各部の名称



1 液晶ディスプレイ



メモ

出荷時には、傷防止のため液晶ディスプレイに透明の保護フィルムが貼ってあります。ご使用前に保護フィルムをはがしてください。

2 操作パネル

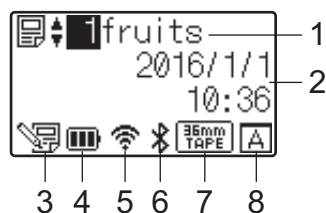
3 操作パネルカバー

液晶ディスプレイについて

液晶ディスプレイを起こして、画面表示が見やすい角度に調整してからご使用ください。画面が暗くて見づらい場合は、バックライトを点灯させることもできます。詳しくは、「操作パネル&液晶ディスプレイユニットで設定する」（195 ページ）をご覧ください。

メイン画面

本機の電源を入れると、以下のメイン画面が表示されます。



1 テンプレート番号と名前

選択されているテンプレート番号と名前が表示されます。

2 日付と時刻

現在の日時が表示されます。時計の設定方法は、「日付と時刻の設定方法について」（197 ページ）をご覧ください。

3 テンプレート編集表示

操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用して、編集されたテンプレートデータの場合には、マークが表示されます。

4 電池残量表示

Li-ion 充電電池を使用する場合に、電池の残量が表示されます。

残量が残りわずかのまま使用し続けると「電池残量なし」のメッセージが表示され、印刷中でも電源が落ちる可能性があります。

：満充電

：半分

：残りわずか

：空

：充電中

5 無線 LAN 表示

無線 LAN の接続状態が 4 段階（, , , ）で表示されます。

（マークは未接続の場合に表示されます。）

6 Bluetooth 表示

Bluetooth が接続されていると  が表示されます。

7 テープ種類表示

ラベルプリンターに装着されているテープ種類が表示されます。

8 設定操作パネル名

操作パネル&液晶ディスプレイユニットの設定が、A か B のどちらに設定されているかが表示されます。

A：基本パネル（A）

B：ワンタッチパネル（B）

操作パネルについて

操作パネルの表示には、基本パネル（A）とワンタッチパネル（B）の2種類があり、どちらかを選択して使用します。

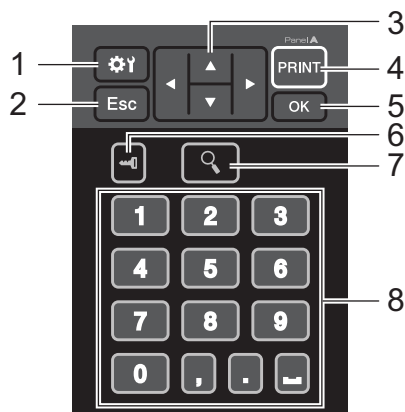
操作は、操作パネルのキーを直接、指で押して行います。

あらかじめ、ワンタッチパネルのキーにテンプレートデータを登録しておく、と、印刷したいラベルのキーを押すだけで簡単に印刷できます。

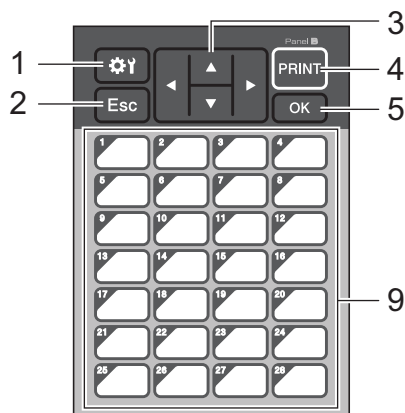
❗ 重要

操作パネルは、先のとがったもので押さないでください。操作パネルが損傷する恐れがあります。

基本パネル（A）



ワンタッチパネル（B）



1 (設定キー)

各種機能の設定を行います。

2 Esc (キャンセルキー)

1 つ前の操作に戻ります。1 秒以上長押しするとメイン画面に戻ります。

3 ▲/▼/◀/▶

各種項目の表示を切り替えたり、数値を増減させたりします。キーを長押しすると、項目の表示切り替えが早くなったり、数値が 10 単位で増減したりします。

4 PRINT キー

ラベルを印刷します。

5 OK キー

項目や設定を確定します。

6 (管理キー)

操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用する際の基本設定を行います。

7 (詳細表示キー)

選択したテンプレートデータの内容を表示します。テンプレートデータにリンクされているデータベースの内容も確認できます。

8 数字・記号キー

テンプレート番号やデータベース番号を入力します。テンプレートデータの数値の編集にも使用します。

9 ワンタッチキー

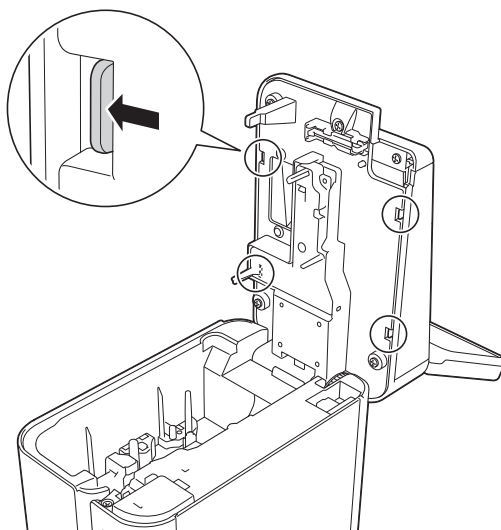
印刷するラベルを選択します。

** メモ**

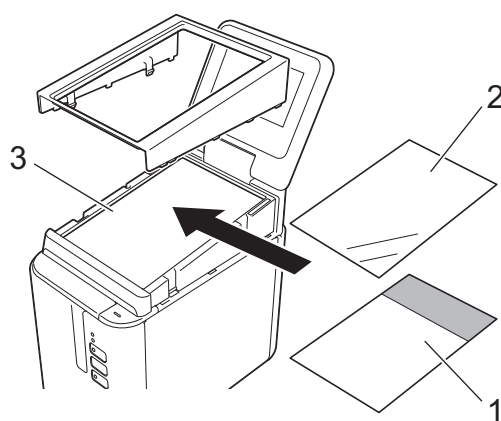
操作パネルシートの右上には、A または B の操作パネル名が印字されています。液晶ディスプレイのメイン画面に表示されている設定操作パネル名と、使用する操作パネル名が一致しているかを確認することができます。

操作パネルシートの交換方法

- 1 液晶ディスプレイを起こします。
- 2 カバーオープンボタンを押して、カバーを開けます。
- 3 操作パネルカバーは、4ヶ所のツメで本体に取り付けられています。爪やマイナスドライバーを使用して、4ヶ所のツメを図のように外側に押して操作パネルカバーを外します。



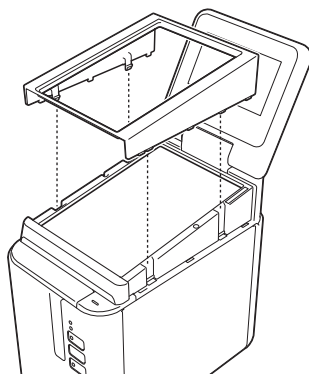
- 4 使用する操作パネルシート（1）、保護シート（2）の順に操作パネルホルダー（3）の上に置きます。



❗ 重要

操作パネルシート、保護シート、操作パネルホルダーに砂粒などの異物がついていると誤動作する可能性があります。異物がついていないことを確認してください。

- 5 操作パネルカバーの4ヶ所のツメを図のように溝に沿ってカチッとはめ込みます。



！ 重要

操作パネルシートを交換するときは、操作パネル&液晶ディスプレイユニットの設定を変更する必要があります。詳しくは、「操作パネルの表示を選択する」（207 ページ）をご覧ください。

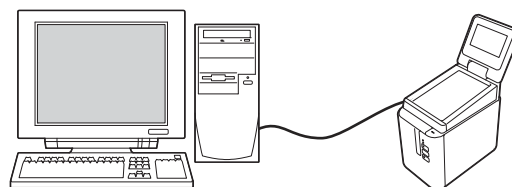
操作パネル&液晶ディスプレイユニットで印刷するには

操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用して印刷するには、次の手順で進めます。

1. 準備する

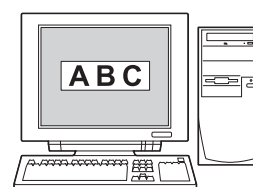
本機をパソコンと接続して、プリンタードライバーとソフトウェアをインストールします。
「プリンタードライバーとソフトウェアをパソコンにインストールする」（8 ページ）

本機にラベルをセットします。「テープカセットを装着する」（5 ページ）



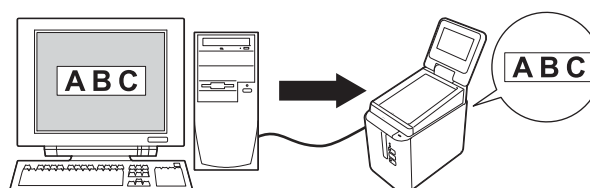
2. テンプレートデータを作成する

P-touch Editor を使用して、パソコンで作成します。
（199 ページ）



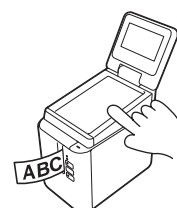
3. テンプレートデータを本機に登録する

作成したテンプレートデータを P-touch Transfer Manager を使用して、パソコンから本機に登録します。（205 ページ）



4. ラベルを印刷する

操作パネルを操作して印刷します。
（210 ページ）



操作パネル&液晶ディスプレイユニットの設定

操作パネル&液晶ディスプレイユニットの各設定を行うには、操作パネルで設定する方法と、パソコンと接続してツールを使用して設定する方法があります。パソコンと接続して設定する方法について詳しくは、「本体設定（Windows の場合）」（44 ページ）をご覧ください。

操作パネル&液晶ディスプレイユニットで設定する

操作パネルの【】（設定キー）または【】（管理キー）を押すと、メニュー選択画面が表示されます。【】／【】を押して設定項目を選択し、【OK】を押して決定します。



- 1 上下矢印のガイダンス表示は、上向き矢印の横が最初の設定項目で、下に進んで、下向き矢印の横が最後の設定項目であることを示します。最後の設定項目が選択されているときに【】を押すと、最初の設定項目に戻ります。最初の設定項目が選択されているときに【】を押すと、最後の設定項目に移動します。
- 2 現在選択されている項目は、反転表示されます。

操作パネル&液晶ディスプレイユニットでは、次のような設定ができます。

キー	設定項目		設定内容	説明
 （設定 キー）	印刷前の確認		する／しない	印刷指示をしたときに印刷枚数確認メッセージを表示するかを設定します。
	カット設定		オートカット／ハーフカット／つなげて印刷	印刷時のラベルカット方法を設定します。
	バックライト		オン／オフ	液晶ディスプレイのバックライトをつけるかを設定します。
	画面の濃さ		+2 ／ +1 ／ 0 ／ -1 ／ -2	液晶ディスプレイの濃淡を設定します。
	ブザー音		オン／オフ	操作パネルのキーを押したときに、ブザー音を出すかを設定します。
	パネル選択		A ／ B	使用する操作パネルシートを設定します。
 （管理 キー）	基本設定	キー割振り	テンプレート／データベース	ワンタッチパネルのキーに、割り振るデータの種類を設定します。複数のテンプレートデータを割り振る場合は【テンプレート】を選択します。1つのテンプレートデータにリンクしているデータベースを割り振る場合は【データベース】を選択します。
		連番後の値	維持する／初期値に戻す	前回のナンバリング印刷番号の続きで印刷するかどうかを設定します。

キー	設定項目		設定内容	説明
 (管理キー) (続き)	基本設定 (続き)	印刷枚数初期値	1 ～ 999	印刷指示をしたときに、表示される印刷枚数の初期値を設定します。
		時計設定	初期値： 2013/01/01 <24> 00:00	操作パネル&液晶ディスプレイユニットの日時を設定します。
		日時形式	日付形式： 1/31/2099、01/31/2099、 31/1/2099、31/01/2099、 31.1.2099、31.01.2099、 31-1-2099、31-01-2099、 2099/1/31、2099/01/31、 2099-1-31、2099-01-31	時計の日付表示形式を設定します。
			時刻形式： 01:59(24)、1:59(24)、 1:59AM、01:59AM	時計の時刻表示形式を設定します。
		言語	Dansk / Deutsch / English / Español / Français / Italiano / Nederlands / Norsk / Português / Suomi / Svenska / 日本語	液晶ディスプレイの表示言語を設定します。
		単位	インチ / ミリ	表示単位の形式を設定します。
		印刷枚数維持	初期値に戻す / 維持する	印刷時に設定した印刷枚数を、印刷後も維持するかどうかを設定します。 この設定は、ラベルプリンターの電源を切るまで有効です。
		DB 検索方式	行番号検索 / 指定番号検索	テンプレートデータにリンクされているデータベース内を検索する場合に、行番号で検索するか、指定番号で検索するかを設定します。
	セキュリティ	編集禁止	する / しない	テンプレートデータを編集できないようにするかどうかを設定します。
		設定キー禁止	する / しない	 (設定キー) から行う各種の設定変更をできないようにするかどうかを設定します。
		管理パスワード	有効 / 無効	 (管理キー) にアクセスするときのパスワードを設定します。
			パスワード入力してください。 : **** (4桁)	パスワードは 4 桁で設定します。
	本体情報			Printer / ProgVer / FontVer / Memory / PrnDist / PrnCnt / FCutCnt / HCutCnt

キー	設定項目		設定内容	説明
 (管理キー) (続き)	ネットワーク	LAN	IP Address / Subnet Mask / Gateway	ネットワーク設定が表示されます。
		WLAN	IP Address / Subnet Mask / Gateway / Status / Signal / Channel / SSID / Comm. Mode / Infrastructure Mode	
		Wdirect	Device Name / SSID / IP Address / Password / Status / Signal / Channel / WirelessDirect Mode	

¹  (管理キー) は、操作パネルの設定が A (基本パネル) のときだけアクセスできます。



メモ

- ファームウェア（本体ソフトウェア）のバージョンによって、設定内容の項目は予告なく変更となる場合があります。
- すべての設定を初期値にリセットしたいときは、プリンター設定ツールの **【本体設定】** を使用します。詳しくは、「本体設定（Windows の場合）」（44 ページ）をご覧ください。

23

日付と時刻の設定方法について

現在の日付と時刻を合わせます。この日付と時刻は、メイン画面に表示されます。

- 1**  (管理キー) を押します。
- 2** **【▼】** を押し、**【基本設定】** を選択して **【OK】** を押します。
- 3** **【▼】** を押し、**【時計設定】** を選択して **【OK】** を押します。時計設定画面が表示されます。
- 4** 数字キーで、西暦の下 2 桁、月の 2 桁、日付の 2 桁を順に押します。
2016 年 12 月 1 日の場合は、**【1】【6】【1】【2】【0】【1】** と押します。
- 5** **【▲】** / **【▼】** を押して、AM / PM / 24 のどれかの形式を選択し、数字キーで、時、分と 2 桁ずつ順に押します。
午後 2 時 45 分を AM / PM 式で入力する場合は、**【▼】** を押して **【PM】** を選択し、**【▶】** を押して **【0】【2】【4】【5】** と押します。
- 6** **【OK】** を押します。メイン画面に戻り、設定した日付と時刻が表示されます。



メモ

日付と時刻の表示形式は、変更することができます。 (管理キー) を押して表示される設定項目で、**【基本設定】**、**【日時形式】** を順に選択し、**【日付形式】** と **【時刻形式】** を設定します。

管理者のパスワード設定について

【】（管理キー）から行う基本設定項目に、容易にアクセスできないようにパスワードを設定できます。パスワードを設定しておくで、【】（管理キー）を押すたびにパスワードの入力が必要になります。パスワードを管理することで、この設定項目へのアクセスを制限できます。

- 1 【】（管理キー）を押します。
- 2 【】 を押し、【セキュリティ】を選択して【OK】を押します。
- 3 【】 を押し、【管理パスワード】を選択して【OK】を押します。
- 4 【】 を押し、【有効】を選択して【OK】を押します。
パスワード入力画面が表示されます。
- 5 4桁のパスワードを入力し、【OK】を押します。
パスワードが設定されました。



メモ

- この設定項目へは、パネルの設定が A（基本パネル）のときだけアクセスできます。
- パスワード設定後は、【】（管理キー）を押すと、パスワード入力画面が表示されます。設定した 4 桁のパスワードを入力し、【OK】を押してください。
- パスワード設定を解除するには、【】（管理キー）を押し、パスワードを入力して設定項目を表示させ、【管理パスワード】を【無効】に設定します。
- パスワードを忘れたときは、プリンター設定ツールの【本体設定】を使って、すべての設定を初期値にリセットするか、再度パスワードを設定して送信してください。詳しくは、「本体設定（Windows の場合）」（44 ページ）をご覧ください。

テンプレートデータを作成する（Windows のみ）

テンプレートデータは、P-touch Editor を使用して作成します。使用方法について詳しくは、「ラベル作成ソフトウェア「P-touch Editor」の使用方法」（94 ページ）をご覧ください。

テンプレートデータを作成する

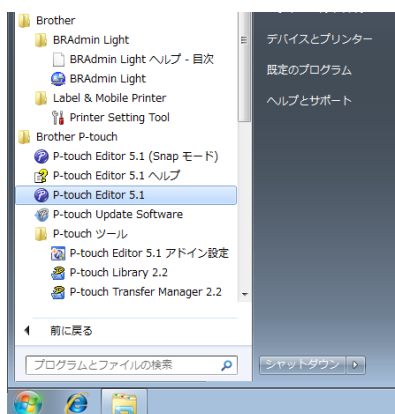
■ ラベルサンプル

Floor 1
A0-001

1 P-touch Editor を起動します。

■ Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：

スタートボタンから、[All Programs] - [Brother P-touch] - [P-touch Editor] をクリック、またはデスクトップの [P-touch Editor] アイコンをダブルクリックします。



■ Windows 8/ Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：

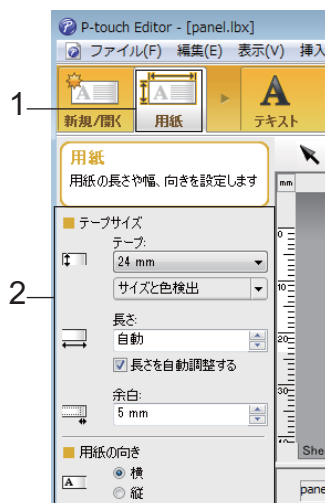
[アプリ] 画面で [P-touch Editor] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

■ Windows 10 の場合：

スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Editor] をクリックする、またはデスクトップの [P-touch Editor] をダブルクリックします。

2 [新規 / 開く] ダイアログが表示されたら、オプションを選択して、使用するラベルプリンターや作成する用紙サイズなどを設定します。

- ③ [用紙] (1) を選択して、メディアや長さ (2) を設定します。（画面は [Express] モードです。）

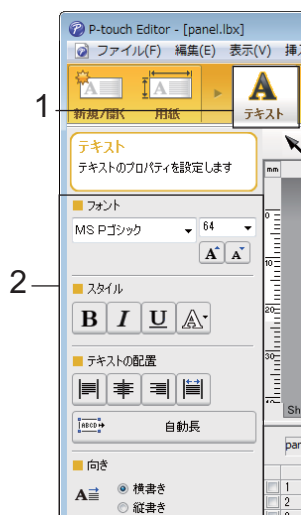


- ④ [テキスト] (1) を選択して、フォントやスタイル (2) を設定します。

❗ 重要

フォントによっては、ラベルプリンター本体に搭載された似たフォントとサイズに置き換わります。

23



- ⑤  をクリックするとカーソルが表示され、文字を入力することができます。



- ⑥ 文字を入力したら、カーソルでテキストボックスを選択し、移動することができます。

- 7、を繰り返して文字を入力し、レイアウトを整えます。
完成したらメニューバーから、[ファイル] - [名前を付けて保存] を選択し、ファイル名をつけてデータを保存します。



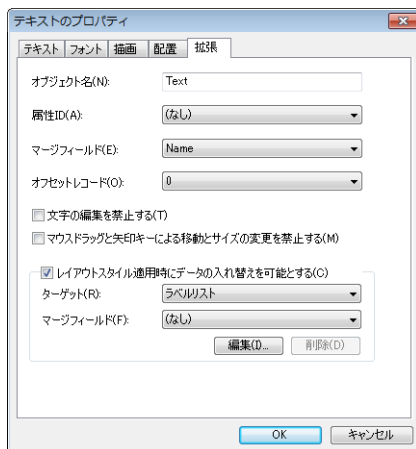
メモ

このファイル名の半角英数 10 桁、全角（漢字、ひらがな、カタカナ）5 桁までが、テンプレートデータのファイル名として液晶ディスプレイに表示されます。

液晶ディスプレイに表示する文字列と順番を設定する

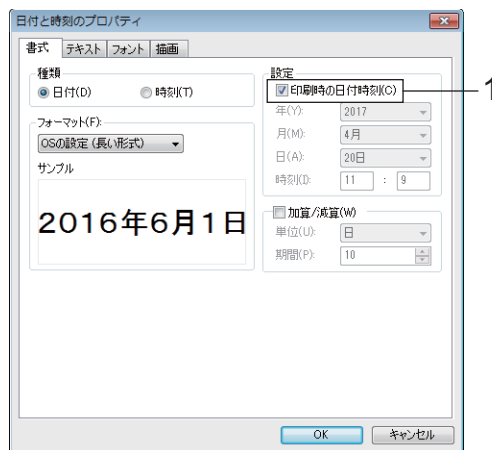
P-touch Editor を使用して、液晶ディスプレイに表示する文字列とその順番を設定できます。

- 1 P-touch Editor で、編集するテンプレートデータを開きます。
- 2 液晶ディスプレイに表示する文字列のテキストボックスを選択して右クリックし、[プロパティ] を選択して [テキストのプロパティ] 画面を表示させ、[拡張] タブの [オブジェクト名] に任意の数字を設定します。（例：Text1、Text2、Text3）
設定した数字の順番で、文字列が液晶ディスプレイに表示されます。液晶ディスプレイに表示したくない文字列は、同じく [拡張] タブで [文字の編集を禁止する] にチェックを入れます。



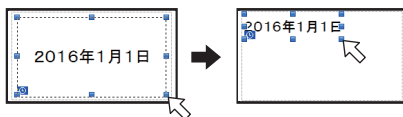
ラベルに日付と時刻を挿入する

- 1 P-touch Editor で、編集するテンプレートデータを開きます。
- 2 メニューバーから、[挿入] - [日付と時刻] を選択し、[日付と時刻のプロパティ] 画面を表示させます。挿入するテキストの表示形式などを設定します。



❗ 重要

- [印刷時の日付時刻] チェックボックス (1) にチェックを入れると、現在の日付と時刻に合わせて変動します。チェックを入れないと、指定した日時のまま動きません。
- ラベル上の日付と時刻のテキストは、本体内蔵の文字サイズで印刷されます。文字サイズは、日付と時刻のオブジェクト枠の大きさで決まるため、データをラベルプリンターに登録する前に、P-touch Editor でご希望のサイズに調整してください。



テンプレートデータにデータベースをリンクさせる

■ ラベルサンプル

Floor 1 A0-001	Floor 1 A0-002	Floor 2 D0-011
-------------------	-------------------	-------------------

作成したテンプレートデータに、データベースをリンクさせることができます。テンプレートのテキストをデータベースのテキストに置き換えることができるため、1つのテンプレートデータを作成するだけで、複数のラベルを印刷できます。

データベース設定について詳しくは、[**P-touch Editor ヘルプ**] をご覧ください。

- 1 あらかじめデータベースファイルを準備しておきます。

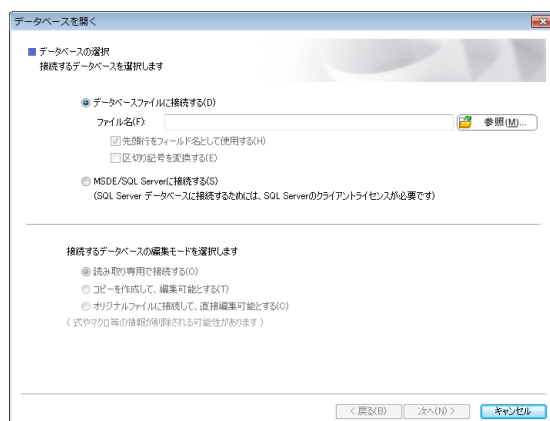


メモ

- データベースとして使用できるファイル形式は、XLS、MDB、CSV、TXT です。
- XLSX、ACCDB を使用するには、Microsoft® Office2007 か 32bit 版 Microsoft® Office 2010、または「2007 Office system ドライバ：データ接続コンポーネント」か 32bit 版「2010 Office system ドライバ：データ接続コンポーネント」がインストールされている必要があります。
- 1つのテンプレートデータにリンクさせることができるデータベースは1つです。そのデータベースに作成できる項目数は最大で 65,000 行です。（テンプレートデータとデータベースの容量の合計は、7MB までの制限があります。）
- 液晶ディスプレイには、データベースに入力されている文字列を表示できます。表示できる文字数は半角英数 13 桁までです。

23

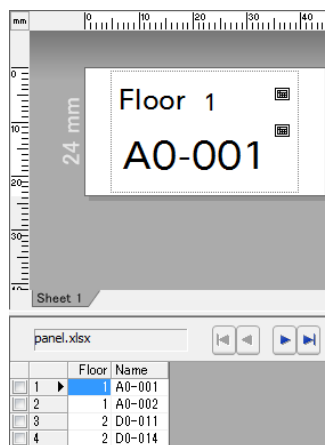
- 2 P-touch Editor で、データベースとリンクさせるテンプレートデータを開きます。
- 3 メニューバーから、[ファイル] - [データベース] - [接続] を選択し、[データベースを開く] 画面を表示させます。[データベースファイルに接続する] を選択し、[参照] をクリックしてリンクさせるデータベースを選択します。



- 4 [次へ] をクリックすると設定画面が表示されます。[フィールドの割り当て] の [データベースフィールド] でどのオブジェクトにどのデータベース列をリンクさせるかを設定し、[OK] をクリックします。



- 5 テンプレートデータとデータベースがリンクして、画面に表示されます。確認したいデータベース行をクリックすると、テキストが置き換わって表示されます。



テンプレートデータをラベルプリンターに登録する

作成したテンプレートデータをパソコンから本機に登録しておけば、操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用して、必要なときに何度でも、ラベルを印刷できます。

テンプレートデータの転送は、P-touch Transfer Manager を使用して行います。使用方法について詳しくは、「ラベル転送ソフトウェア「P-touch Transfer Manager」とラベル管理ソフトウェア「P-touch Library」の使用方法（Windows のみ）」（102 ページ）をご覧ください。

❗ 重要

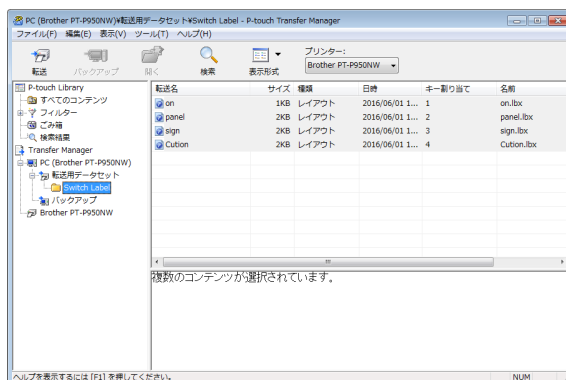
データを転送するときは、液晶ディスプレイの表示がメイン画面になっていることをご確認ください。

- 1 本機とパソコンを USB ケーブルで接続し、本機の電源を入れます。
- 2 転送するテンプレートデータを P-touch Editor で開き、[ファイル] - [テンプレートの転送] - [転送] をクリックします。

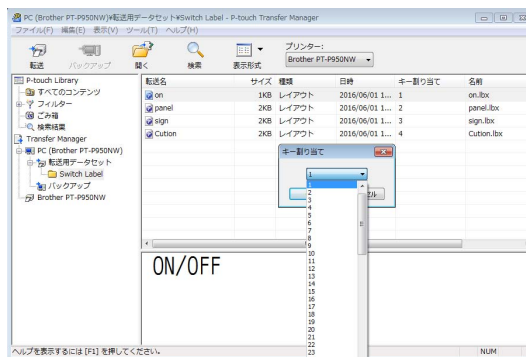
メモ

- P-touch Editor で [テンプレートの転送] が選択できないときは、P-touch Editor のレイアウトウィンドウをアクティブにしてください。
- **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。
- **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。
- **Windows 10 の場合：**
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

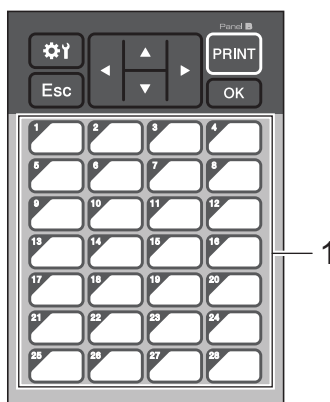
- 3 [プリンタ] リストから本機を選択します。[転送用データセット] を右クリックし、[新規作成] を選択して任意の名前の新しいフォルダーを作成します。（この例では [Switch Label] フォルダーを作成します。）
[転送用データセット] または [すべてのコンテンツ] をクリックして、転送したいデータを [Switch Label] フォルダーにドラッグします。



- 4 **[Switch Label]** フォルダに入ったファイルには、キー割り当て番号（本機に登録されるテンプレート番号）が割り当てられます。番号を変更したい場合は、ファイルを右クリックして、**[キー割り当て]** を選択し、1～99の使いたい番号を選択します。



ワンタッチパネルの1～28のキー（1）に登録されるデータは、キー割り当て番号と同一になります。



❗ 重要

ワンタッチパネルを使用する場合は、データを転送する前に番号を設定する必要があります。

- ワンタッチキーにテンプレートデータを割り振る場合：

キー割り当て番号が1～28のテンプレートデータが、ワンタッチキーの同じ番号1～28に登録されます。

- ワンタッチキーにデータベースを割り振る場合：

データベースがリンクされたテンプレートデータを選択すると、データベース番号が1～28のデータベースが、ワンタッチキーの同じ番号1～28に登録されます。

ワンタッチキーに割り振られたデータベースを確認する方法については、「1つのワンタッチキーにデータベース付きのテンプレートデータが登録されている場合」（213ページ）をご覧ください。

ワンタッチキーのデータ割り振りについては、「ワンタッチパネルのキーに割り振るデータを設定する」（208ページ）をご覧ください。

- 5 **[Switch Label]** フォルダーを選択し、**[転送]** をクリックします。確認メッセージが表示されたら **[OK]** をクリックします。転送が開始されます。



メモ

- 本機ではテンプレートデータを 99 種類まで登録することができます。
- すでに本機に登録されている番号と同じキー割り当て番号で、新しいテンプレートデータを転送した場合には、古いテンプレートデータが、新しいテンプレートデータに上書きされます。

操作パネルの表示を選択する

操作パネルの表示は、基本パネル（A）とワンタッチパネル（B）の 2 種類から選択できます。

ワンタッチパネル（B）を使用する場合は、ワンタッチパネルのキーに割り振るデータを設定する必要があります。設定方法は、「ワンタッチパネルのキーに割り振るデータを設定する」（208 ページ）をご覧ください。

- 1 **[⚙]**（設定キー）を押します。
- 2 **[▼]** を押し、**[パネル選択]** を選択して **[OK]** を押します。
- 3 **[▲]** / **[▼]** を押して、**[A]** または **[B]** を選択して **[OK]** を押します。
- 4 画面の指示に従い、操作パネルシートを交換します（交換方法は、「操作パネルシートの交換方法」（192 ページ）をご覧ください）。
- 5 画面に表示されている設定操作パネル名と、使用する操作パネル名が一致しているか確認し、**[PRINT]** を押します。

ワンタッチパネルのキーに割り振るデータを設定する

操作パネル&液晶ディスプレイユニットで、ワンタッチパネルを使用する際の、ワンタッチキーに割り振るデータの種類を設定します。データの種類は、テンプレートデータかデータベースのどちらかです。

■ ラベルプリンターに登録されたテンプレートデータの例：

・テンプレート No.1 (panel.lbx)

Floor 1
A0-001

データベース

No.	Floor	Name
1	1	A0-001
2	1	A0-002
3	2	D0-011
4	2	D0-014

・テンプレート No.2 (sign.lbx)

⚠CAUTION

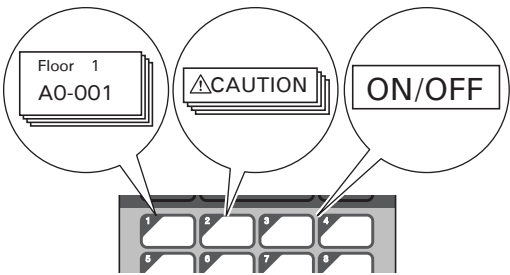
データベース

No.	SIGN
1	CAUTION
2	DANGER
3	HIGH TEMPERATURE
4	BOILED WATER

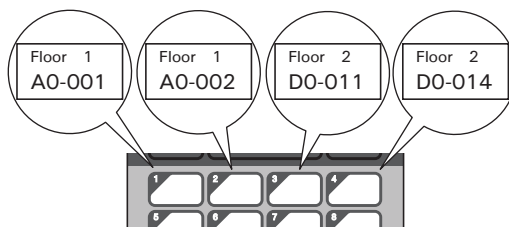
・テンプレート No.3 (on.lbx)

ON/OFF

■ 【テンプレート】の場合は、テンプレート番号が1番のテンプレートデータから順に、同じ番号のワンタッチキーに登録されます。



- 【データベース】の場合は、選択したテンプレートデータのデータベース番号が1番のデータベースから順に、同じ番号のワンタッチキーに登録されます。（図は、テンプレート番号が1番のテンプレートデータを選択した場合。）



- 1 【↵】（管理キー）を押します。
- 2 【基本設定】を選択して【OK】を押します。
- 3 【キー割振り】を選択して【OK】を押します。
- 4 【▲】／【▼】を押して、【テンプレート】または【データベース】を選択し、【OK】を押します。

ワンタッチパネルの作成方法

23

ワンタッチパネルは、下記の方法で作成して使用することができます。

- 同梱のワンタッチパネルに、手書きやラベルなどで、直接、各キーの名称を記載して使用します。
- 実物大のパネル図は、操作パネル&液晶ディスプレイユニットに付属の「かんたん設置ガイド」の最後のページ（裏表紙の内側）に掲載しています。これを普通紙にコピーして使用することもできます。
パネルサイズ：132.4mm（縦）× 92.3mm（横）
- 以下のウェブサイトからパネルシートフォーマットをダウンロードして、各キーの名称などを入力し、データを普通紙に印刷して使用することもできます。

support.brother.co.jp

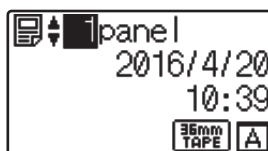
製品を選択し、[ソフトウェアダウンロード] を選択します。

ラベルを印刷する

本機に登録したテンプレートデータは、操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用すると、パソコンと接続しなくても、印刷したり、編集したりすることができます。

基本パネルを使用して印刷する

- 1 本機の電源を入れます。メイン画面が表示されます。



- 2 【▲】 / 【▼】 を押して印刷したいテンプレート番号を選択するか、数字キーで直接番号を入力して【OK】を押します。【Q】（詳細表示キー）を押すと、画面にテンプレートデータの詳細が表示されます。



- 1 テンプレート番号
- 2 テンプレートのテキスト
- 3 用紙サイズ
- 4 データベース番号（データベースがリンクされている場合のみ）



メモ

- テンプレートのテキストは、【◀】 / 【▶】 を押して、すべての項目を確認することができます。
- 液晶ディスプレイに表示するテキストと順番は、P-touch Editor で設定します。詳しくは、「液晶ディスプレイに表示する文字列と順番を設定する」（201 ページ）をご覧ください。

- 3 データベースがリンクされている場合：
【▲】 / 【▼】 を押して印刷したいデータベースの番号を選択するか、数字キーで直接番号を入力して【OK】を押します。
- 4 【PRINT】 を押します。発行枚数の確認メッセージが表示されます。



- 5 印刷したい枚数を入力し、【PRINT】または【OK】を押します。ラベルが印刷されます。



メモ

- 印刷枚数は、1 ～ 999 の範囲で設定できます。
- ナンバリング番号が含まれているテンプレートの場合は、入力した数字分のナンバリング回数でラベルが印刷されます。
- 【印刷前の確認】を【しない】に設定している場合は、手順で、【PRINT】を押すと印刷されます。

ラベルの内容を編集して印刷する

本機に登録済みのテンプレートデータの内容を変更して印刷したいときは、操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用して、直接データを編集することができます。パソコンでデータを編集して本機に登録する手間が省けます。



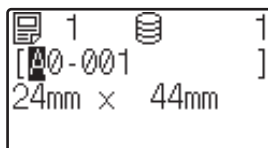
メモ

- 操作パネル & 液晶ディスプレイユニットの設定で、【編集禁止】を【しない】にします。
- 編集できるのは数字のみです。
- 編集したテンプレートデータは保存できません。別のテンプレートデータまたはデータベースを選択した時点で、編集したデータは元に戻ります。

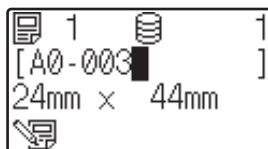
重要

データの編集をするときは、基本パネルを使用してください。

- 1 メイン画面で編集したいテンプレートデータを選択し、【Q】（詳細表示キー）を押します。
編集したい内容がデータベースのときは、該当のデータベースを選択します。
- 2 【◀】／【▶】を押して、編集したい項目を表示させ、【OK】を押します。
編集モードに入り、編集可能な数字が反転表示されます。



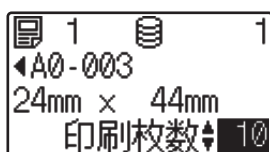
- 3 【◀】／【▶】を押して、編集したい数字を反転表示させます。数字キーで変更したい数字を押すと、数字が置き換わります。（この例では【A0-001】を【A0-003】に変更します。【▶】を押して【1】を反転表示させ、数字キーの【3】を押します。）
画面の左下には、テンプレートデータが編集されたことを表すマークが表示されます。



メモ

- ・【キャンセル】を押すと、現在、画面に表示されている項目の編集した内容が元に戻り、編集モードから抜けます。
- ・【キャンセル】を1秒以上長押しすると、現在、画面に表示されている項目の編集した内容が元に戻り、メイン画面に戻ります。このとき、他にも編集した項目がある場合には、マークが表示されます。

- ④ 【OK】を押して編集内容を確定し、【PRINT】を押します。発行枚数の確認メッセージが表示されます。



- ⑤ 印刷したい枚数を入力し、【PRINT】または【OK】を押します。ラベルが印刷されます。

テンプレートデータにリンクされたデータベース内を検索する

データベース付きのテンプレートデータを本体に登録し、基本パネルの【Q】（詳細表示キー）を押すと、データベース内を検索することができます。

データベースの中の行番号で検索するか、指定番号で検索するかを、基本パネルの【M】（管理キー）を押して【DB 検索方式】で設定できます。

- 行番号検索：データベースの行番号で検索します
- 指定番号検索：データベースのA列に入力された指定番号（数字のみ、最大13桁）で検索します

ワンタッチパネルを使用して印刷する

ワンタッチパネルのキーにデータを登録しておけば、ラベルを印刷したいときに、該当のワンタッチキーを押すだけで、簡単に印刷できます。

重要

ワンタッチキーに登録されるデータは、パソコンから本機にデータを転送する際のキー割り当て番号またはデータベース番号で決まります。詳しくは「テンプレートデータをラベルプリンターに登録する」（205ページ）をご覧ください。

- ① 本機の電源を入れます。メイン画面が表示されます。



- ② ワンタッチキーにデータベースを割り振る設定の場合：
【A】／【V】を押してテンプレートデータを選択します。

- ③ 印刷したいラベルのワンタッチキーを押します。画面にテンプレートデータの詳細が表示されます。



- 1 テンプレート番号
- 2 テンプレートのテキスト
- 3 用紙サイズ
- 4 データベース番号（データベースがリンクされている場合のみ）
- 5 発行枚数



メモ

- テンプレートのテキストは、【◀】 / 【▶】 を押して、すべての項目を確認することができます。ワンタッチパネル（B）を使用している場合は、内容を編集することはできません。編集するときは、基本パネル（A）を使用してください。詳しくは、「ラベルの内容を編集して印刷する」（211 ページ）をご覧ください。
- 液晶ディスプレイに表示するテキストと順番は、P-touch Editor で設定します。詳しくは、「液晶ディスプレイに表示する文字列と順番を設定する」（201 ページ）をご覧ください。

23

- ④ 印刷したい枚数を 【▲】 / 【▼】 で入力し、【PRINT】 または 【OK】 を押します。ラベルが印刷されます。



メモ

- 印刷枚数は、1 ～ 999 の範囲で設定できます。
- ナンバリング番号が含まれているテンプレートの場合は、入力した数字分のナンバリング回数でラベルが印刷されます。
- 【印刷前の確認】を【しない】に設定している場合は、手順でワンタッチキーを押すと印刷されます。

1つのワンタッチキーにデータベース付きのテンプレートデータが登録されている場合

データベースがリンクされているテンプレートデータのワンタッチキーは、キーを押すたびに、データベースのレコード数分だけ、内容が置き換わって表示されます。例えば、3 個のデータベースレコードが設定されているテンプレートデータの場合は、ワンタッチキーを：

- 1 回押すと、1 つ目のデータベースの内容が表示されます。
- 2 回押すと、2 つ目のデータベースの内容が表示されます。
- 3 回押すと、3 つ目のデータベースの内容が表示されます。
- 4 回押すと、再び、1 つ目のデータベースの内容の表示に戻ります。

- ① 印刷したいラベルのワンタッチキーを何度か押し、印刷したいデータベースの内容を表示させます。

- 2 印刷したい枚数を **【▲】** / **【▼】** で入力し、**【PRINT】** または **【OK】** を押します。ラベルが印刷されます。

❗ 重要

ワンタッチキーにデータベース付きのテンプレートデータを割り振っているときは、**【印刷前の確認】** を **【する】** に設定してください。**【しない】** に設定すると、1 つ目のデータベースしか選択できなくなります。

📝 メモ

- 印刷枚数は、1 ～ 999 の範囲で設定できます。
- ナンバリング番号が含まれているテンプレートの場合は、入力した数字分のナンバリング回数でラベルが印刷されます。

バーコードリーダーを使用して印刷する

P-touch Template 機能を使用すると、バーコードを読み込むことで本機に登録したテンプレートデータを呼び出し、必要に応じてテキストなどを置き換えて印刷できます。このとき、液晶ディスプレイで、呼び出したテンプレートや置き換えたテキストの内容を確認することができます。

本機は、専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）を用意しておりますので、こちらをご利用ください。

専用品以外のバーコードリーダーをご利用の場合は、お客様にて設定変更などの作業が必要です。バーコードリーダーの種類によっては、ご利用いただけない場合もございます。

☞ 弊社では専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）以外のバーコードリーダーの動作検証と接続設定は行っておりません。

P-touch Template 機能について詳しくは、「P-touch Template を使用してラベルを印刷する」（67 ページ）をご覧ください。

テンプレートのテキストは、メイン画面でテンプレート番号を選択し、テンプレートデータの詳細を表示させ、**【◀】** / **【▶】** を押して、すべての項目を確認することができます。テキストを編集する場合は、編集したい項目を表示させ、**【OK】** を押します。編集モードに入り、編集可能なテキストが反転表示されます。

印刷前にテンプレートデータの内容を確認することができるため、印刷間違いを防ぐことができ安心です。

ラベルプリンター内のテンプレートデータについて（確認、削除、履歴）

ラベルプリンター内のテンプレートデータは、次の方法で、データの内容を確認したり、データを削除したり、印刷履歴を確認したりすることができます。

テンプレートデータの内容を確認する

操作パネルの【Q】（詳細表示キー）を押すと、画面にテンプレートデータの詳細が表示され、内容を確認することができます。詳しくは、「基本パネルを使用して印刷する」（210 ページ）をご覧ください。

Windows を使用して、テンプレートデータを削除する

プリンター設定ツールの【本体設定】を使用してラベルプリンター内のテンプレートデータを削除することができます。メニューバーから【ツール】 - 【テンプレートとデータベースの内容を削除する】を実行すると、本機に登録されているテンプレートデータとデータベースを削除します。詳しくは、「メニューバー」（46 ページ）をご覧ください。

ラベルプリンター内のテンプレートデータを確認して、消去するデータを選択したい場合は、パソコンと接続して、P-touch Transfer Manager を使用して行います。

テンプレートデータの印刷履歴を確認する

■ Windows の場合

プリンター設定ツールの【本体設定】を使用して印刷履歴を確認することができます。【拡張機能】タブの【本体の印刷履歴保存】を【有効】に設定すると、ラベルプリンターに印刷履歴を保存します。メニューバーから【ツール】 - 【印刷履歴をファイルに保存する】をクリックすると、印刷履歴を csv 形式でファイルに書き出して保存します。詳しくは、「本体設定（Windows の場合）」（44 ページ）をご覧ください。

■ Mac の場合

プリンター設定ツールを使用して印刷履歴を確認することができます。【基本設定】タブの【本体の印刷履歴保存】を【有効】にすると、ラベルプリンターに印刷履歴を保存します。印刷履歴を印刷するには、【基本設定】タブの【本体情報を印刷する】で【印刷履歴】を選択します。詳しくは、「基本設定タブ」（61 ページ）をご覧ください。

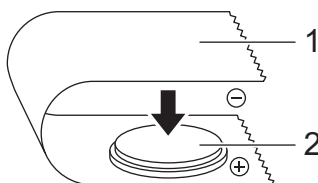
時計バックアップ用リチウム電池の交換方法

時計バックアップ用リチウム電池は、時計の設定内容を保持するための電池です。長期間、本機を使用しなかった場合も電池は消耗します。

❗ 重要

- 本機には、指定の電池以外を使用しないでください。本機が故障する恐れがあります。
- 電池を廃棄する場合は、お買い求めの販売店などへお持ちいただき、備え付けの「ボタン電池回収箱」に入れてください。また、自治体の条例などの定めがある場合は、その条例に従ってください。
- 電池を保管・廃棄する場合は、電池のショートを防ぐため、セロファンテープなどで包んでください。

（電池の絶縁例）



1 セロファンテープ

2 電池

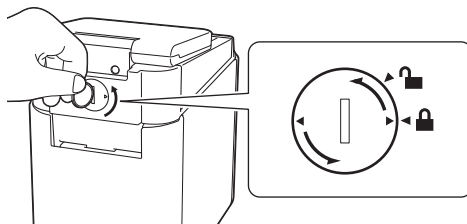
- 電池は、2年ごとに交換することを推奨します。
- 本機の電源を入れたときに時間がリセットされている場合は、電池を交換してください。交換用電池は、CR2032（推奨メーカー：日立マクセル株式会社、FDK 株式会社）をお買い求めください。

① ㊦（電源）ボタンを長押しして、本機の電源を切り、電源コンセントから電源プラグを抜きます。
Li-ion 充電電池（別売品）を装着している場合は、Li-ion 充電電池を取り外します。

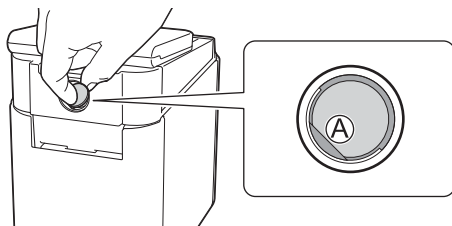
② 硬貨などを使用して、電池カバーを図の矢印の方向に止まるまでゆっくり回し、電池カバーを取り外します。

❗ 重要

電池カバーを止まる位置を超えるまで強く回すと、破損する恐れがあります。



- ③ 電池を取り外します。
下の図のように、電池の A の部分を押し、電池が浮き、取り外しやすくなります。

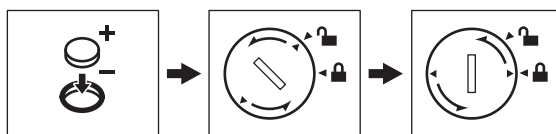


- ④ 交換用の電池を取り付けます。

❗ 重要

電池の（+）と（-）の向きを正しく入れてください。

- ⑤ 電池カバーを元の位置に戻します。硬貨などを使用して、電池カバーを図の矢印と逆方向に止まるまでゆっくり回し、電池カバーを固定します。



❗ 重要

電池カバーを止まる位置を超えるまで強く回すと、破損する恐れがあります。

📝 メモ

日付と時刻は、操作パネルの **[管理キー]**（管理キー）から設定できます。詳しくは、「日付と時刻の設定方法について」（197 ページ）をご覧ください。

よくあるご質問

Q. メモリ容量はどのくらいありますか？

A. 本体内蔵メモリは 7MB、テンプレートデータは最大 99 種類まで保存可能です。内蔵メモリが不十分、または 99 種類のテンプレートデータが登録されると、本機への転送（登録）はできなくなります。本機の不要なテンプレートデータを削除してください。

Q. テンプレートデータを本機に登録すると、ファイル容量が変わるのはどうしてですか？

A. P-touch Transfer Manager でテンプレートデータをセットしたときのファイル形式と本機登録後のファイル形式が異なるため、ファイル容量が変わります。

Q. 本機に登録できるテンプレート数および、使用されているキー割り当て番号はどのように確認できますか？

A. 以下の手順で確認できます。

1 本機とパソコンを接続し、本機の電源を入れます。

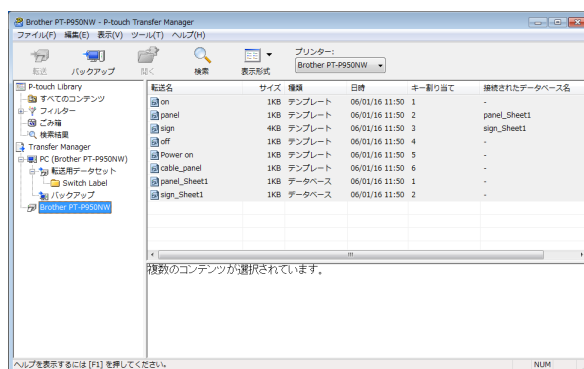
2 P-touch Transfer Manager を起動します。

■ **Windows Vista / Windows 7 / Windows Server 2008 / Windows Server 2008 R2 の場合：**
スタートボタンから、[すべてのプログラム] - [Brother P-touch] - [P-touch ツール] - [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

■ **Windows 8 / Windows 8.1 / Windows Server 2012 / Windows Server 2012 R2 の場合：**
[アプリ] 画面で [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

■ **Windows 10 の場合：**
スタートボタンから [すべてのアプリ] を選択し、[Brother P-touch] 下の [P-touch Transfer Manager 2.2] をクリックします。

3 画面左側の「Brother PT-P950NW」を選択すると、画面右側に本機に登録されているテンプレートデータが表示されます。テンプレート数および、使用されているキー割り当て番号をご確認ください。



Q. テンプレートデータを本機に登録できない（登録できたが日付自動更新ができない）のはなぜですか？

A. プリンタードライバーのインストールが正常に行われなかった可能性があります。プリンタードライバーの再インストールを行い、もう一度、登録作業を行ってください。

日付が変更されない場合は、該当のテンプレートデータの「日付と時刻のプロパティ」で、「印刷時の日付時刻」チェックボックスにチェックが入っているか確認してください。詳しくは、「ラベルに日付と時刻を挿入する」（202 ページ）をご覧ください。

操作パネル&液晶ディスプレイユニットを使用する（別売品：PA-TDU-003）（PT-P950NW のみ）

製品仕様

以下の仕様値はコイン電池未装着、液晶ディスプレイは閉じている状態です。

サイズ：約 113 mm（幅）× 192mm（奥行き）× 59 mm（高さ）

重量：0.329 kg

専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）（PT-P950NW のみ）を使用する

P-touch Template モードでは、本機に接続されたバーコードリーダーからのデータを、本機に保存したテキストオブジェクトやバーコードオブジェクトに挿入する機能を提供します。

専用のバーコードリーダー（別売品：PA-BR-001）は、プリンター設定ツールの [**P-touch Template Settings**] の設定に合わせてあるので、バーコードリーダーの設定を変更しなくても使用することができます。

専用のバーコードリーダーの使用方法について詳しくは、バーコードリーダーに付属の取扱説明書をご覧ください。

brother